

むつ市総合経営計画進行管理結果 (令和6年度)

令和7年9月

目次

第1部 むつ市総合経営計画の進行管理概要

- 1. むつ市総合経営計画の進行管理について |
- 2. 進行管理の内容 |
- 3. 進行管理スケジュール |

第2部 施策の進捗状況

- 1. 各部局の内部評価 |
- 2. 各施策の重要業績評価指標(KPI)の達成状況 2
- 3. むつ市総合開発審議会の外部評価 3
- 4. 市民アンケート 9

第3部 むつ市総合経営計画施策評価調書（令和6年度）

- 1. 施策評価一覧 14
- 2. 施策評価の見方 16
- 3. 施策評価調書
 - 1. 活力あるむつ市の創生 18
 - 2. 教育・子育て環境の向上 56
 - 3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実 78
 - 4. デジタル化の推進 116
 - 5. 危機管理・防災力の向上 122

第 1 部 むつ市総合経営計画の進行管理概要

1. むつ市総合経営計画の進行管理について

むつ市総合経営計画（以下、「経営計画」という。）の進行管理は、基本計画に示す 56 の施策について、進捗状況や達成状況を評価することで、取組の成果や課題を整理し、次年度の取組につなげ、「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現を図るものです。

2. 進行管理の内容

基本計画に示す 56 の施策について、「施策評価調書」を作成し、市民アンケート、市各部局による内部評価、むつ市総合開発審議会による外部評価を通じて、施策の進捗状況を総合的に評価します。

3. 進行管理スケジュール

- R6.7 月 令和 6 年度総合経営計画 実施計画の作成
- 11 月 次年度予算編成（～R7.2 月）
- R7.3 月 次年度予算成立
- 4 月 令和 6 年度総合経営計画 実施計画 各部局による内部評価（年度評価）
市民アンケート調査実施
- 7 月 令和 7 年度第 1 回むつ市総合開発審議会開催（外部評価）
- 8 月 令和 7 年度第 2 回むつ市総合開発審議会開催（各施策の審議）
- 9 月 進行管理結果の報告（公表）

第 2 部 施策の進捗状況

1. 各部局の内部評価

令和 7 年 3 月 31 日時点の達成状況に基づく年度評価を行った結果、表 1 のとおり「A 順調に推移」が 14 施策（25.0%）、「B 一定の進捗がある」が 38 施策（67.8%）、「C 進捗は遅れている」が 4 施策（7.2%）、「D 進捗は大幅に遅れている」はありませんでした。

56 施策中「A 順調に推移」または「B 一定の進捗がある」と評価されたのが、（92.8%）と、ほぼ全ての事業で一定以上の進捗が図られているという内部評価となりました。

表 1 内部評価（年度評価）による基本方針の区分別 施策進捗状況内訳

基本方針の区分	1. 活力ある むつ市の創生	2. 教育・子育て 環境の向上	3. 高齢者福祉・医療・ 暮らしの充実	4. デジタル化 の推進	5. 危機管理・ 防災力の向上	件数	構成比
A・・・順調に推移	2	4	4	2	2	14	25.0%
B・・・一定の進捗がある	14	6	15	1	2	38	67.8%
C・・・進捗は遅れている	3	0	0	0	1	4	7.2%
D・・・進捗は大幅に遅れている	0	0	0	0	0	0	0.0%
合 計	19	10	19	3	0	56	100%

2. 各施策の重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本計画に示す 56 施策に設定した評価指標は、132 指標あり、令和 6 年度末時点で「A 目標値以上」が 49 指標（37.1%）、「B 目標値に達していないが基準値または前年度より進捗がある」が 16 指標（12.1%）、「C 目標値に達していない及び基準値または前年度より進捗がない」が 43 指標（32.6%）、複数年に一度の調査や年度末時点で数値が把握できない場合などで実績が出ないものが 24 指標（18.2%）となりました。

表 2 基本計画の基本方針の区分別 重要業績評価指標（KPI）進捗状況内訳

基本方針の区分	1. 活力ある むつ市の創生	2. 教育・子育て 環境の向上	3. 高齢者福祉・医療・ 暮らしの充実	4. デジタル化 の推進	5. 危機管理・ 防災力の向上	件数	構成比
A・・・目標値以上	12	12	17	4	4	49	37.1%
B・・・目標値に達していないが 基準値または前年度より進捗 がある	4	4	3	1	4	16	12.1%
C・・・目標値に達していない及 び基準値または前年度より進 捗がない	16	12	13	1	1	43	32.6%
D・・・実績が出ないもの	4	4	16	0	0	24	18.2%
合 計	36	32	49	6	9	132	100%

3. むつ市総合開発審議会の外部評価

むつ市総合開発審議会委員に施策評価調書による施策評価を実施していただき、どれか1つの評価に集約するのではなく、各評価区分（A～D）の割合を外部評価としています。

表 3-1 外部評価による各施策の進捗状況

施策名			内部 評価	外部評価									
				順調に推移 (A)		一定の進捗 がある (B)		進捗は遅れて いる (C)		進捗は大幅に 遅れている (D)		わからない (-)	
1 活力ある むつ市の 創生	(1)地方創 生	①まち・ひと・しごと創生の推進	B	0	0.0%	20	87.0%	3	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②川内・大畑・脇野沢地区の持続的発展	B	0	0.0%	17	73.9%	6	26.1%	0	0.0%	0	0.0%
	(2)産業・雇 用	①農林水産業の振興	B	2	8.7%	20	87.0%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
		②商工業の振興	B	1	4.4%	17	73.9%	5	21.7%	0	0.0%	0	0.0%
		③エネルギー関連産業の育成	B	0	0.0%	18	78.3%	4	17.4%	0	0.0%	1	4.3%
		④新たな産業の創出	B	2	8.7%	14	60.9%	6	26.1%	1	4.3%	0	0.0%
		⑤若者の地元就職の促進	B	2	8.7%	15	65.2%	5	21.7%	1	4.4%	0	0.0%
	(3)ジオ パーク	①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	B	3	13.0%	18	78.3%	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
		②資源価値の保全と教育	A	15	65.2%	5	21.7%	2	8.7%	1	4.4%	0	0.0%
	(4)観光・物 産	①広域連携による観光プロモーション	B	3	13.1%	15	65.2%	5	21.7%	0	0.0%	0	0.0%
		②稼げる物産プロモーション	C	0	0.0%	9	39.1%	14	60.9%	0	0.0%	0	0.0%
	(5)景観	①景観の向上と保全	B	1	4.3%	16	69.6%	6	26.1%	0	0.0%	0	0.0%
	(6)市民協 働・コミュニ ティ	①市民協働の施策展開	C	1	4.4%	7	30.4%	15	65.2%	0	0.0%	0	0.0%
		②広報広聴の充実	B	5	21.7%	17	73.9%	1	4.4%	0	0.0%	0	0.0%
		③コミュニティ自治の実現	B	1	4.3%	20	87.0%	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
	(7)男女共 同参画・女 性活躍	①男女共同参画社会づくりに向けた意識改 革	B	3	13.0%	20	87.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バラ ンスの実現	C	2	8.7%	4	17.4%	17	73.9%	0	0.0%	0	0.0%
	(8)国際・都 市間交流	①姉妹都市等の交流	A	17	74.0%	5	21.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%
	(9)海洋科 学研究拠点	①研究活動環境の充実	B	1	4.4%	18	78.3%	3	13.0%	0	0.0%	1	4.3%
2 教育・子育 ての環境 の向上	(1)教育	①学力の向上	B	2	8.7%	16	69.6%	4	17.4%	0	0.0%	1	4.3%
		②体育・健康教育の充実	B	1	4.4%	17	73.9%	4	17.4%	0	0.0%	1	4.3%
		③夢を育む教育	B	2	8.7%	16	69.6%	4	17.4%	0	0.0%	1	4.3%
		④地域とともにある学校	A	18	78.3%	2	8.7%	2	8.7%	0	0.0%	1	4.3%
		⑤教育基盤の整備	A	15	65.3%	5	21.7%	2	8.7%	0	0.0%	1	4.3%
		⑥社会教育・文化の充実と文化財保存活用	B	1	4.4%	19	82.6%	2	8.7%	0	0.0%	1	4.3%
		⑦変化に対応できる人材の育成	A	16	69.6%	4	17.4%	2	8.7%	0	0.0%	1	4.3%
		⑧高等教育機関との連携	B	0	0.0%	18	78.3%	4	17.4%	0	0.0%	1	4.3%
	(2)子ども 子育て支援	①妊娠期からの切れ目のない子育て支援	B	1	4.4%	19	82.6%	2	8.7%	0	0.0%	1	4.3%
		②児童福祉の充実	A	15	65.2%	6	26.1%	1	4.4%	0	0.0%	1	4.3%

表 3-2 外部評価による各施策の進捗状況

3 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	(1)健康・福祉	①一人ひとりの健康づくりの推進	B	0	0.0%	16	69.6%	5	21.7%	1	4.4%	1	4.3%
		②健康まちづくりの推進	B	0	0.0%	19	82.7%	3	13.0%	0	0.0%	1	4.3%
		③医療体制の充実	B	0	0.0%	15	65.2%	6	26.1%	1	4.4%	1	4.3%
		④高齢者福祉の充実	A	17	73.9%	3	13.0%	1	4.4%	1	4.4%	1	4.3%
		⑤障害者福祉の充実	B	0	0.0%	20	87.0%	2	8.7%	0	0.0%	1	4.3%
		⑥地域福祉の充実	B	0	0.0%	19	82.6%	2	8.7%	0	0.0%	2	8.7%
		⑦社会保障の充実	A	13	56.5%	7	30.4%	2	8.8%	0	0.0%	1	4.3%
	(2)スポーツ	①スポーツ活動の充実	B	5	21.7%	17	74.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%
	(3)環境	①循環型社会の推進	B	1	4.3%	20	87.0%	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
		②自然環境の保全	B	0	0.0%	21	91.3%	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
		③公害対策の充実	A	14	60.9%	9	39.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	B	1	4.3%	22	95.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	①暮らしやすいまちの構築	B	1	4.4%	19	82.6%	3	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
		②道路基盤の整備	B	0	0.0%	18	78.3%	4	17.4%	0	0.0%	1	4.3%
		③公共交通の確保	B	0	0.0%	19	82.6%	2	8.8%	1	4.3%	1	4.3%
		④広域交通ネットワークの形成	A	11	47.8%	9	39.1%	1	4.4%	1	4.4%	1	4.3%
	(5)行財政基盤	①財政の健全化	B	0	0.0%	22	95.7%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
		②広域行政の推進	B	0	0.0%	20	87.0%	2	8.7%	0	0.0%	1	4.3%
		③公共施設マネジメントの推進	B	0	0.0%	20	87.0%	3	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 デジタル化の推進	(1)デジタル実装	①地域DXの実践	B	1	4.4%	21	91.3%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
		②自治体DXの推進による効率的な行政運営	A	17	74.0%	5	21.7%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
		③情報ネットワークの利活用の推進	A	14	60.9%	6	26.1%	3	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 危機管理・防災力の向上	(1)安全・安心	①防災対策の充実	C	0	0.0%	10	43.5%	13	56.5%	0	0.0%	0	0.0%
		②消防・救急体制の充実	B	0	0.0%	21	91.3%	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
		③水道の安全・安定供給の確保	A	16	69.6%	7	30.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		④交通安全の確保	A	15	65.2%	8	34.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		⑤防犯対策の充実	B	2	8.7%	21	91.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

<外部評価における主な意見>

Ⅰ. 活力あるむつ市の創生 (2)産業・雇用 ④新たな産業の創出

- ・ 企業誘致件数が目標値に到達してから伸び悩んでいる理由は何でしょうか。
 - 企業誘致は新たな雇用創出につながることから、重要項目として取り組んでおります。取組内容としては、市内視察や企業訪問活動を行っており、少数ながら立地に興味を持っていただいた企業もございますが、企業が希望する土地や事務所など紹介できる物件の少なさや人材の確保という面で課題があり、立地につながっていないという現状があります。そのため、不動産会社等の地元企業と連携をより強化していく方法を模索するなど、課題を解決し誘致につなげていく施策検討を行っているところであります。

Ⅰ. 活力あるむつ市の創生 (2)産業・雇用 ⑤若者の地元就職の促進

- ・ 「新規高卒就職者のうちむつ管内へ就職する割合」が目標値に2年間達していますが、目標値を修正する予定はないのでしょうか。
 - 「新規高卒就職者のうちむつ管内へ就職する割合」につきましては、近年当該指標が継続して目標値を上回る状況が見られることから、令和7年度の目標値を20%へと引き上げる方向といたします。引き続き、若者の地元定着を推進し、地域の活力向上につなげてまいります。

Ⅰ. 活力あるむつ市の創生 (3)ジオパーク ①ジオツーリズムによる交流人口の拡大

- ・ KPIのうち「ジオパーク認定商品数」は、商品数が増えても販売に結びつかないので、売上高なども参考値として示していただけるとよいと思います。
 - 認定商品につきましては、販売実績額を報告していただいております。令和6年度の合計販売実績額は約1億3,500万円となり、商品数の増加とともに販売実績額も増加している状況であります。一方で、合計販売実績額の50%以上が2商品の販売実績額であるなど、特定の商品の販売実績額に依存している状態です。
今後、販売実績額をKPIとして設定した場合、KPI達成のために売れ筋商品に対しての支援を厚くするというのも起こり得るものと考えております。
その場合、地域全体での底上げが出来ないほか、新たな商品開発の意欲低下を招く可能性があることから、販売実績額をKPIに設定することはそぐわないものと考えております。
今後も、「みんながつながる！下北ジオパーク」の理念のもと、小規模事業者も含め、より多くの事業者がジオパークを活用したブランド力向上に取り組んでいただけるよう努めて参りたいと考えておりますので御理解賜りますようお願い致します。

Ⅰ. 活力あるむつ市の創生 (4)観光・物産 ①広域連携による観光プロモーション

- ・ 「ようこそ」「いらっしやいませ」と言える人が誘客しないと無責任な発言になる事が多いので注意が必要と考える。
 - 御指摘のとおり、観光プロモーションは観光コンテンツの充足や魅力発信だけではなく、地域の方々のおもてなしの姿勢が大切だと考えております。地域に観光客を呼び込む上で欠かせないおもてなしの心の醸成にも取り組んでいければと考えております。

1. 活力あるむつ市の創生 (4)観光・物産 ②稼げる物産プロモーション

- ・ 「産品購入意欲度全国市町村魅力度ランキング」は廃止されているのであれば、他の KPI に変更する予定はないのでしょうか。
- 基本計画内の KPI につきましては、次期計画で設定する事になるため、当課では毎年度作成する施策評価シートにおいて、「産品想起率」30 位以内を目標として掲げております。目標達成には厳しい状況が続いておりますが、引き続き努力してまいりたいと存じます。

1. 活力あるむつ市の創生 (7)男女共同参画・女性活躍 ①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革

- ・ 「市の女性管理職の割合」は目標値を達成していますが、目標値を引き上げる予定はないのでしょうか。
- 令和 7 年度 3 月に策定した「むつ市ワークライフバランス推進計画」では、部長級、次長級となる女性職員の割合を 20%以上にするとしていることから、課長級を含めた管理職の割合については、次期総合経営計画策定において目標値の引き上げを検討したいと考えております。

1. 活力あるむつ市の創生 (8)国際・都市間交流 ①姉妹都市等の交流

- ・ 会津若松市でむつ市に向けた具体的事業実績があればお知らせ願いたい。
- 姉妹都市締結から隔年で相互交流事業を実施しており、4 年に一度会津若松市長や会津若松市議会議長ほか関係者の皆様におつ市を訪問いただいております。
また、むつ商工会議所主催の「MGF (Mutsu Gateway Festival 及び Mutsu Glamorous Festival)」には、初めて主催した令和 4 年度から毎年ブースを出展いただいております。会津若松産農作物等を販売しております。

3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実 (1)健康・福祉 ⑤障害者福祉の充実

- ・ 今後、一般就労の理解や門戸拡大を図る施策を期待しております。
- 一般就労の理解、門戸拡大のためには、まずは地域社会全体で障がいがある方に対する理解が深まっていくことが重要と考えております。
そのため、理解促進研修・啓発事業で実施している、障害福祉サービス等展示会や障害福祉パンフレットの発行、各種団体向けの出前講座を通じ、障がいの理解や各種制度等を知ってもらうとともに、障がいのある方が安心して生活できるように支援してまいります。

3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実 (4)コンパクト・プラス・ネットワーク ③公共交通の確保

- ・ 民間企業の「お買い物バス」との関わり方も意識する必要があるのではないか。
- 下北地域公共交通計画（計画期間：令和 7～11 年度）では、限りある移動サービスにおけるリソースを最大限活用していくために、公共交通だけでなく公共交通以外の移動サービス（スクールバス、お買い物バス、福祉バス等）での移動も一体的に捉え、地域の移動需要を確保するため、様々な分野（教育・福祉・医療等）との垣根を越えて連携することとしております。

4. デジタル化の推進 (1) デジタル実装 ① 地域DXの実践

- ・ こども家庭庁及び厚生労働省の実証事業での、対象者を特定したプレ先行実施段階での評価を行ったとのことであるが、本来の対象者数とサンプル数の人数は如何か。(実証事業段階での KPI 項目は適切か)
 - 本来の対象者数は健診においては、対象者約 4,100 人、予防接種においては約 15,900 人となっています。今回の対象者を特定したプレ先行実施では国が構築したシステムが想定したとおりの挙動になるかを確認することを目的としており、健診では 57 人、予防接種では 13 人にご協力いただき実施しました。
なお、KPI は「デジタル化による市民生活満足度 (Well-being)」としており、実証事業に対し、KPI は当該実証事業も含めた市民生活におけるデジタル化全体に対する満足度を評価する指標となっていますが、これは当該実証事業の先にある本格導入を見据えた上で、当該事業の実施そのものだけでなく、市の当該事業への参画の事実とその事業効果も含めた広報を十分に展開することにより、市のデジタル化に対する考え方や姿勢、方針等への市民の賛同を得ることを本実証事業の目的に位置づけることが適切であるという考え方に基づくものです。

その他の意見

- ・ 全般的に、実績値が目標値を下回っているのに「B評価」というのはないのではないかと思います。
 - 評価区分に関しましては、実績値が目標値を下回っていたとしても、その事業が一定の進捗があると判断した場合、「B評価」としております。
ただ、御指摘のとおり、目標値に届いていないのに、一定の進捗があると言えるのかという意見もございますので、評価区分については、なるべく疑問符のつかないよう精査してまいりますので御理解いただきたいと存じます。
- ・ KPI の設定が実状に合っていないものがあるので、適宜加除するなど見直しが必要ではないか。
 - KPI の各年度の目標値については、基準値と最終年度の目標値は据置とし、途中の年度のみ前年度実績をもとに適宜見直しをしておりますが、全ての施策に対して見直しを掛けられているわけではございませんので、御指摘のとおり、実状と乖離した KPI となっている施策もございます。
現計画に関しましては、事業の進捗・実績等を加味し、KPI の精査に努めるとともに、次期計画では EBPM の手法を駆使し、策定段階から 10 年後のむつ市を見据えたより精度の高い KPI の設定に努めてまいりますので御理解いただきたいと存じます。

その他の意見

- ・ 目標値設定の根拠が不明な場合があり、実績値との差をどのように評価するか、判断が難しいケースがあった。
 - 現在の施策評価票の構成では、KPI や年次目標などの目標値を設定した根拠ははっきりと記載されておりませんので、各年度の実績や主な事業を参考に委員の皆様にご判断していただいております。
ただ、御指摘のとおり、それだけでは根拠に乏しく、正確な評価につなげづらい項目もございますので、補足説明をつけるなど、わかりやすい資料の作成を検討してまいります。
- ・ 年次目標は達成していても、達成難易度が低いと捉えられるもの、かつ、KPI への効果が薄いと感じられる項目等については、やや厳しめに評価をさせていただいております。
 - 事業の改善には、厳しい評価が必要だと考えております。助言や厳しい評価をいただき、それをより良い事業の改善につなげてまいりたいと考えておりますので、貴重な御意見をよろしくお願いいたします。
- ・ KPI もしくは年次目標に対する効果検証を行うに当たり、むつ市としてコントロール出来ない「外部要因による影響」がある場合、推定値でも内部評価に記載していただければ、実施事業として評価できるもの（事業継続を期待されるもの）が増えるのではないかと感じます。
 - 令和 6 年度の中で例を挙げますと、年間観光入込客数が昨年度と比較して大幅に減少したのは少雪の影響により、釜臥山スキー場の利用客数が少なかったことが原因の一つであります。このように、市でコントロールできない要因もございますので、今後は委員の皆様が評価しやすいように、記載できる部分は施策評価票に反映させてまいりたいと考えております。

4. 市民アンケート

全世代を対象として、むつ市総合経営計画後期基本計画の KPI の達成度等を検証するとともに今後の施策の方向性を検討するため、アンケート調査を実施しました。

<概要>

- 対 象 者：下記条件に当てはまる市民 44,819 人の中から、無作為に抽出した 2,000 人
・令和 7 年 4 月 1 日現在 満 15 歳以上で少なくとも 1 年以上居住している方
- 調査期間：令和 7 年 4 月 30 日～5 月 22 日
- 回 答 数：778 人（回答率 38.9%）

<主なアンケート結果>

「むつ市について」

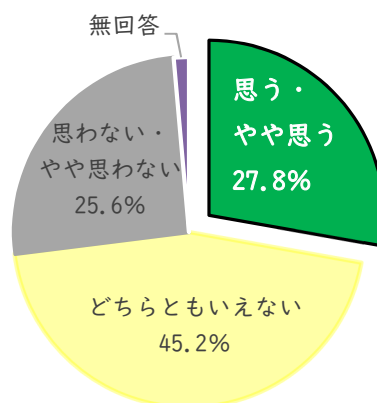
市では、子どもから高齢者まで全ての市民が笑顔で輝き、未来に向かって輝く夢や希望が持てるようなまちの実現を目指しています。現在のお考えにあてはまるものを選んでください。

[設問]むつ市が実施している取組が将来像「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現につながっていると思いますか。（ひとつに○）

【むつ市の将来像】

「思う」が 5.3%、「やや思う」が 22.5%、「どちらともいえない」が 45.2%、「やや思わない」が 13.5%、「思わない」が 12.1%、「無回答」が 1.4%という結果になりました。

「どちらともいえない」の割合が最も高いことから、将来像の実現に向けて更なる取組の改善や周知が必要であると考えられます。

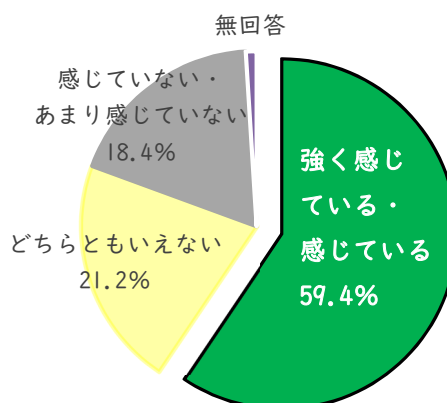


[設問]“自分のまち”として「愛着」を感じていますか。（ひとつに○）

【むつ市への愛着】

「強く感じている」が 9.4%、「感じている」が 50.0%、「どちらともいえない」が 21.2%、「あまり感じていない」が 11.8%、「感じていない」が 6.6%、「無回答」が 1.0%という結果になりました。

約 6 割の方が愛着を感じていると回答していることから、郷土愛が強い市民性であると考えられます。

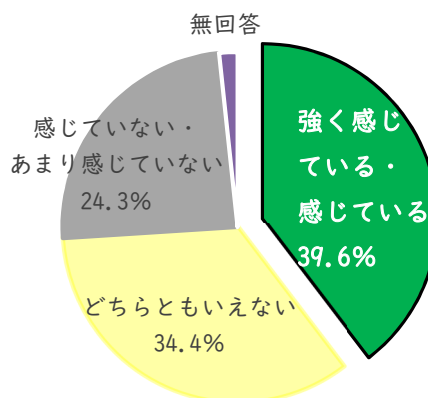


〔設問〕“自分のまち“として「誇り」を感じていますか。(ひとつに○)

【むつ市への誇り】

「強く感じている」が6.3%、「感じている」が33.3%、「どちらともいえない」が34.4%、「あまり感じていない」が15.6%、「感じていない」が8.7%、「無回答」が1.7%という結果になりました。

むつ市への愛着を感じている方が約6割の一方で、誇りを感じている方が約4割だったことから、市外の方に向けてむつ市を自慢できる方が少なくなる傾向にあると考えられます。

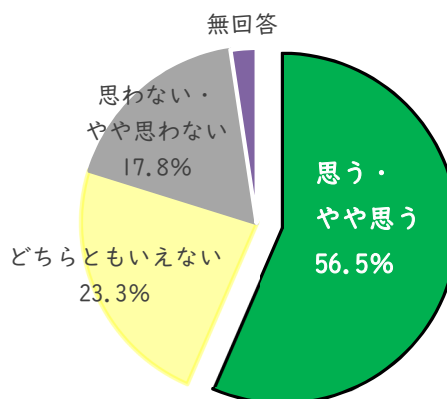


〔設問〕むつ市に住み続けたいと思いますか。(ひとつに○)

【むつ市への定住意思】

「思う」が34.6%、「やや思う」が21.9%、「どちらともいえない」が23.3%、「やや思わない」が9.4%、「思わない」が8.4%、「無回答」が2.4%という結果になりました。

約6割近くの方がむつ市に住み続けたいと回答しており、郷土愛の強さが表れているものと考えられます。



〔設問〕むつ市に特に力を入れて取り組んでほしい施策項目を教えてください。(3つまで○)

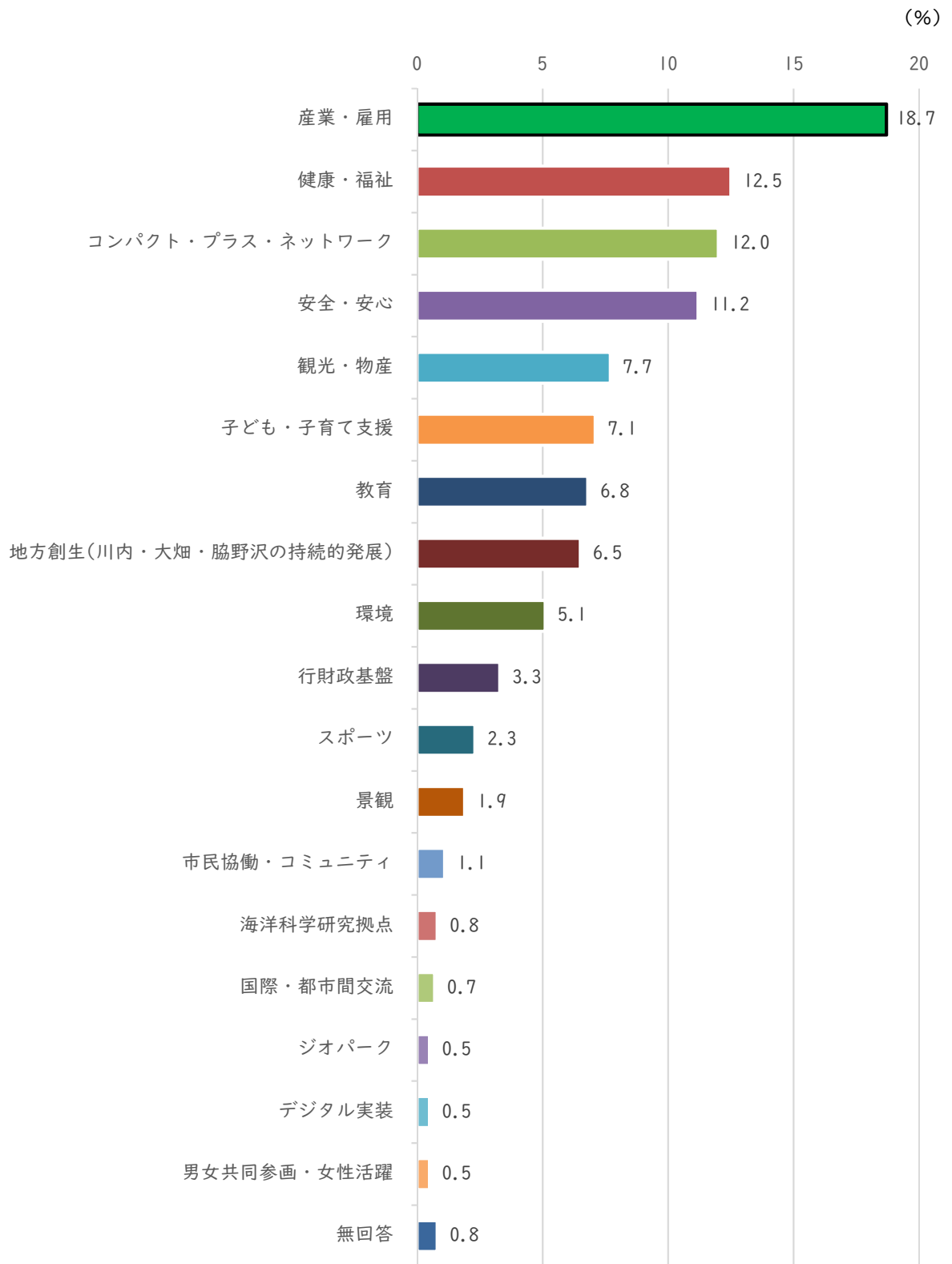
【むつ市に求める施策】

むつ市総合経営計画後期基本計画において位置付けている18の施策項目の中で、特に力を入れて取り組んでほしい施策項目について、3つまで選択可として答えてもらったところ、総回答数が1,790件となりました。

その結果、「産業・雇用」が18.7% (334件) で最も求められているという結果になりました。次いで、「健康・福祉」が12.5% (223件)、「コンパクト・プラス・ネットワーク (道路・基盤整備、公共交通の確保)」が12.0% (214件)、「安全・安心」が11.2% (201件)、「観光・物産」が7.7% (138件) という結果になりました。

「産業・雇用」が最も多い結果となった背景には、むつ市は県内の他地域と比べても働く場の選択肢が限られてくることから、働く場や雇用の確保を求めていることが考えられます。また、平均寿命が全国平均でもワーストに位置しているため、「健康・福祉」の分野や交通の利便性に不満を感じている市民も多いことから、「コンパクト・プラス・ネットワーク」に強い関心を持っていると考えられます。

特に力を入れて取り組んでほしい施策項目



第3部 むつ市総合経営計画施策評価調書 (令和6年度)

令和6年度 施策評価一覧

基本方針	担当部局	担当課	内部評価	該当ページ
施策項目				
施策内容				
1. 活力あるむつ市の創生				
(1) 地方創生				
①まち・ひと・しごと創生の推進	政策推進部	企画課	B	5
②川内・大畑・脇野沢地区の持続的発展	政策推進部、分庁舎	企画課、分庁舎	B	7
(2) 産業・雇用				
①農林水産業の振興	産業政策部	農林畜産課、水産課	B	9
②商工業の振興	産業政策部	商工労政課	B	11
③エネルギー関連産業の育成	政策推進部、産業政策部	エネルギー戦略課、商工労政課	B	13
④新たな産業の創出	産業政策部	商工労政課	B	15
⑤若者の地元就職の促進	政策推進部、産業政策部	企画課、市民連携課、商工労政課	B	17
(3) ジオパーク				
①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	政策推進部	ジオパーク推進課	B	19
②資源価値の保全と教育	政策推進部	ジオパーク推進課	A	21
(4) 観光・物産				
①広域連携による観光プロモーション	産業政策部	観光・シティプロモーション課	B	23
②稼げる物産プロモーション	産業政策部	観光・シティプロモーション課	C	25
(5) 景観				
①景観の向上と保全	都市整備部	都市計画課	B	27
(6) 市民協働・コミュニティ				
①市民協働の施策展開	政策推進部	市民連携課	C	29
②広報広聴の充実	総務部、政策推進部	市長公室、市民連携課	B	31
③コミュニティ自治の実現	政策推進部	市民連携課	B	33
(7) 男女共同参画・女性活躍				
①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革	政策推進部	市民連携課	B	35
②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現	政策推進部	市民連携課	C	37
(8) 国際・都市間交流				
①姉妹都市等との交流	政策推進部、教育委員会	市民連携課、学校教育課	A	39
(9) 海洋科学研究拠点				
①研究活動環境の充実	政策推進部	市民連携課	B	41
2. 教育・子育て環境の向上				
(1) 教育				
①学力の向上	教育委員会事務局	学校教育課	B	43
②体育・健康教育の充実	教育委員会事務局	学校教育課	B	45
③夢を育む教育	教育委員会事務局	学校教育課	B	47
④地域とともにある学校	教育委員会事務局	教委総務課、学校教育課	A	49
⑤教育基盤の整備	教育委員会事務局	教委総務課	A	51
⑥社会教育・文化の充実と文化財保存活用	教育委員会事務局	生涯学習課、地域クラブ企画推進課、中央公民館、図書館	B	53
⑦変化に対応できる人材の育成	教育委員会事務局	中央公民館	A	57
⑧高等教育機関との連携	政策推進部	市民連携課	B	59
(2) 子ども・子育て支援				
①妊娠期からの切れ目のない子育て支援	子どもみらい部	子育て支援課	B	61
②児童福祉の充実	子どもみらい部	子ども家庭課、子育て支援課、キッズパーク	A	63
3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実				
(1) 健康・福祉				
①一人ひとりの健康づくりの推進	市民生活部、健康福祉部	国保年金課、健康づくり推進課、感染症予防課	B	65
②健康まちづくりの推進	健康福祉部	健康づくり推進課	B	67
③医療体制の充実	健康福祉部、教育委員会事務局	感染症予防課、教委総務課	B	69
④高齢者福祉の充実	健康福祉部	総合福祉課、介護保険課、地域包括支援センター	A	71
⑤障害者福祉の充実	健康福祉部	総合福祉課	B	73
⑥地域福祉の充実	健康福祉部	総合福祉課	B	75
⑦社会保障の充実	市民生活部、健康福祉部	国保年金課、地域包括支援センター	A	77
(2) スポーツ				
①スポーツ活動の充実	市民生活部	市民スポーツ課	B	79
(3) 環境				
①循環型社会の推進	市民生活部	環境政策課	B	81
②自然環境の保全	都市整備部、上下水道局	土木維持課、下水道課	B	83
③公害対策の充実	市民生活部	環境政策課	A	85
④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	市民生活部	環境政策課	B	87

(4) コンパクト・プラス・ネットワーク				
①暮らしやすいまちの構築	都市整備部、上下水道局	都市計画課、住宅政策課、用地課、下水道課	B	89
②道路基盤の整備	都市整備部	都市計画課、土木維持課	B	91
③公共交通の確保	政策推進部	交通政策課	B	93
④広域交通ネットワークの形成	政策推進部	交通政策課	A	95
(5) 行財政基盤				
①財政の健全化	財務部	財政課、税務課	B	97
②広域行政の推進	政策推進部	企画課	B	99
③公共施設マネジメントの推進	財務部	施設経営課	B	101
4. デジタル化の推進				
(1) デジタル実装				
①地域DXの実践	総務部	情報・DX戦略課	B	103
②自治体DXによる効率的な行政運営	総務部	総務課、情報・DX戦略課	A	105
③情報ネットワークの利活用の推進	総務部	情報・DX戦略課	A	107
5. 危機管理・防災力の向上				
(1) 安全・安心				
①防災対策の充実	総務部	防災安全課	C	109
②消防・救急体制の充実	総務部	防災安全課	B	111
③水道の安全・安定供給の確保	上下水道局	水道課	A	113
④交通安全の確保	市民生活部	環境政策課	A	115
⑤防犯対策の充実	政策推進部、健康福祉部	市民連携課、総合福祉課	B	117

【評価区分】	年度
A・・・順調に推移	14
B・・・一定の進捗がある	38
C・・・進捗は遅れている	4
D・・・進捗は大幅に遅れている	0
合 計	56

施策評価調書（令和6年度）

1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	Ⅰ. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(Ⅰ)地方創生	政策推進部
施策内容	①まち・ひと・しごと創生の推進	財務部

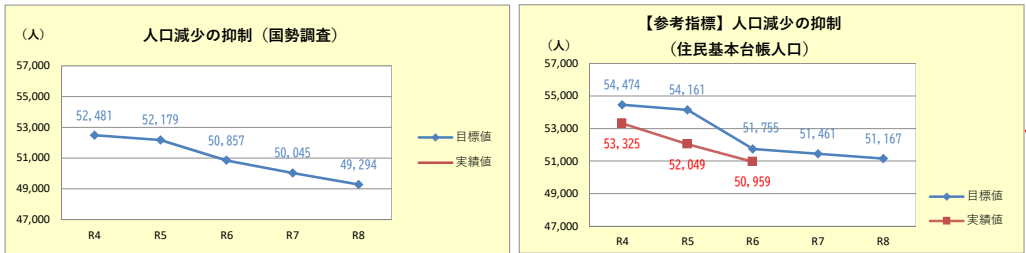
むつ市総合経営計画後期基本計画における「基本方針」「施策項目」「施策内容」及び「施策内容」に最も関係の深い担当部局を記載。

2. 基本計画における指標 (KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
人口減少の抑制 (国勢調査)	(人)	54,103	52,481	52,179	50,857	50,045	49,294
【参考指標】人口減少の抑制 (住民基本台帳人口)	(人)	56,158	54,474	54,161	51,755	51,461	51,167
		令和2年度	53,325	52,049	50,959		

施策の指標 (KPI) の各年度または、計画最終年度の目標値と実績値を記載。
「-」となっているものは、現時点で数値が把握できないもの (参考とする統計資料が公表されていないものや複数年に一回の調査など)



施策の指標 (KPI) の目標値と実績値をグラフ化して記載。

3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績 (目標)	達成状況報告
ブースへの来場者数 (県主催の移住イベント)	16人 (20人)	青森県Uターンフェア2024にブース出展し、13組16人にむつ市での暮らし、就業、創業、支援金等、移住に関する相談受付を行った。移住以外にも観光に興味を持っている方の来訪もあり、むつ市の魅力を伝える活動もできた。
企業版ふるさと納税寄附件数	21件 (30件)	企業とのマッチング支援サービスを提供する事業者2社と契約することで、件数は21件、金額は2,010万円の寄附を集めることができ、事業を実施するための財源確保を図ることができた。
デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ) 令和6年度採択件数	1件 (1件)	新規1件、継続1件の事業を申請したところ、新規分は不採択となったが、継続事業の「キョウイク (教育・共育・今日行く!) 拠点によるまちづくり事業」は採択された。

・令和6年度の施策の進捗を図るための年次目標及び実績を記載。
・達成状況 (R7.3.31時点) について記載。

＜参考:令和5年度実績＞

内容	実績 (目標)	取組状況 (評価結果)
企業版ふるさと納税寄附件数	31件 (8件)	企業とのマッチング支援サービスを提供する事業者2社と契約することで、新規の企業から計21件 (金額850万円) の寄附を集めることができた。 結果として、令和5年度は、合計31件 (総額3,100万円) の寄附をいただくことができ、事業を実施するための財源確保を図ることができた。
地方創生関連交付金 (デジタル交付金含む) 令和6年度申請件数	1件 (1件)	新規1件、継続1件の事業を申請したところ、新規分は不採択となったが、継続事業の「キョウイク (教育・共育・今日行く!) 拠点によるまちづくり事業」は採択された。

<参考>
前年度実績

4. 主な関連するSDGsのゴール

11. 住み続けられるまちづくりを

主な関連するSDGsのゴールを記載

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度 予算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額	R7年度 予定額	R8年度 予定額
		決算額				
移住・定住推進事業	市町村・県関係機関等が企画・結集し、「仕事」「暮らし」「住まい」等移住に関する情報を一元的に提供する県主催の移住イベントに参加する。	132	132	116	182	182
		131	128	-	-	-
企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)関連費	むつ市まち・ひと・しごと創生推進事業に対して、企業からの寄附を募る。	313	2,082	2,267	2,267	2,267
		43	1,916	-	-	-
キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	地元の高等教育機関を核とした地元雇用やUターン就職等の人材定着、地域内での企業、創業を促す人材育成、「知」の集積、高等教育機関及び研究活動への援助等の事業を通じ、むつ下北地域の可能性を最大限に引き出し、地域経済の活性化、発展に寄与することを目的として、産官学連携により設立されたむつ下北未来創造協議会に対し負担金を支出するもの。	10,912	10,912	10,912	10,912	10,912
		10,912	10,912	-	-	-

施策内容に紐付く事務事業のうち主要な取組(主要事業)を記載。

<事業費>
・R4~6 = 予算額
・R7・8 = 予定額
※R4・5は決算額も記載

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況(総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	イベント来場者数や企業版ふるさと納税寄附件数は目標値には届かなかったものの、例年と比較して寄附額は大幅に増加し交付金も採択されたため、事業実施のための財源を確保することができた。 【今後の取組の方向性】 人口減少対策に係る取組を推進するため、移住イベントへの参加を継続して行う。また、企業版ふるさと納税は、複数のマッチング支援事業者との契約を進めるとともに、むつ市にゆかりのある企業にリーフレットを送付するなどし、交付金については、新たな制度に変更となったことから事業担当課と申請に向けた協議を重ねて、財源確保に努める。

R7.3.31時点の各部局の内部評価による施策の進捗状況の評価・評価の理由・課題を記載。

【評価区分】
A 順調に推移
B 一定の進捗がある
C 進捗は遅れている
D 進捗は大幅に遅れている

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況(総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	87.0%	
		C	13.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

むつ市総合開発審議会委員の施策の進捗状況の評価と評価割合を記載。
評価割合が多いものを全体評価として記載する。

施策評価調書(令和6年度)

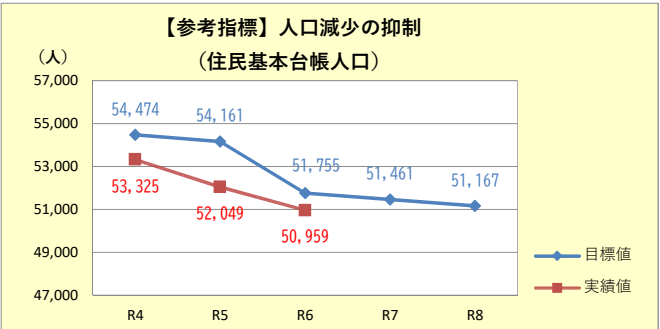
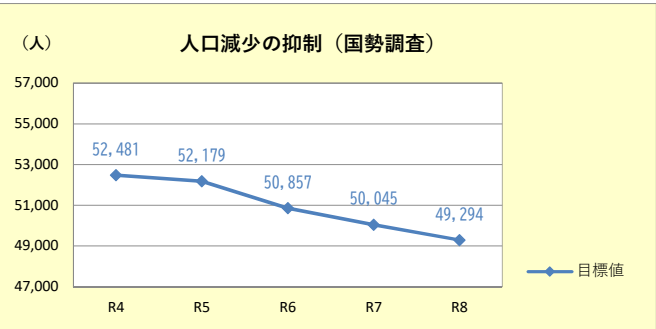
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(1) 地方創生	政策推進部
施策内容	① まち・ひと・しごと創生の推進	財務部

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
人口減少の抑制(国勢調査)	(人)	54,103	52,481	52,179	50,857	50,045	49,294
		令和2年度	—	—	—	—	—
【参考指標】人口減少の抑制 (住民基本台帳人口)	(人)	56,158	54,474	54,161	51,755	51,461	51,167
		令和2年度	53,325	52,049	50,959	—	—



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
ブースへの来場者数 (県主催の移住イベント)	16人(20人)	青森県UIターンフェア2024にブース出展し、13組16人におつ市での暮らし、就業、創業、支援金等、移住に関する相談受付を行った。移住以外にも観光に興味を持っている方の来訪もあり、おつ市の魅力を伝える活動もできた。
企業版ふるさと納税寄付 件数	21件(30件)	企業とのマッチング支援サービスを提供する事業者2社と契約することで、件数は21件、金額は2,010万円の寄附を集めることができ、事業を実施するための財源確保を図ることができた。
デジタル田園都市国家構 想交付金(地方創生推進 タイプ)令和6年度採択件 数	1件(1件)	新規1件、継続1件の事業を申請したところ、新規分は不採択となったが、継続事業の「キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業」は採択された。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	取組状況(評価結果)
企業版ふるさと納税寄附 件数	31件(8件)	企業とのマッチング支援サービスを提供する事業者2社と契約することで、新規の企業から計21件(金額850万円)の寄附を集めることができた。 結果として、令和5年度は、合計31件(総額3,100万円)の寄附をいただくことができ、事業を実施するための財源確保を図ることができた。
地方創生関連交付金(デ ジタル交付金含む)令和6 年度申請件数	1件(1件)	新規1件、継続1件の事業を申請したところ、新規分は不採択となったが、継続事業の「キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業」は採択された。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	11. 住み続けられるまちづくりを
--	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
移住・定住推進事業	市町村・県関係機関等が参画・結集し、「仕事」「暮らし」「住まい」等移住に関する情報を一元的に提供する県主催の移住イベントに参加する。	132	132	116	182	182
		131	128	—	—	—
企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)関連費	むつ市まち・ひと・しごと創生推進事業に対して、企業からの寄附を募る。	313	2,082	2,267	2,267	2,267
		43	1,916	—	—	—
キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業 【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】	地元の高等教育機関を核とした地元雇用やUターン就職等の人材定着、地域内での企業、創業を促す人材育成、「知」の集積、高等教育機関及び研究活動への援助等の事業を通じ、むつ下北地域の可能性を最大限に引き出し、地域経済の活性化、発展に寄与することを目的として、産官学連携により設立されたむつ下北未来創造協議会に対し負担金を支出するもの。	10,912	10,912	10,912	10,912	10,912
		10,912	10,912	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	イベント来場者数や企業版ふるさと納税寄附件数は目標値には届かなかったものの、例年と比較して寄附額は大幅に増加し交付金も採択されたため、事業実施のための財源を確保することができた。
			【今後の取組の方向性】 人口減少対策に係る取組を推進するため、移住イベントへの参加を継続して行う。また、企業版ふるさと納税は、複数のマッチング支援事業者との契約を進めるとともに、むつ市にゆかりのある企業にリーフレットを送付するなどし、交付金については、新たな制度に変更となったことから事業担当課と申請に向けた協議を重ねて、財源確保に努める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	87.0%	
		C	13.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

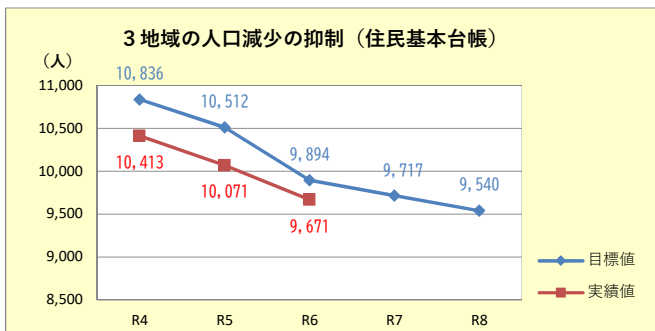
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(1) 地方創生	政策推進部
施策内容	② 川内・大畑・脇野沢地区の持続的発展	分庁舎

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
3地域の人口減少の抑制（住民基本台帳）	（人）	11,160	10,836	10,512	9,894	9,717	9,540
		令和2年度	10,413	10,071	9,671		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
地域おこし協力隊員数	4人（6人）	川内地区では、SUP・カヤック体験等の観光アクティビティ開発のほか、ホタテフェスティバル、スノー×ライトフェス2025 in 川内の開催などで地域のにぎわいを創出した。また、下北おつ湾カードラリーを開催するなど脇野沢地区も含めた地域づくり活動を実施し、地域情報の発信や活性化に取り組んだ。 3月末で1人の隊員が任期満了となったが、令和7年4月からは新たに集落支援員として、地域の課題解決に貢献する。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	取組状況（評価結果）
地域おこし協力隊員数	4人（6人）	川内地区では、ホタテフェスティバル、星空教室、スノー×ライトフェス2024、Jazzのタベ、畑マタギ展の開催などで地域のにぎわいを創出するとともに、脇野沢地区ではタラ漁に参加するなど、担い手不足の地域での活躍もあった。 3月末で3名の隊員が任期満了となり活動を終えたが、うち1人が同地区に残り、（一社）おつ市脇野沢農業振興公社で蕎麦づくりに従事している。 令和6年4月からは新規隊員が1人追加となり、合計2人の隊員で活動を開始する。

4. 主な関連するSDGsのゴール

11 持続可能なまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを
----------------	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
地域おこし協力隊設置事業	国の地域おこし協力隊制度を利用し、イルカやジオパークといった地域資源を活用した観光アクティビティの開発、社会教育事業、環境保全活動の実施をコーディネートする人材を確保することで、新たなビジネスの創出、地域づくり、活性化に取り組む。	21,200	23,383	25,285	32,983	32,983
		14,914	22,599	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	計画人数6人に対し4人での活動となったが、隊員一人ひとりが能力を発揮しイベントなどの開催を通して、地域の活性化や魅力発信に取り組むことができた。これらの取組を継続的に行うことが3地域の人口減少の抑制につながっていくと考えるため、概ね良好な進捗である。
			【今後の取組の方向性】 引き続き地域資源を活用した観光アクティビティの開発やイベントを実施し、地域活性化を目指す。現在、川内地区での活動がメインとなっているため、脇野沢地区や大畑地区での活動についても協力隊の配置状況も含め検討を進める。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】 ・地域おこし協力隊について、目標値は6人となっていますが、4人しか集まらなかった理由は何でしょうか。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	73.9%	
		C	26.1%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

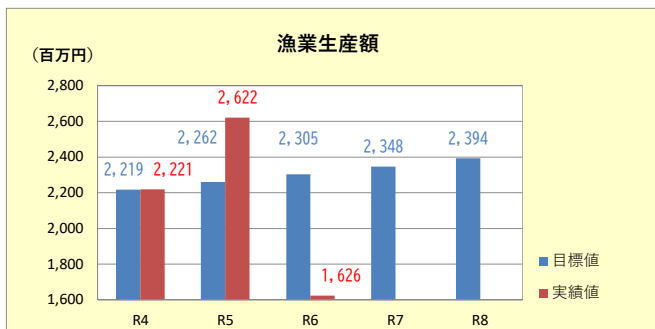
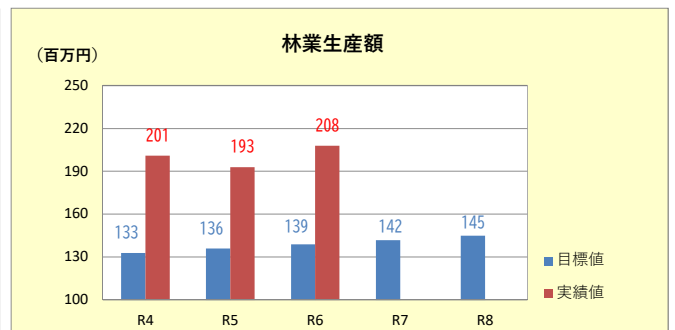
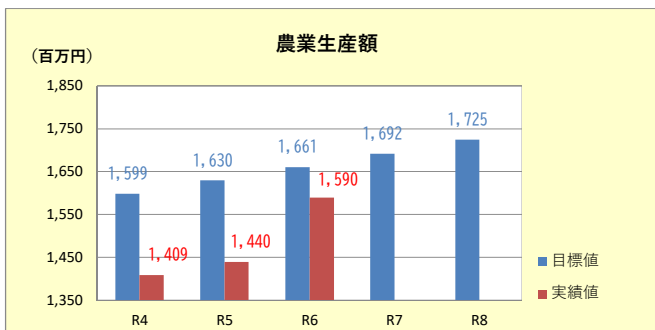
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	産業政策部
施策内容	①農林水産業の振興	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
農業生産額	(百万円)	1,568	1,599	1,630	1,661	1,692	1,725
		令和2年度	1,409	1,440	1,590		
林業生産額	(百万円)	130	133	136	139	142	145
		令和2年度	201	193	208		
漁業生産額	(百万円)	2,176	2,219	2,262	2,305	2,348	2,394
		令和2年度	2,221	2,622	1,626		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
50歳未満の新規就農者数	1人(2人)	50歳未満の新規就農者数は1人であった。 農業者に対し、むつ市農業経営収入保険加入促進補助金交付要綱にもとづき、農業者5人(2団体含む)の農業経営収入保険の加入に対し、保険料の1/2を補助した。 市有牛貸付事業では、畜産農家に対して市有牛を貸付3件、譲渡3件を実施した。
森林整備面積の拡大	22.5ha(25ha)	豊かな森づくり補助金において、再造林に係る申請は3件あり再造林が実施された。しかし、合計で面積が目標値を2.5ha下回り、目標には届かなかった。
ナマコの漁獲量増加	196t(196t)	川内地区及び脇野沢地区では11月に稚ナマコの放流事業、むつ地区では3月に増殖場造成事業が完了した。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績(目標)	取組状況(評価結果)
50歳未満の新規就農者数	1人(2人)	むつ市産夏秋いちご収益力アップ事業では、1団体にに対して補助金を交付し、市有牛貸付事業では、2件の畜産農家に対して市場導入牛を貸付し、予定通り事業を完了した。 50歳未満の新規就農者数は、目標に届かず1人であったが、現在、令和6年4月の就農開始に向け、20代男性1人が研修中である。
森林整備面積の拡大	27.25ha(22ha)	豊かな森づくり補助金において、再造林に係る申請は、4件あり、合計で目標値を5.75ha上回る面積の再造林が実施された。
ナマコの漁獲量増加	136t(178t)	川内地区では10月、むつ地区では3月に増殖場造成事業が完了し、脇野沢地区では11月に稚ナマコの放流事業が完了した。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	8. 働きがいも経済成長も		14. 海の豊かさを守ろう
	15. 陸の豊かさを守ろう		

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
農業経営収入保険加入促進事業	自然災害や異常気象による収量低下及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響による価格下落など、経営努力では避けられない様々なリスクによる収入の減少への備えとして、農業経営収入保険に新規に加入する農業者等に対し、保険料(掛け捨て部分)と付加保険料(事務費)の合計額の1/2以内の額を補助し、保険への加入を促進する。	—	—	1,000	1,000	1,000
		—	—	—	—	—
市有牛貸付事業	市有牛の貸付及び譲渡により、有畜農業の普及を図り、畜産の振興及び農業経営の安定を図る。	1,800	1,800	0	1,800	1,800
		1,522	1,573	—	—	—
むつ市豊かな森づくり補助金	むつ市の約8割を占める豊かな森林を未来につなげるため、事業者による森づくりを推進し、水源涵養や地球温暖化の防止等の森林の持つ多面的機能の発揮や林業の振興を図ることを目的とする。 青森県造林補助事業により造林や間伐等の森林整備を行った事業者に対して、市補助金を上乗せ交付する。特に再造林とその後の下刈りは補助率を上げることで事業者の負担が大幅に軽減される。	13,948	13,659	15,536	15,536	15,536
		8,085	12,867	—	—	—
ナマコ資源増殖推進事業	環境の変化に強く、安定して高価格が期待できるナマコは、近年の陸奥湾の漁業にあっては、ホタテガイと並ぶ最重要魚種に位置付けられている。 本事業は、ホタテガイを活用したナマコ増殖場造成や稚ナマコ購入・放流など、漁協が実施するナマコ資源の増殖を目的とする各種事業に係る経費の一部を補助することにより、漁業所得の向上や漁家経営の安定化を図る。	3,380	3,380	3,380	3,380	3,380
		2,880	3,380	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	農林部門は計画値には届かなかったが、概ね計画に沿った取組が遂行されている。水産部門は予定どおり遂行されている。
			【今後の取組の方向性】 引き続き農林水産業を振興する各種事業を推進しながら1次産業の生産者を支援し、生産額の向上や経営の安定化に努めていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	8.7%	
		B	87.0%	
		C	4.3%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

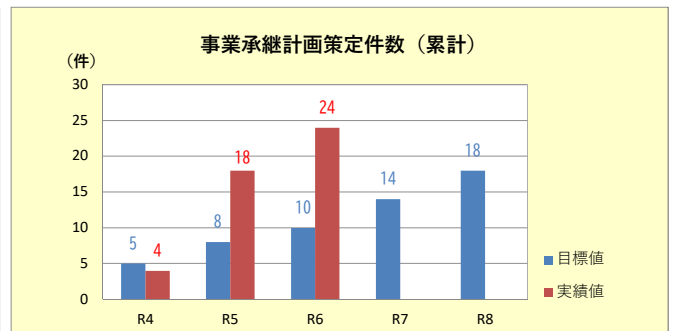
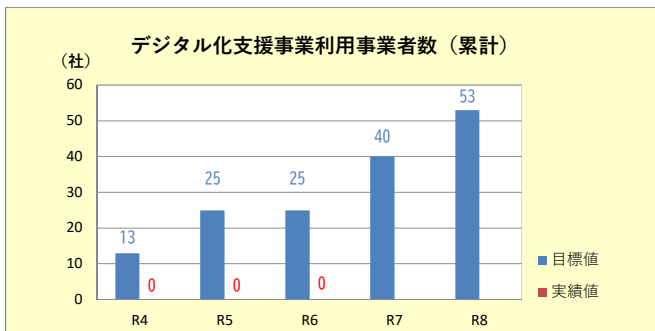
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	産業政策部
施策内容	②商工業の振興	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
デジタル化支援事業利用事業者数（累計）	（社）	13	13	25	25	40	53
		令和2年度	0	0	0		
事業承継計画策定件数（累計）	（件）	6	5	8	10	14	18
		令和2年度	4	18	24		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
デジタル地域通貨 事業者向けセミナー開催 数	0回（1回）	デジタル地域通貨については、令和6年度、事業の方向性を検討する上で運営費の試算をしたところ、現時点では経常的な赤字が想定され、収益面から持続可能な事業運営は困難であると判断し、事業の立ち止まりを令和6年9月開会のむつ市議会第261回定例会にて答弁している。 また、キャッシュレス化の促進については、令和6年11月に国より発表された物価高騰対策特別交付金を活用し、大手決済サービスとの連携キャンペーンを令和7年5月に実施することとしており、キャッシュレス決済の普及や経済効果などの検証を引き続き行っていく。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	取組状況（評価結果）
デジタル地域通貨 事業者向けセミナー開催 数	0回（2回）	市職員向け勉強会を開催し、26人が参加した。（8月） また、市内におけるキャッシュレス決済の普及状況やニーズを把握するため、市民向け及び事業者向けアンケートを実施した。（9月） 事業者向けセミナーは実施できていないが、9月に実施したアンケート結果を集計し、キャッシュレス決済対応状況や今後対応してほしい場所、市民や事業者の本事業への関心度等を把握することができた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

8 働きがいも経済成長も	8. 働きがいも経済成長も
--------------	---------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
デジタル地域通貨事業	全国的に拡大しているキャッシュレス決済の普及を促進するとともに、地域内経済の循環を高めて市内中小企業者の生産性向上及び業務効率化を図るため、デジタル地域通貨を導入し、持続可能かつ効果的な運用を推進する。	604	3,188	498	—	—
		505	1,659	—	—	—
むつ商工会議所補助金	むつ商工会議所補助金要綱に基づき、商工業者の振興と地域の活性化の推進、社会一般の福祉の増進に資するため、同所が行う各種事業に対し、予算の範囲内で補助を行う。補助内容は会報の作成や産業祭りのようなイベントに係る経費、空き店舗家賃補助、青年部・女性会への補助など。	7,718	8,218	18,660	18,660	18,660
		7,718	8,001	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	デジタル地域通貨事業の方向性を検討することとしていた令和6年度において「立ち止まる」という方向性が示されたこと、キャッシュレス化促進に向けた取組として、大手決済サービスとの連携キャンペーンの実施に向けた事業着手がされた。
			【今後の取組の方向性】 キャッシュレス決済キャンペーンの事業効果について、消費額や域外からの流入額など経済効果等の検証を行い、事業継続について検討を行う。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】 ・デジタル地域通貨事業について、令和6年度に事業が立ち止まったとあるが、詳細な理由を教えて欲しいです。 ・デジタル地域通貨事業を立ち止まったことはいいことであるが、他にもデジタル化を推進するべきところがあると思うので、必要なものを検討されるといいと思います。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている － わからない	A	4.4%	
		B	73.9%	
		C	21.7%	
		D	0.0%	
		－	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

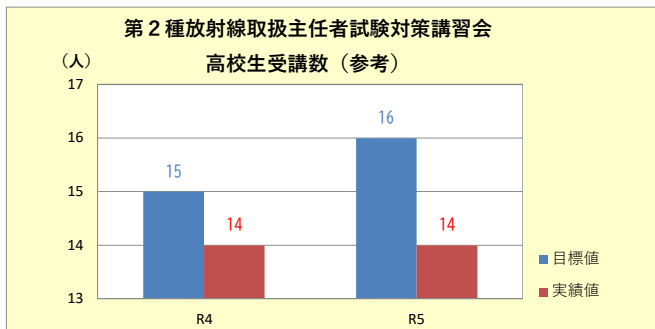
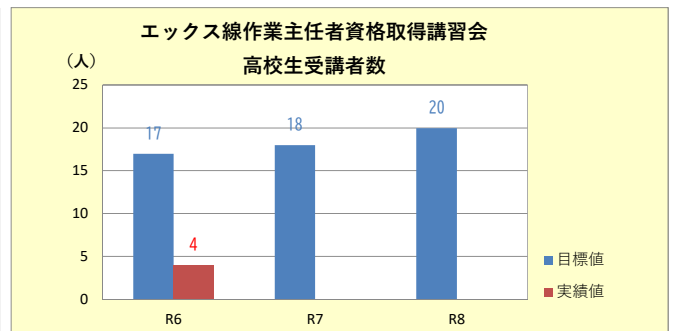
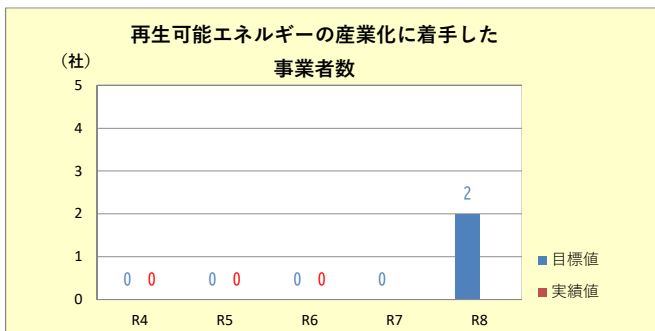
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	政策推進部
施策内容	③エネルギー関連産業の育成	産業政策部

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
再生可能エネルギーの産業化に着手した事業者数	(社)	—	—	—	—	—	2
		—	—	—	—	—	—
第2種放射線取扱主任者試験対策講習会 高校生受講者数	(人)	14	15	16	17	18	20
		令和3年度	14	14	—	—	—



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
エネルギー関連施設見学会等におけるアンケートで「理解できた」又は「意義があった」との回答	94.8% (80%)	一般市民や市内中高生を対象とした各種エネルギー関連施設の見学会のほか、市内高校生を対象としたエネルギー出前授業の実施により、エネルギー政策への理解促進を図ることができた。 【主な見学施設】東海第二発電所、柏崎刈羽原子力発電所、六ヶ所原子燃料サイクル施設、大間原子力発電所建設現場、他 【参加者数】一般市民27人、中学生20人、高校生137人
エックス線作業主任者資格取得講習会高校生受講者数	4人（17人）	一般市民や市内高校生を対象にエックス線作業主任者講習会を実施し、高校生4人、一般企業従業員8人が受講した。講習会の受講者の内、エックス線作業主任者試験受験者は8人で、合格者は4人となった。 受講者数は伸び悩んだが、試験受験者の合格率が5割となり、講習会実施の意義は果たすことはできた。

《参考：令和5年度実績》		
内容	実績（目標）	取組状況（評価結果）
エネルギー関連施設見学会等におけるアンケートで「理解できた」又は「意義があった」との回答	91.9% (80%)	一般市民や市内高校生を対象とした各種エネルギー関連施設の見学会のほか、市内高校生を対象としたエネルギー出前授業を実施した。 【主な見学施設】東海第二発電所、柏崎刈羽原子力発電所、六ヶ所原子燃料サイクル施設、大間原子力発電所建設現場 ほか 【参加者数】一般市民21人、高校生114人
第2種放射線取扱主任者試験対策講習会高校生受講者数	14人 (16人)	第14回第2種放射線取扱主任者試験受験対策講習会を実施した（R5.1月～7月）。⇒受講者数19人（一般5人、高校生14人） 受講者・合格者の減少傾向が続いている状況であったため、高校や企業の意見を踏まえ、現行の講習会に替わり、エックス線作業主任者資格取得講習会を実施した。（R6.1月～3月）。⇒受講者数12人（一般8人、高校生4人）

4. 主な関連するSDGsのゴール

	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに		9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
	12. つくる責任つかう責任		

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
広報・調査等交付金事業	当市に立地する「使用済燃料中間貯蔵施設」及び周辺に建設されている原子力発電施設について、広報・調査等交付金を活用した施設見学会や職員研修などの広報活動等を実施することで、市民の原子力やエネルギー政策に関する知識の普及を図る。	14,311	14,307	14,299	14,299	14,299
		8,189	9,362	—	—	—
地域企業連携強化事業	地域人材育成の一環として、エネルギー関連講習会のテキスト代を補助することで、受験生の拡大を図る。	2,893	2,892	2,674	2,629	2,629
		2,893	2,780	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①見学会参加者に対し実施したアンケートにおいて、「見学会は意義のあるものだった」「知りたかったことが理解できた」という回答が90%以上あり、年次目標が達成できた。 ②高校生の受講者目標には届かなかったが、講習会で学んだことで、試験の受験につながる結果となった。 【今後の取組の方向性】 ①引き続きエネルギー政策に対する市民への理解促進事業を進める。 ②エネルギー政策についてのニーズ調査を行い、ニーズに即した事業を展開していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	78.3%	
		C	17.4%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

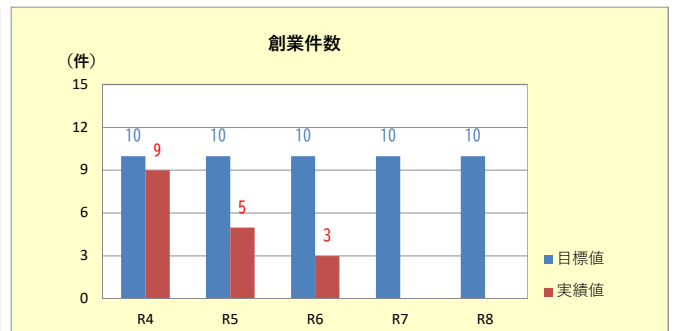
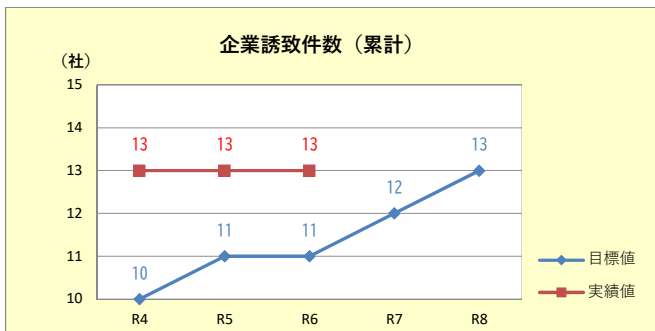
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	産業政策部
施策内容	④新たな産業の創出	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
企業誘致件数（累計）	（社）	10	10	11	11	12	13
		令和2年度	13	13	13		
創業件数	（件）	8	10	10	10	10	10
		令和2年度	9	5	3		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
企業誘致活動件数	18件（5件）	相談件数 11件 企業訪問 6件 市内視察 1件 当市の企業誘致にかかる支援制度や立地を検討する上での不動産の相談のほか、令和6年度は下北・むつ市企業連携協議会とともに、防衛や電力関係のメンテナンス等を行う企業への訪問、当地域への立地を検討している企業への訪問及び市内視察対応を行った。
創業支援対象者件数	63件（86件）	創業支援対象者件数 63件 【創業相談ルーム】毎月第1・3木曜日 計19回開催 参加人数 34人（延べ） 【創業支援セミナー】9月14日 参加人数 6人 【創業塾】10月～11月（全5回）参加人数 8人

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
企業誘致相談件数	7件（5件）	誘致企業の支援：株式会社寅福本社農場見学会 9月18日、19日実施（56人参加） 当市の企業誘致に係る支援制度や立地を検討する上での土地の購入などの問い合わせがあったが、具体的な誘致には結びつかなかった。（相談件数 7件）
創業支援対象件数	112件（86件）	4～3月の創業支援対象者件数 112件 創業件数 5件 【創業相談ルーム】毎月第1・第3木曜日 【創業支援セミナー】9月9日、3月16日 【創業塾】10月～11月（計5回）

4. 主な関連するSDGsのゴール

	8. 働きがいも経済成長も
--	---------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
企業誘致推進事業	産業の振興と雇用の創出を図るため、(財)電源地域振興センター「企業誘致支援サービス事業」等を活用した企業動向調査の他、「あおり産業立地フェア」及び「企業誘致セミナー」に参加し立地を検討する企業に対し市のPR活動を行うほか、誘致企業への支援としてむつ市企業誘致促進条例に基づき、申請があった企業に対して助成金を交付し、新たな立地企業の誘致に取り組む。	9,538	12,205	855	855	855
		9,393	12,200	—	—	—
創業支援事業	新たなビジネス創出を支援し雇用機会の創出につなげるため下北地域広域創業支援等事業計画に基づき創業支援を実施する。	1,299	1,153	1,105	1,105	1,105
		800	894	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①相談件数が前年度を上回っているほか、企業訪問を積極的に行い誘致を検討している企業1者について、実際に市内に来ていただき地域の実情を説明している。 ②創業支援件数が計画値より低い結果ではあるが、創業を目指す人が相談ルームを活用し継続して支援を受ける体制が整っており、次年度以降の創業へ向けて準備をしている。
			【今後の取組の方向性】 ①引き続き防衛や電力関係産業の誘致活動について、地元民間企業と協力しながら誘致活動を展開するほか、若者や女性の労働環境整備のため、IT関係企業へのアプローチを行っていく。また、令和6年度から継続している案件については、具体的な誘致へとつながるよう積極的にコミュニケーションを取っていく。 ②支援制度の周知に努め、関係機関と連携し、創業希望者のニーズに沿った支援を実施する。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	8.7%	
		B	60.9%	
		C	26.1%	
		D	4.3%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

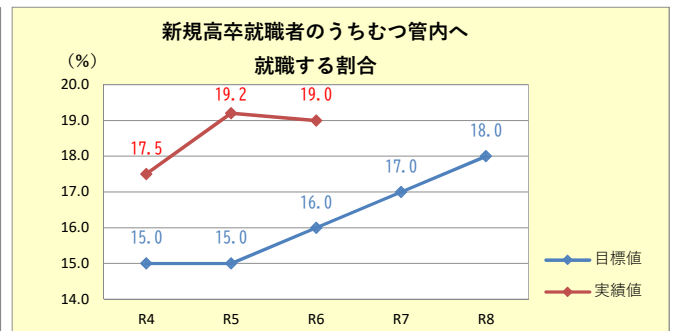
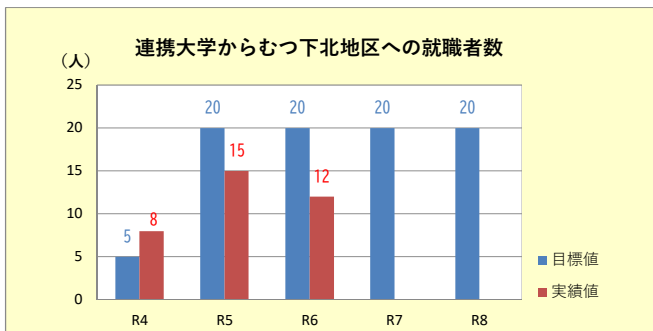
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	政策推進部
施策内容	⑤若者の地元就職の促進	産業政策部

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
連携大学からむつ下北地区への就職者数	(人)	16	5	20	20	20	20
		令和2年度	8	15	12		
新規高卒就職者のうちむつ管内へ就職する割合	(%)	15.0	15.0	15.0	16.0	17.0	18.0
		令和2年度	17.5	19.2	19.0		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
インターンシップ受入者数	13人(20人)	市内5企業が共育型インターンシップを実施し、県内大学生13人を受け入れた。
大学への企業紹介件数	5件(10件)	県内大学生35人の参加があり、市内5企業の紹介を行った。
企業見学会参加者数	73人(70人)	市内高校生73人(むつ工業高等学校、大湊高等学校、田名部高等学校定時制、大間高等学校)の参加があり、見学企業数は13社となった。また、広報むつにて市内13企業等の紹介を行った。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
インターンシップ受入者数	12人(20人)	市内6企業が共育型インターンシップを実施し、県内大学生10人を受け入れた。 また、従来型インターンシップとしてむつ総合病院が県内大学生2人を受け入れている。
大学への企業紹介件数	6件(10件)	県内大学生32人(弘前大学、青森大学、青森公立大学)の参加があり、市内6企業の紹介を行った。
職場見学会参加者数	62人(80人)	市内高校生62人(むつ工業高等学校、大湊高等学校、大間高等学校、田名部高等学校定時制)の参加があり、市内8企業の紹介を行った。 また、ガイドブックを作成し、県内高等学校、大学、関係団体等に計1,198部を配布した。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	8. 働きがいも経済成長も		17. パートナリシップで目標を達成しよう
--	---------------	--	-----------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
青森創生人財育成・定着推進事業	県内大学・自治体・企業等がオール青森体制で産学官民協働の広域ネットワークを形成し、卒業生の地元就職率の向上及び雇用創出に取り組むことで青森地域の課題である人口減少の解決に取り組む。	1,049	350	106	106	106
		724	7	—	—	—
新規高卒者市内定着支援事業	新規高卒者のむつ管内就職者数の減少と就職や進学を契機とした若者の流出が大きな課題となっていることから、高校生やUターン希望者等の若者向けに、地元企業の魅力や職業の紹介を目的とした企業見学会を実施するほか、むつ市で働きながら暮らす魅力を伝えるためのガイドブックを作成・配付することで、地元就職の意欲を高め、新規高卒者等の地元定着及び地元企業における人材不足解消を図る。	2,490	2,432	489	489	489
		2,260	2,239	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①②学生の地元定着につながる事業として有効であり、学生と企業双方の成長や地域の成長にもつながる事業として評価できる。 ③企業見学会にて実施したアンケートでは、「実際に企業内を見て、より企業の事を知り関心を深める事ができた」などの意見があり、非常に好評であった。
			【今後の取組の方向性】 ①②市内企業への就職につながる効果的な事業であり、学生に市内企業の魅力を伝えるための重要な手段であるため、今後も学生と市内企業をつなぐ支援を検討していく。 ③地域の人材の確保・地元定着のため、引き続き企業等見学会を実施し、できる限り多くの学校・生徒に参加してもらえるよう、関係者間の調整を図っていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
		A	8.7%	
		B	65.2%	
		C	21.7%	
		D	4.4%	
		—	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

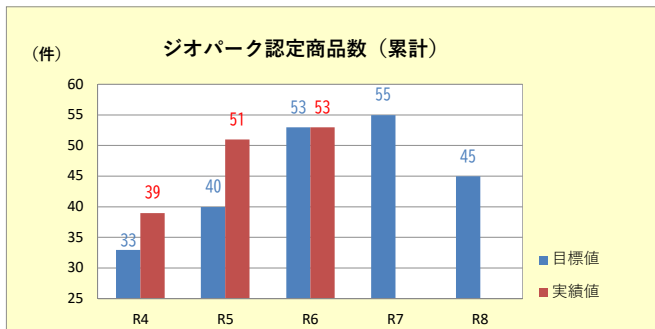
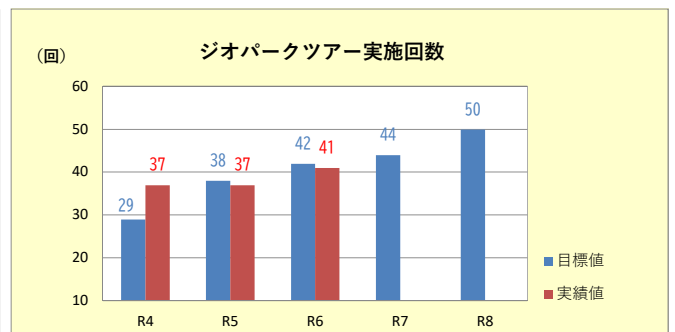
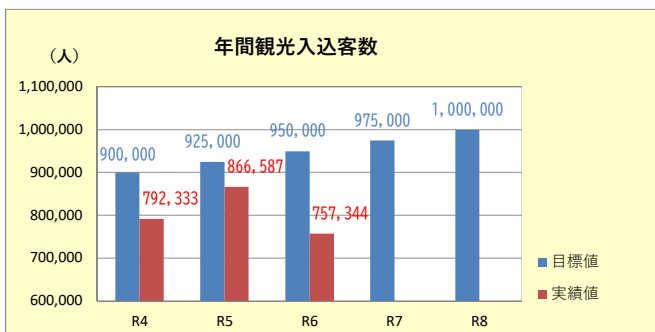
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(3)ジオパーク	政策推進部
施策内容	①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
年間観光入込客数	(人)	825,055	900,000	925,000	950,000	975,000	1,000,000
		令和元年	792,333	866,587	757,344		
ジオパークツアー実施回数	(回)	24	29	38	42	44	50
		令和3年度	37	37	41		
ジオパーク認定商品数（累計）	(件)	31	33	40	53	55	45
		令和3年度	39	51	53		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
年間観光入込客数	75.7万人(95万人)	計画値及び前年値を下回る実績値となったが、その要因として、前年比でみると釜臥山スキー場の入込客数が86,000人を超える減少となっている。下北ジオパークとしては、全国大会の開催や全国大会開催に合わせたツアーを開催するなど、これまでのジオパーク活動を通じて、一番の誘客を図った年度であったと考える。
ツアー実施回数	41回(42回)	全国大会開催に合わせたツアーを計画・実施したが、不催行となったツアーもあったことから計画値を下回る結果となった。今後の計画値の達成のためには、全国大会の開催に合わせて開発したツアーなどの継続的な販売などについて、引き続き関係機関への働きかけを行っていく必要がある。
ジオパーク認定商品数（累計）	53件(53件)	当初の最終年度の計画値を上回っていることから上方修正した計画値を設定しているが、計画どおり達成できている。全国大会の開催時に認定商品事業者もブース出展するなど、例年以上に認定商品の認知度向上を図ることができた年度であったと考える。

《参考：令和5年度実績》		
内容	実績(目標)	達成状況報告
年間観光入込客数	86.6万人(92.5万人)	日本ジオパーク全国大会の開催も控え、報道機関を活用したPRやSNSを通じた発信により、全国からの関心が高まっている。全国大会で実施するツアーも新たに10本制作することができた。
ツアー実施回数	37回(38回)	学校の現地学習でのガイド派遣は、29件で1,353人が参加。観光ツアー、個人旅行でのガイド派遣は、8件で155人が参加。件数は計画値を下回ったが、参加人数は増加傾向にある。
ジオパーク認定商品数(累計)	51件(40件)	新規認定は過去最高の13件、未更新1件。日本ジオパーク全国大会の開催も控えており、ジオパークを活用した地域振興の取組が活発に展開されている。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	8. 働きがいも経済成長も		11. 住み続けられるまちづくりを
	17. パートナリーシップで目標を達成しよう		

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
下北ジオパーク推進事業①	下北ジオパーク認定ガイドが案内する常設のジオパークガイドツアーに加え、団体向けジオツアーが定期的に開催されるとともに、外国人のみで訪れても困らずにジオパークを楽しめる環境を整えることを目標に、ガイドの事務局でもある“しもきたTABIあしす”と連携したジオツアーの企画造成や、ジオパーク認定商品の周知強化・販売促進を行い、下北ジオパークのブランド力向上を図る。 令和6年に予定されている日本ジオパーク全国大会下北大会の開催により、下北の魅力を伝えられるよう取組を強化していく。	21,726	25,756	40,750	27,250	27,250
		20,684	22,242	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	計画値は下回ったものの、全国大会の開催により、誘客促進、認定商品の認知度向上が大きく図られた年度であったと考える。
			【今後の取組の方向性】
			ユネスコ世界ジオパーク認定に向けて、地質遺産の国際的価値の証明に取り組むとともに外国人旅行者の受入環境整備を進めるほか、巡検などの研究者の受入も促進することで、更なる誘客促進、「地域の価値(ブランド力)向上」を図る。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	13.0%	
		B	78.3%	・ジオパーク認定商品について、KPIに認定商品数を設定するのではなく、商品の売上高を設定した方がいいのではないのでしょうか。 ・ジオパーク認定商品について、売上高も参考値として掲載して欲しいです。
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

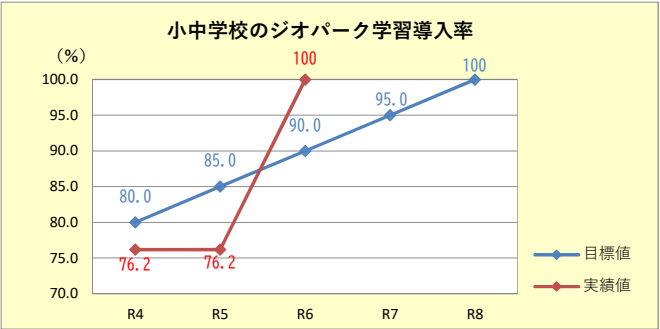
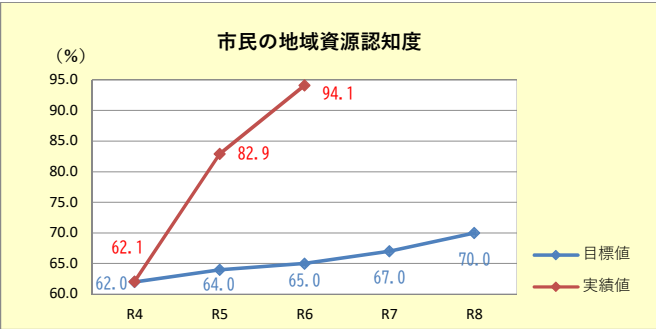
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(3)ジオパーク	政策推進部
施策内容	②資源価値の保全と教育	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R6年度	R6年度	R7年度	R8年度
市民の地域資源認知度	（％）	59.5	62.0	64.0	65.0	67.0	70.0
		令和2年度	62.1	82.9	94.1		
小中学校のジオパーク学習導入率	（％）	77.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100
		令和2年度	76.2	76.2	100		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
学校教育と連携したジオパーク教育の推進	21校（19校）	計画を上回る市内小中学校全21校が出前講座やジオパークガイドを利用した現地学習などのジオパーク学習に取り組み、郷土愛の醸成が図られた。また、全国大会を当地域で開催したことにより、全国のジオパーク関係者をはじめとした600人を超える観客の前という大舞台での口頭発表の機会を多くの児童生徒に提供することができた。
出前講座・座談会の実施	28回（27回）	計画値を上回る実績値となった。詳細は、出前講座が16件で参加者939人、その他の講演等が12件で参加者307人。下北管内の教育機関のほか、地域団体向けの講座も実施したことにより、地域資源認知度の向上が図られた。
気軽に参加できる保全活動（モニタリング勉強会）の実施	23人 （参加者35人（累計））	計画値を下回った理由としては、全国大会の開催や再認定審査の対応により、モニタリング勉強会を1回しか実施出来なかったためである。しかし、全サイトのモニタリングは実施されており、また、モニタリング確認書の提出数は令和5年度を上回る100件の提出があったことから、地域全体で地域資源の保全に取り組むことはできたものとする。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
学校教育と連携したジオパーク教育の推進	22校（18校）	教育促進事業費補助金活用校5校を含む18校が学習・活動発表会に参加。その他、ジオパークガイドを利用した現地学習など合計22校がジオパーク教育に取り組み、地域資源の価値を児童・生徒に伝え、郷土愛の醸成を図ることができた。
出前講座・座談会の実施	36回（27回）	計画以上の実績となった。詳細は、出前講座19件で参加者767人、その他講演17件で参加者337人。下北管内教育機関をはじめ地域団体向けの講座も実施し、下北ジオパークの魅力を伝え、地域資源認知度の向上を図ることができた。
気軽に参加できる保全活動（モニタリング勉強会）の実施	53人 （参加者35人（累計））	計3回の勉強会を実施し、53人が参加。モニタリング確認書は87件の提出があり、地域全体で地域資源の保全に取り組むことができた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	4. 質の高い教育をみんなに		11. 住み続けられるまちづくりを
	14. 海の豊かさを守ろう		15. 陸の豊かさを守ろう

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
下北ジオパーク推進事業②	下北固有の地質遺産や地域資源の価値を、地域に住む私たちが最大限に享受し、地域の素晴らしさを知り、郷土愛が育まれる地域となることを目標に、学校及び社会教育の場において、ジオパークの知識を誰もが気軽に入手でき、ジオパーク活動に参加できる体制づくりを支援する。	1,255	1,500	1,000	1,250	1,250
		1,044	1,423	-	-	-

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	計画値を下回る事業もあったが、事業の目的は全て達成できたもの と考える。また、全国大会の開催を通じて、児童生徒をはじめとした地 域住民の皆さまに貴重な機会を提供することができたことから、今後 の下北ジオパークの活動の広がりにさらなる期待ができる取組を展 開できたと考える。
			【今後の取組の方向性】 ユネスコ世界ジオパーク認定に向けて、地質遺産の国際的価値の証 明に取り組むとともに、引き続きジオパーク学習の推進、地域住民との 地域資源の保全に取り組む、更なる「郷土愛の醸成」及び「地域の価 値（ブランド力）向上」を図る。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	65.2%	
		B	21.7%	
		C	8.7%	
		D	4.4%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

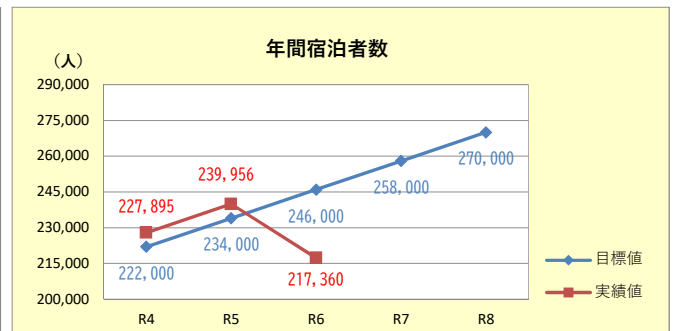
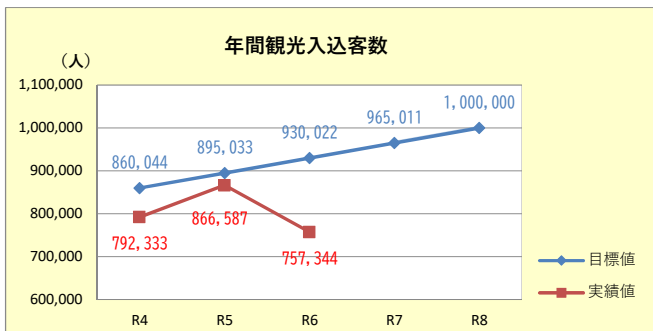
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(4)観光・物産	産業政策部
施策内容	①広域連携による観光プロモーション	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
年間観光入込客数	(人)	825,055	860,044	895,033	930,022	965,011	1,000,000
		令和元年	792,333	866,587	757,344		
年間宿泊者数	(人)	210,776	222,000	234,000	246,000	258,000	270,000
		令和元年	227,895	239,956	217,360		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
各種広報媒体を活用した効果的な地域の魅力発信	38回(12回)	各種広報媒体を活用し、下北地域の体験、イベント、特産品などについて、情報発信を行った。 ●旧しもきたTABIあしすとInstagram・Facebook:26回 ●青森県公式ファンコミュニティ「青森びいき」:12回
インバウンドの地方誘客に向けた観光ガイドの確保	9人(5人)	令和6年7月28日にインバウンドにおける下北地域への観光需要拡大に向けて説明会を行い、青森県内で活躍する通訳案内士と連携体制を構築した。 ●英 語:8人 ●中国語:1人

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
各種広報媒体を活用した効果的な地域の魅力発信	12回(12回)	webサイトや各種SNS等で下北半島内の各地域の観光・食・イベントなどの情報をきめ細やかに発信することにより、下北半島の魅力を伝え、認知度向上に貢献することができた。 また、定期的にDMOが販売する旅行商品等を紹介し、稼げる観光地域づくりの取組を推進することができた。
観光ガイドの育成	13回(12回)	日本ジオパーク全国大会に向けて、会員ガイドによる内部研修や外部講師を招いての研修を実施し、ジオパークに関する知識の取得やガイドスキルの向上を図った。 また、ガイド志望者を対象に行う講習会の補助等も行った結果、新たに7人がガイドとして認定され、ガイドの確保につなげることができた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを	

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R6年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
下北ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業	下北半島6自治体における観光振興の舵取り役を担う一般社団法人しもきたTABIあしすへの会費及び負担金を拠出する。	13,826	13,824	13,824	13,824	13,824
		13,826	13,824	-	-	-

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	通訳案内士との連携体制が構築でき、英語以外の言語対応も進めていることから、概ね良好である。
			【今後の取組の方向性】
			インバウンド誘客に向け、多言語ガイドとの連携を強化しつつ、海外旅行会社が求める宿泊施設情報などのセールスツールの作成を行い、受入体制整備に尽力する。 また、併せてプロモーションを継続し、認知度向上に努める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】 ・「ようこそ」「いらっしゃいませ」と言える人が誘客しないと無責任な発言になる事が多いので注意が必要と考えています。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	13.1%	
		B	65.2%	
		C	21.7%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

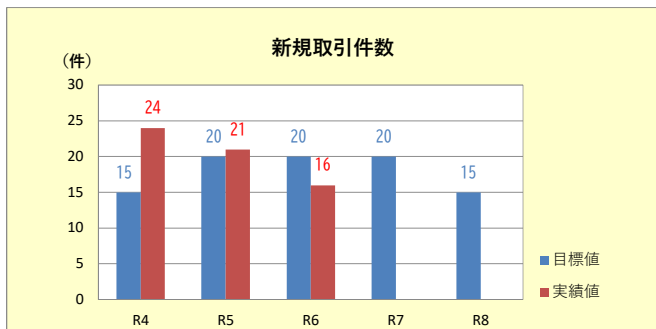
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(4)観光・物産	産業政策部
施策内容	②稼げる物産プロモーション	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
新規取引件数	(件)	11	15	20	20	20	15
		令和2年度	24	21	16		
産品購入意欲度 全国市町村魅力度ランキング	(位)	142	—	—	—	—	100
		令和2年度	廃止	⇒	⇒	⇒	⇒



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
新規取引件数	16件（20件）	全国販路開拓支援について、新商品開発支援補助金においては11件（R5:6件）、販路開拓支援補助金においては6件（R5:5件）と申請数が伸びていることから、販路開拓に積極的に取り組む事業者の後押しができていていると評価できる。また、山の幸ブランディング事業では、新たな取組として5軒の市内農家で生産されたジャガイモによるポテトチップス販売など付加価値を高め生産者の所得向上に資する取組を実施した。
産品想起率 全国市町村魅力度ランキング	103位（30位以内）	市内スーパーでの「むつ市のうまいは日本一！」を継続的に実施し、地産地消に取り組んだほか、関東で実施するスーパーマーケットトレードショーに参加した市内事業者が複数の企業と交渉を開始するなど、地域外での新たな取引につながるよう活動を支援している。
ふるさと納税寄附額	約1億2,388万円（2億円）	事業者訪問を行い、新規取引事業者の募集及び新規返礼品の発掘に努めたほか、プロモーション業務委託について受注業者と連携し、各ふるさと納税サイトにおいて返礼品画像や詳細説明の見直しなど、ブラッシュアップを図った。 ふるさと納税新規取扱事業者数：1件、新規返礼品数：12品

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
新規取引件数	21件（20件）	レストランフェアで注目された地元食材がフェア参加外のレストランでも採用されるなど、地域ブランド力の向上に寄与。為替変動や地政学リスクに対応するため海外市場へのプロモーションも積極的に実施。新たな販路開拓が進んでいる。
産品想起率 全国市町村魅力度ランキング	89位（30位以内）	大湊地方隊イベントや10市大祭典への参加などご当地グルメの積極的なプロモーションを展開。また、首都圏の著名飲食店やスーパーを介して特産品の認知度向上と販路開拓を実施した。特に、全5総監部の海自カレーをワンプレートにした全国初の取組や、東京での大湊自衛隊グルメイベントの開催は注目を集めた。
ふるさと納税寄附額	約1億3,196万円（2億円）	事業者説明会や事業者訪問を行い新たな返礼品の発掘に努めたほか、ガイドブックの全面刷新や、地元事業者への取材を行い、その内容をSNSを通じて積極的に発信した。また、地場産品基準の見直しを行い、新たな返礼品の発掘にも努めた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

8 働きがいも経済成長も	11. 住み続けられるまちづくりを
--------------	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
「むつ市のうまいは日本一！」 推進プロジェクト事業「全国 販路開拓支援事業」	当市で生産される製品の多くが供給量の絶対数が少ないため、新規取引の成立を阻害する原因となっており、当地域の販売戦略は供給量の少なさをカバーしつつ販路拡大を可能とするビジネスモデルが必要となっている。 このことから、客単価の高いホテルや飲食店関係者向けの販売促進を行い、小規模でも安定した取引を可能とする販路の開拓を推進するものである。 その他、スーパーマーケットレドショーの青森県枠にブースを確保し、販路開拓を目指す事業者を支援する。	735	2,525	765	765	765
		734	2,525	—	—	—
むつ市のうまい!山の幸ブラン ディング事業 【デジタル田園都市国家構想 交付金(地方創生推進タイ プ)活用事業】	陸奥湾と津軽海峡に囲まれた特性を活かし、海峡サーモンやホタテなど海産物の認知度は高く、これまで各種マーケットで販路が開拓されてきたが、海産物以外の特産品の認知度が低いことから、出荷量が安定してきた「下北牛」や「かぼちゃ」をメインに、実食を伴う各種プロモーションを展開することで、山の幸の認知度向上を図り、販路の開拓につなげる。	—	5,000	5,000	5,000	—
		—	5,000	—	—	—
地域特産品活用促進事業 【デジタル田園都市国家構想 交付金(地方創生推進タイ プ)活用事業】	ご当地自衛隊グルメを活用し、活動団体並びに事業者の支援や各種のプロモーションを行い、地域経済の活性化を図る。 「大湊海軍コロッケ」、「大湊海自カレー」、「大湊Sora空っ!」については各種のイベントやPR活動により県内での認知度が高まっている。 今後も全国の自衛隊基地と連携しながら、全国で開催される自衛隊イベント等に参加し、更なるブランド化を目指す。	3,800	4,100	3,295	3,295	3,295
		3,599	4,099	—	—	—
ふるさと納税事業	魅力あるむつ市を目指し、各種事業遂行に要する財源の確保及びふるさと納税を活用したむつ市特産品の全国的普及を図ることで、販売額の向上を推進し、生産者の所得を向上させ、生産現場の活性化に貢献するものである。総務省が示す制度の趣旨に従い、効果的に事業を展開することとしている	98,273	96,974	91,078	138,622	138,622
		61,855	52,852	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	継続的な事業者支援や新たな取組は一定の効果を発揮しているものの、実績値において目標を達成できていないことから、やや不良である。
			【今後の取組の方向性】 引き続き高付加価値を生み出す商談及びPRの機会を創出し、事業者の所得向上に資する取組を実施する。また、ふるさと納税に関しては、自然の影響を受ける産品が返礼品として欠品するなど、納税寄附額に影響をもたらしている状況を回避するため、新規返礼品の追加に努める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】 ・「産品購入意欲度全国市町村魅力度ランキング」は廃止されているのであれば、他のKPIに変更する予定はないのでしょうか。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	39.1%	
		C	60.9%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

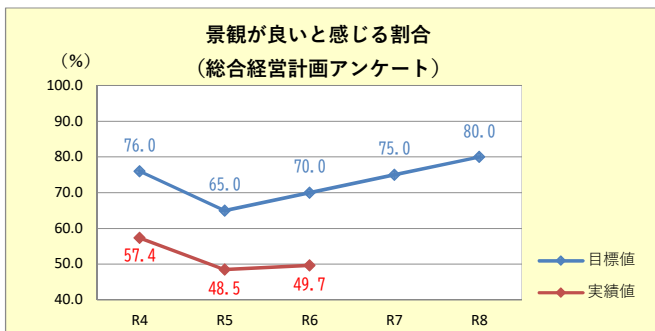
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(5)景観	都市整備部
施策内容	①景観の向上と保全	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
景観が良いと感じる割合 (総合経営計画アンケート)	(%)	73.1	76.0	65.0	70.0	75.0	80.0
		令和2年度	57.4	48.5	49.7		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
景観重要樹木のライトアップ	1箇所(1箇所)	景観重要樹木「銀杏木の大イチョウ」の紅葉時期にライトアップを行い、今年度の業務を計画どおりに完了した。
駅前広場のライトアップ	1箇所(1箇所)	下北駅前広場の植栽用照明設備の設置を行い、今年度の業務を計画どおりに完了した。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
景観重要樹木のライトアップ	1箇所(1箇所)	景観重要樹木「銀杏木の大イチョウ」の紅葉時期にライトアップを行い、今年度の業務を計画どおりに完了した。
駅前広場のライトアップ	1箇所(1箇所)	下北駅前広場の植栽用照明設備の設置を行い、今年度の業務を計画どおりに完了した。

4. 主な関連するSDGsのゴール

8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさも守ろう	

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
みどりと景観創造事業	令和3年6月に策定した「むつ市景観計画」を推進するため、市民や事業者とともに本市独自の恵まれた景観資源の保全・活用によるまちづくりに取り組むことで、ふるさとへの愛着や景観への関心を深めるとともに、地域の魅力向上及びにぎわいの創出を図る。	3,734	3,131	2,922	2,696	2,696
		2,812	3,008	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	今年度の事業を計画どおりに実施できたため、概ね良好である。
			【今後の取組の方向性】 次年度以降においても、景観重要樹木のライトアップ等、景観資源の保全・活用等により、良好な景観の創出に取り組んでいく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.3%	
		B	69.6%	
		C	26.1%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

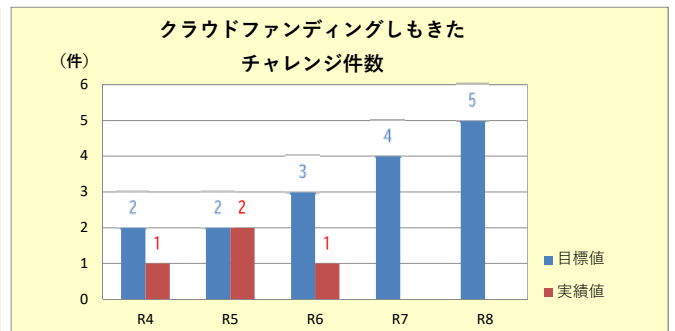
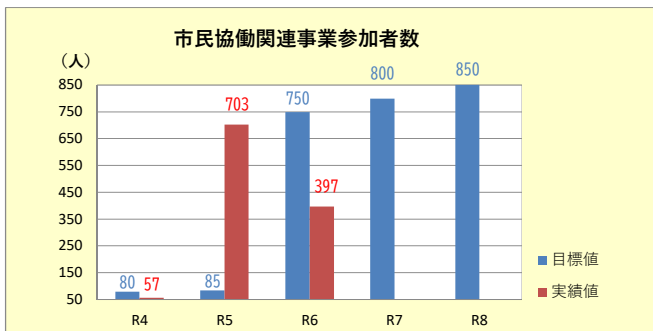
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(6)市民協働・コミュニティ	政策推進部
施策内容	①市民協働の施策展開	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市民協働関連事業参加者数	(人)	75	80	85	750	800	850
		令和元年度	57	703	397		
クラウドファンディングしもきたチャレンジ件数	(件)	1	2	2	3	4	5
		令和3年度	1	2	1		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
「FLAT」参加者数	397人（750人）	R6年度は、あらゆる世代、様々な業界の方との対話のほか、全庁的な取組として、幹部職員の参画、若手職員の参加など、市職員が一丸となって取り組む事業となることを目指して実施した。 【実施件数】 R5 35回（36町内会、5団体、2校、1町内会長）44団体 R6 22回（5町内会、18団体、1校、1町内会長、1オンライン）26団体
クラウドファンディングしもきたチャレンジ件数	1件（3件）	起案者のサポートに務め、1件をプロジェクト達成へ導いた。 支援金額：840,000円 支援者数：115人

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
スマイル・トークリレー「FLAT」参加者数	703人（85人）	3月末までに703人（44団体）が参加し、主に市長の公約をもとに対話を実施してきた。
クラウドファンディングしもきたチャレンジ件数	2件（2件）	起案者のサポートに務め、2件をプロジェクト達成へ導いた。 支援金額：2,297,696円 支援者数：252人

4. 主な関連するSDGsのゴール

11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナリシップで目標を達成しよう
------------------	----------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
FLAT	町内会のほか、市内で活動する団体等の活動の場に市長が出向き、対話形式で意見を伺うことで、市民協働によるまちづくりの推進を図る。	－	6	40	86	86
		－	6	－	－	－
クラウドファンディングしもきた運営事業	起案者へのサポート体制の拡充を図るため、クラウドファンディングしもきたを活用して資金調達した事業に対し、助成プロジェクトに要する経費のうち、手数料分の17%を（上限20万円）を支援するための財源を徴取する。	70	70	70	70	70
		70	70	－	－	－

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	①各種団体との実施回数は昨年度に比べて増加したほか、オンライン開催など新たな取組も行ったが、総合的な実施回数及び参加者数は伸び悩んだ。 ②相談件数は、昨年度比で2件増の5件となったが、プロジェクトとして実施されたのは1件に止まり、目標値には届かなかった。
			【今後の取組の方向性】 ①引き続きあらゆる世代、様々な業界の方との対話を目指し、各部局に関連する団体へ呼びかけていただき、市民の声を直接聞き、市の政策へ展開する。 ②引き続き啓発活動に力を入れるとともに、起案者のサポート体制の充実に努める。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている － わからない	A	4.4%	
		B	30.4%	
		C	65.2%	
		D	0.0%	
		－	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

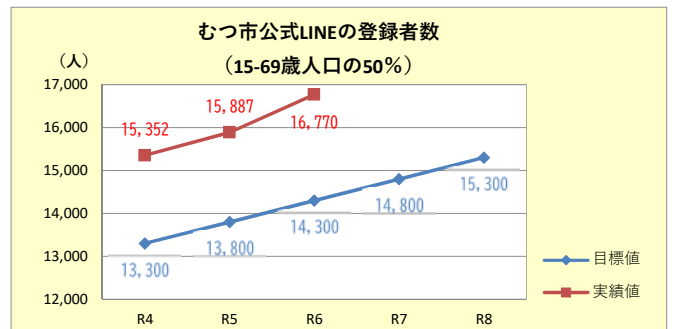
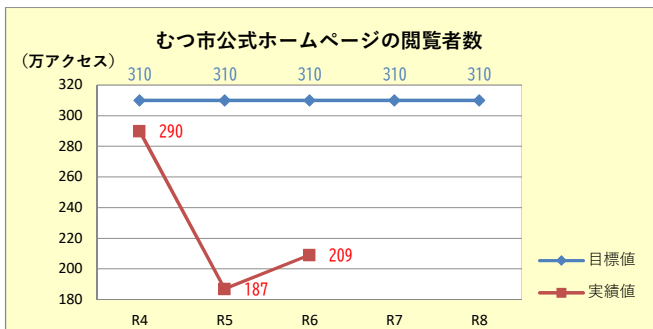
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(6)市民協働・コミュニティ	総務部
施策内容	②広報広聴の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
むつ市公式ホームページの閲覧者数	(万アクセス)	275	310	310	310	310	310
		令和元年度	290	187	209		
むつ市公式LINEの登録者数 (15-69歳人口の50%)	(人)	12,800	13,300	13,800	14,300	14,800	15,300
		令和3年度	15,352	15,887	16,770		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
公式ホームページの年間アクセス数	209万アクセス (310万アクセス)	昨年度の数値187万アクセスから増加したが計画値の7割程度である。当初の計画値は、コロナ禍の情報発信があったことやHPがリニューアルしたばかりのアクセスが集中する時期に設定したものであり、計画の見直しが必要と考える。また、市の公式SNSでの発信を受け取ることが定着したことによって、公式HPの閲覧数が減少したことが原因であると思われる。
公式LINEの登録者数	16,770人 (14,300人)	計画値を達成している。HP閲覧数減少の要因にもなっていると思われる。 ※実績値は、ラインオフィシャルアカウント ターゲットリーチ数によるもの。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
公式ホームページの年間アクセス数	187万アクセス (310万アクセス)	昨年度までのコロナ禍の情報発信が無くなったこと、また、市の公式SNSでの発信を受け取ることが定着したことにより、公式HPの閲覧数が減少したことが原因であると思われる。
公式LINEの登録者数	15,887人 (13,800人)	計画値を達成している。 ※実績値は、ラインオフィシャルアカウント ターゲットリーチ数によるもの。

4. 主な関連するSDGsのゴール

11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリーシップで目標を達成しよう
-------------------	------------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
ホームページシステム保守業務委託	市内外に迅速かつ正確な情報提供を行うためホームページを運用。職員の作成支援と閲覧者の利便性(アクセシビリティ・ユーザビリティ)の向上を目的にCMS(コンテンツマネジメントシステム)を導入している。	1,584	1,584	1,584	1,584	1,584
		1,584	1,584	—	—	—
市民の声データベースシステム保守事業	庁内各部局窓口寄せられる意見や提言、要望等を担当する職員の業務の効率化及び負担軽減と情報の集約による全庁的な情報共有を図ることを目的に、平成23年度から「市民の声データベースシステム」を開始し、様々な意見要望に対する進捗状況や回答等をシステム管理している。	434	448	450	450	450
		427	427	—	—	—
SNS配信事業	市政情報をスマートフォンへ直接届けられるプッシュ通知型のLINEをはじめ、防災かまふ、せメール、市民が情報へアクセスするプル型のTwitter、Facebook、YouTube、TikTokなど、さまざまなSNSをそのSNSごとの利用者属性やSNSの特性を活かして、むつ市の情報を届けるべき相手に伝わる広報を意識して情報展開を行う。	0	0	0	0	0
		0	0	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	HPのアクセス数は減少しているが、市公式SNSでのプッシュ型通知により市政情報を受け取ることが定着化したことによるものであると思われる。LINEの登録者数については計画値を既に達成しているが、今後もニーズに応じた市政情報を発信することで、登録者数を維持していきたい。
			【今後の取組の方向性】 広報むつ、公式HP、公式SNS等、各種情報発信ツールを複合的に活用して、効果的に地域住民に情報発信を図っていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
		A	21.7%	
		B	73.9%	
		C	4.4%	
		D	0.0%	
		—	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

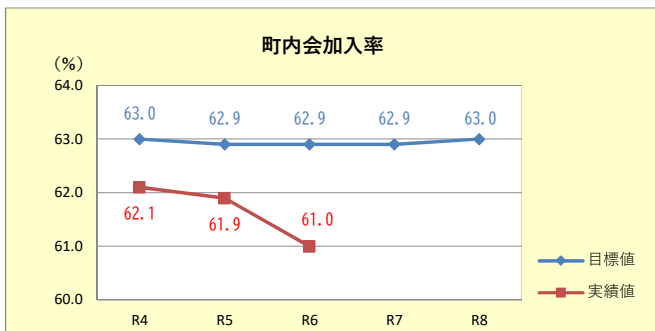
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(6)市民協働・コミュニティ	政策推進部
施策内容	③コミュニティ自治の実現	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
町内会加入率	（％）	62.8	63.0	62.9	62.9	62.9	63.0
		令和3年度	62.1	61.9	61.0		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
地域の明るい未来づくり応援補助金等による町内会活動支援件数	162件（162件）	市内全ての町内会へ補助金の交付を行い、町内会活動の活性化につながった。
コミュニティ助成件数	2件（2件）	備品や集会施設の整備を行うことで、集会所利用者の安全性・利便性が向上し、安心して暮らせる地域づくりにつながった。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
地域の明るい未来づくり応援補助金等による町内会活動支援件数	162件（162件）	地域の明るい未来づくり応援補助金における地域コミュニティ・チャレンジ事業の交付決定を全162町内会に行った。 なお、地域の明るい未来づくり応援補助金における活動及び活動拠点等整備に係る補助金については、3町内会に交付決定予定。 ・地域コミュニティ・チャレンジ事業（計7,856,570円） ・活動拠点等整備に係る補助（計3,167,843円）
コミュニティ助成件数	2件（2件）	採択結果が下記のとおり確定した。 ・一般助成（2町内会）計4,500,000円

4. 主な関連するSDGsのゴール

	11. 住み続けられるまちづくりを		17. パートナリシップで目標を達成しよう
--	-------------------	--	-----------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
地域コミュニティ保全事業	地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を支援し、もって住民福祉の向上を図り市民協働及び市民自治のまちづくりを推進するため、町内会等が行う自主的な市民活動の実施や活動拠点の整備に要する経費について、町内会等に対し補助金を交付する。また、町内会やNPO、ボランティア団体などによる市民の自主的な地域活動を支援することにより、活力のあるコミュニティづくりを実現するため、多岐にわたる市民団体の様々な活動に市民が安心して参加できるよう導入した市民活動保険制度の周知を図る。	9,782	9,659	11,921	11,921	11,921
		8,954	8,837	—	—	—
地域コミュニティ助成事業	(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施する「コミュニティ助成事業」を活用。コミュニティ組織(自治会、町内会等)が活動するための備品や集会施設の整備を行うことで、地域におけるコミュニティ活動を推進し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を図る。	13,400	6,100	5,800	5,800	5,800
		8,500	3,600	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	地域コミュニティ保全事業について、申請のあった町内会に対し現状確認を行い、実情を踏まえたうえで2件の実施に至ったため、概ね良好である。
			【今後の取組の方向性】
			地域の明るい未来づくり応援補助金において、自主事業実施に対する追加交付申請件数が少数であるため、対象となる町内会に対して周知に努めたい。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.3%	
		B	87.0%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

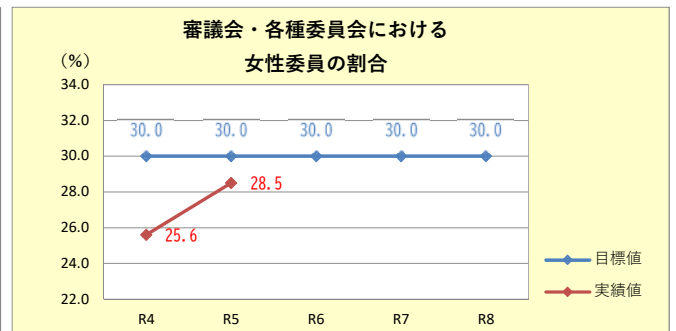
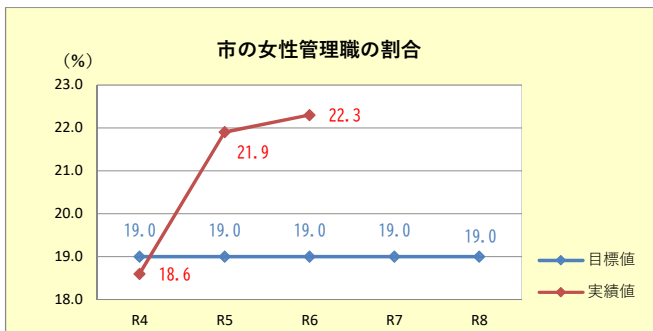
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(7)男女共同参画・女性活躍	政策推進部
施策内容	①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市の女性管理職の割合	(%)	17.9	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0
		令和3年度	18.6	21.9	22.3		
審議会・各種委員会における女性委員の割合	(%)	25.4	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
		令和3年度	25.6	28.5	—		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
市の女性管理職の割合	22.3%(19.0%)	むつ市ワークライフバランス推進計画に基づき、女性の職業選択に資する情報等についてHP上で公表。市が率先して取組状況を公表することで、市全体の女性登用についてアピールにつながっている。
審議会・各種委員会における女性委員の割合	※参考値28.5%(30.0%)	計画値には満たないが、前年度に比べ女性委員の割合が高く、改選時期に合わせて女性登用を積極的に推進している。 ※翌年7月に内閣府所管調査を実施するため、最新が令和5年度となる。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
市の女性管理職の割合	21.9%(19.0%)	第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に基づき、女性の政策・方針決定への参画拡大を図るため、啓蒙活動を実施した。 令和6年度中に第3次むつ市男女共同参画推進実施計画を策定するため、資料を作成中。
審議会・各種委員会における女性委員の割合	※参考値25.6%(30.0%)	自治体の審議会などに参画できる人材の育成を目的とする『あおりウイメンズアカデミー』を開催し、7人が受講を修了した。 ※翌年7月に内閣府所管調査を実施するため、最新が令和4年度の数値となる。

4. 主な関連するSDGsのゴール

5 ジェンダー平等を 実現しよう	5. ジェンダー平等を実現しよう	11. 住み続けられるまちづくりを
---------------------	------------------	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画基本計画策定に係る審議、男女共同参画社会の推進・啓発方法等について調査審議する。男女共同参画推進委員会に係る費用。	237	239	239	239	239
		156	239	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	令和6年12月に第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に係る実施計画を策定、女性の政策・方針決定への参画拡大を図るため、市内イベントにて出前啓発活動を行った。また、市立図書館での展示コーナーにて「男女共同参画」をテーマとした図書の展示及び貸出を行い、啓蒙活動を行った。
			【今後の取組の方向性】 第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めるため、年度初めに取組状況を照会。6月中に男女共同参画推進委員会を実施し、実績をもとに今後の方針を決定する。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】 ・「市の女性管理職の割合」は目標値を達成しているが、目標値を引き上げる予定はないのでしょうか。
		A	13.0%	
		B	87.0%	
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		—	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

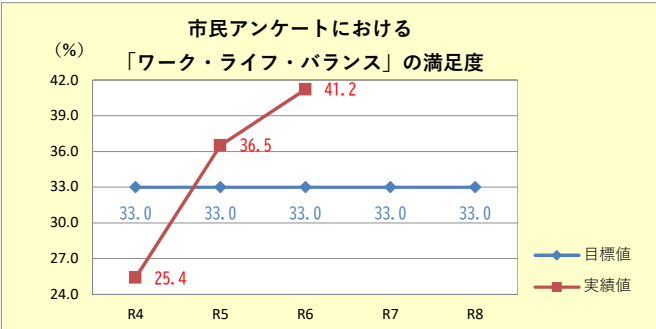
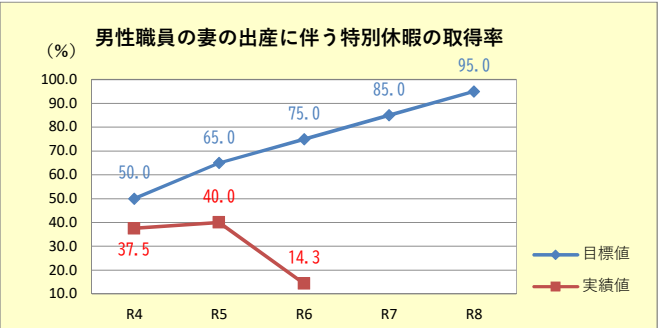
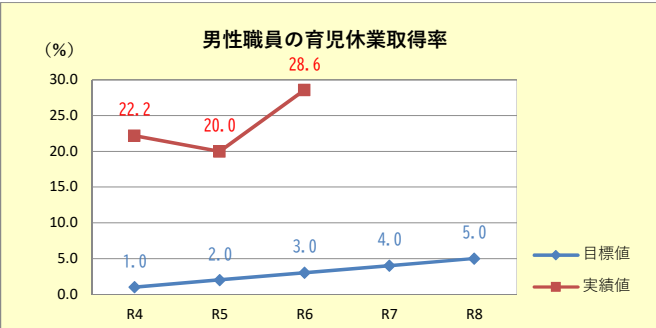
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(7)男女共同参画・女性活躍	政策推進部
施策内容	②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
男性職員の育児休業取得率	(%)	0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
		令和2年度	22.2	20.0	28.6		
男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率	(%)	44.0	50.0	65.0	75.0	85.0	95.0
		令和2年度	37.5	40.0	14.3		
市民アンケートにおける「ワーク・ライフ・バランス」の満足度	(%)	-	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0
		-	25.4	36.5	41.2		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
男性職員の育児休業取得率	28.6%(3.0%)	男性職員の育児休業取得率の目標を達成したが(7人中2人が取得)、昨年度に比べて取得率は上がっている。
男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率	14.3%(75.0%)	妻の出産に伴う特別休暇の取得率の目標を大きく下回った(7人中1人が取得)。

《参考:令和5年度実績》		
内容	実績(目標)	達成状況報告
男性職員の育児休業取得率	20.0%(2.0%)	男性職員の育児休業取得率の目標を達成した(5人中1人が取得)。
男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率	40.0%(65.0%)	妻の出産に伴う特別休暇の取得率の目標を下回った(5人中2人が取得)。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	5. ジェンダー平等を実現しよう
---	------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
男女共同参画推進事業	男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画基本計画策定に係る審議、男女共同参画社会の推進・啓発方法等について調査審議する。男女共同参画推進委員会に係る費用。	237	239	239	239	239
		156	239	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	男性職員が育児休業や妻の出産に伴う特別休暇を取得することにより、同僚への負担が懸念されることがテレワーク・年次有給休暇での対応により取得率が伸び悩んでいる。
			【今後の取組の方向性】 第3次むつ市男女共同参画推進基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向け、女性のみならず男性の働き方等を含めて、個人の意識や社会の体制を変革し、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】 ・テレワークや時差出勤の活用により、育児休業の取得率が下がってしまうのは意味がないので、改善が必要ではないでしょうか。
		A	8.7%	
		B	17.4%	
		C	73.9%	
		D	0.0%	
		—	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

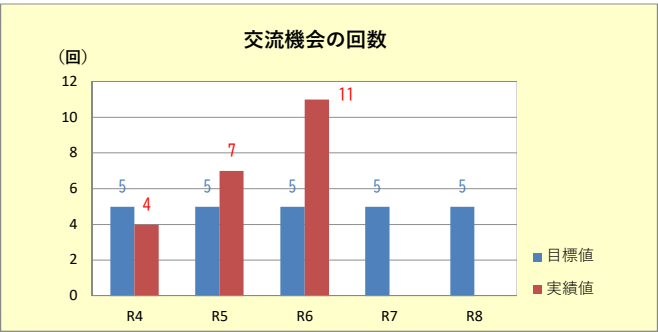
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(8)国際・都市間交流	政策推進部
施策内容	①姉妹都市等との交流	教育委員会事務局

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
交流機会の回数	(回)	3	5	5	5	5	5
		令和元年度	4	7	11		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
会津若松市との交流回数	10回（4回）	・ 8月10日 會舞道郷人しもきた公演（下北文化会館） ・ 9月20日 むつ市・会津若松市姉妹都市締結40周年記念調印式・祝賀会（むつ市から35人が参加） ・ 9月21日 むつ市・会津若松市姉妹都市締結40周年記念講演会（青森大学学生2人が学習発表） ・ 9月21日 令和6年度年交流会 ・ 9月22日 会津まつり「先人感謝祭」・「藩公行列出陣式」（むつ市から34人が参加） ・ 10月19～20日 MGF2024会津若松市出店 ・ 10月20日 市民ミュージカル「世界を一つに」－柴五郎の生涯－（下北文化会館） ・ 11月 3日 むつ中学校演劇「証」会津若松市公演（むつ中学校生徒13人が参加） ・ 11月 3日 斗南會津会 会津若松市研修会（むつ中学校と一箕中学校の生徒を対象とした交流事業） ・ 2月23日 むつ市スポーツ協会スキー交流事業（釜臥山スキー場）
ポートエンジェルス市との交流回数	1回（1回）	令和6年度は、10人のジュニア大使が令和7年1月4日（土）から1月11日（土）までの行程でポートエンジェルス市を訪問した。そして、帰国後の報告会では、ホームステイをはじめとする現地の人々との交流の中で学んだことや友好・親善を深めることができた成果を、大使一人ひとりが発表した。
ムチュリングル教室実施施設数	19施設（18施設）	希望する保育施設全てでムチュリングル教室を開催できている。

＜参考：令和5年度実績＞

内容	実績（目標）	達成状況報告
会津若松市との交流回数	6回（4回）	・ 9月18日 よさこい斗南（むつ）公演（會舞道郷人） ・ 9月22日～24日 交流都市懇親会、会津まつり先人感謝祭及び出陣式へ参加（市長及び課員5人） ・ 9月22日～24日 市内高等教育機関学生による郷土歴史学習並びに会津藩公行列参加（学生8人） ・ 10月14・15日 MGF2023会津若松市出店 ・ 11月2日～4日 会津地産地消まつり出店（陸奥湾産ベビーホタテの販売） ・ 1月26日～ 会津若松市内小中学校へ陸奥湾産冷凍ベビーホタテの無償提供
ポートエンジェルス市との交流回数	1回（1回）	ジュニア大使10名は、代表としての自覚をもって活動に取り組み、発表や交流についても好評を得た。帰国後も周囲に「伝える」という使命を果たそうとしたり、英語学習を一層頑張ろうとする姿から、目標は達成されたと考える。
ムチュリングル教室実施施設数	18施設（18施設）	希望する保育施設全てでムチュリングル教室を開催できた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	4. 質の高い教育をみんなに		10. 人や国の不平等をなくそう
---	----------------	---	------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
会津若松市姉妹都市交流事業	会津若松市との姉妹都市盟約以来継続している相互訪問事業（4年に1度ずつ相互に訪問する）。令和6年度に姉妹都市締結40周年のため、会津若松市を訪問する。	1,751	472	4,446	472	1,851
		1,230	429	—	—	—
ジュニア大使派遣事業	姉妹都市交流を通し、次代を担う人材の育成に資する。 むつ市内の中学生がアメリカ合衆国ポートエンジェルス市の生徒との交流を通して、語学力の向上を図り、まちづくり・文化・生活様式等について発表する。	—	10,161	8,572	7,688	7,688
		—	9,908	—	—	—
国際交流事業	市の国際交流事業推進のため、国際交流推進員の活動により、市民への国際理解啓発活動を行うとともに、地域の国際化を推進する。 また、平成28年度から国際交流推進員が市内の幼稚園・保育園に訪問しての「幼児向け英語推進プログラム（英語で遊ぼうムチュリンガル教室）」を実施している。	8,777	8,182	7,331	8,047	8,347
		8,167	8,111	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	①むつ市・会津若松市姉妹都市締結40周年を記念した年であり、例年以上に多くの交流事業が行われ、目標値を大きく上回る交流が行われた。 ②訪問時の取組だけではなく、事前研修会及び事後研修会においても充実した活動ぶりであったことから、十分に目標を達成できたと考える。 ③希望する箇所全てで実施できており、英語に対する親しみやすさや国際感覚の定着を図ることができている。 【今後の取組の方向性】 ①2年おきに姉妹都市訪問事業を実施しており、令和8年度は会津若松市訪問団がむつ市を訪れる予定となっている。 ②令和7年度は12月に4泊5日で台湾・陽明中を訪問する計画で進めている。今後も、担当者で連絡・調整を続けていくが、以降、ポートエンジェルスと台湾への派遣事業を隔年で開催する予定である。（R7は台湾、R8はポートエンジェルス） ③中国語話者の国際交流員を任用したことから、より国際的に文化や言語の違いに触れられる機会を増やす。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	74.0%	
		B	21.7%	・会津若松市でむつ市に向けた具体的な事業の実績があれば教えて欲しい。
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

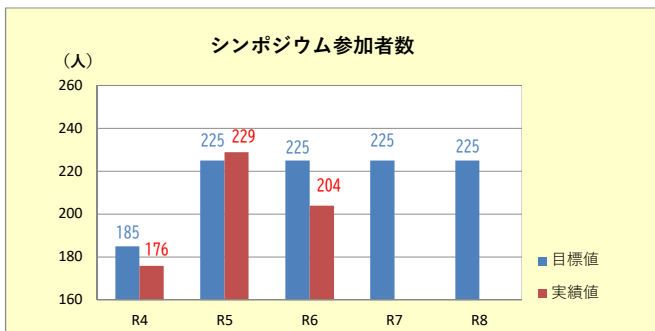
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 活力あるむつ市の創生	関係部局
施策項目	(9)海洋科学研究拠点	政策推進部
施策内容	①研究活動環境の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
シンポジウム参加者数	(人)	175	185	225	225	225	225
		令和3年度	176	229	204		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
シンポジウム参加者数	204人（225人）	11月28日に開催された「第20回むつ海洋・環境科学シンポジウム」には204人が来場。むつ工業高等学校学生による研究発表や各研究機関の研究報告が行われた。また、令和6年度は社会的にも大きな環境問題となっている海洋プラスチック汚染について「有人潜水調査船しんかい6500が観た海洋プラスチック汚染」と題した特別講演が行われた。
むつ科学技術館開館記念イベント等の来客者数	469人（1,200人）	7月24日に市と共催で開催した「むつ科学技術館開館記念イベント」には469人が来場し、ウルトラキッズチアーズによるダンスショー、霧箱実験、各種工作体験、下北ジオパークの展示ブースやシャボン玉体験など多くの企画を開催し、来場者に満足していただけるイベントとなった。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
シンポジウム参加者数	229人（225人）	11月28日に開催された「第19回むつ海洋・環境科学シンポジウム」には229人が来場。むつ工業高校生による発表や研究機関等の成果発表もあり、例年以上の来場者を達成した。また新型コロナウイルス感染症のため中止をしていた懇親会を再開し、62人の関係者が親睦を深めた。
むつ科学技術館開館記念イベント等の来客者数	1,053人（1,200人）	7月23日に市との共催で「むつ科学技術館開館記念イベント」が開催され、1,053人が来場した。霧箱実験、工作体験など多数の企画を開催し、来場者に満足していただけるイベントとなった。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	4. 質の高い教育をみんなに		9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
	13. 気候変動に具体的な対策を		17. パートナリシップで目標を達成しよう

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
市内3研究機関支援事業費	海洋研究に関わる国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人日本海洋科学振興財団、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センターの3機関が、地球環境の保全等に向けた世界レベルの活動と情報発信を行っており、毎年11月に同研究機関、青森県及びむつ主催で海洋・環境科学シンポジウムを開催し、研究成果を発表する。	147	228	173	173	173
		70	132	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	7月に開催された「むつ科学技術館開館記念イベント」は昨年度と比較し来場者数は減少したが、こどもたちが科学に触れる特別な機会となった。また、11月に行われた「第20回むつ海洋・環境科学シンポジウム」ではオンラインでの参加を開始し、地域住民の方へ研究機関の活動を広く周知することができた。
			【今後の取組の方向性】 7月に開催される「むつ科学技術館開館記念イベント」及び11月に開催される「第21回むつ海洋・環境科学シンポジウム」に向けて研究機関と連携しイベント開催の周知を図り、地球環境の保全に向けた世界レベルの活動とその研究成果について多くの地域住民の方に理解してもらうことを目指す。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている － わからない	A	4.4%	
		B	78.3%	
		C	13.0%	
		D	0.0%	
		－	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

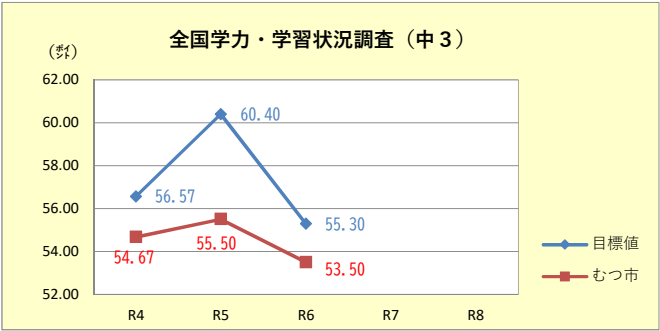
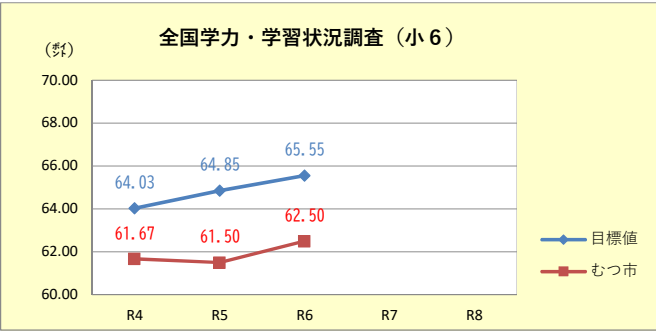
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	① 学力の向上	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段: 全国又は県の値 下段: むつ市の値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
全国学力・学習状況調査(小6)	(ポイ)	67.45	64.03	64.85	65.55	3ポイ上回る	3ポイ上回る
		令和3年度	61.67	61.50	62.50		
全国学力・学習状況調査(中3)	(ポイ)	60.9	56.57	60.40	55.30	3ポイ上回る	3ポイ上回る
		令和3年度	54.67	55.50	53.50		
青森県学習状況調査(小5) (国語・社会・算数・理科の平均値)	(ポイ)	58	63	62	—	—	—
		令和3年度	58	57	廃止	⇒	⇒
青森県学習状況調査(中2) (国語・社会・数学・理科・英語の平均値)	(ポイ)	51	51	48	—	—	—
		令和3年度	49	49	廃止	⇒	⇒



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
全国学力・学習状況調査において県平均通過率を上回る	<全国学力・学習状況調査> 全国: 小・中とも以下 県: 小は以下、中は国語が同値、数学が以上 (全国平均値、県平均値を上回る)	全国学力・学習状況調査については、結果をもとにした「身に付いている力」「育てたい力」を小・中・教科別に分析し、各校に提供した。 また、むつ市学校教育プランの学力向上アクションプランの指標としているむつ市総合学力調査については、学校・児童生徒・各家庭が結果をもとにして事後の取組に活用できるよう、各分析資料の見方や活用の仕方等を丁寧に示した。
学習者用デジタル教材の導入(前年度の使用回数との比較)	小: 276.4問 中: 215.2問 (前年度を上回る)	令和6年度より、AI機能を搭載したドリル形式のものに切り替えたため、これまでの年次目標の内容との比較が困難になった。そこで、検証対象を「使用回数」から「解答問題数の平均」に変更することとした(上記の「実績値」にはその数値を記載した)。 活用状況については、校種や学年で差はあるが、各校の実態に応じた取組がなされている。
新聞を活用した学習への支援	全小中学校配備 (全小中学校配備)	紙媒体だけではなく、電子版の購読についても可能であることから、教員による学習指導への活用及び児童生徒の調べ学習や新聞を読む習慣づくりにも一定の役割を果たしている。

《参考: 令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
全国学力・学習状況調査、県学習状況調査において県平均通過率を上回る	全国平均値、 県平均値を上回る	全国学力・学習状況調査の結果、小学校、中学校ともに全ての教科で全国平均と県平均を下回った。また、青森県学習状況調査の結果、小学校は、全ての教科で県平均を下回ったが、中学校は、県平均を上回る教科があり、全体でも県平均を1ポイント上回った。 青森県学習状況調査の結果をもとに、通過率の低かった問題をピックアップした上で、小・中教科別の「事後指導のポイント」を作成し、各校に配付した。 ※青森県学習状況調査は、今年度で廃止。
学習者用デジタル教材の導入(前年度の使用回数との比較)	小学校4倍 中学校5倍	学校や教科によって使用回数に差が生じてはいるが、概ね前年度と同程度の使用回数であり、授業中での使用に加え、朝自習や家庭学習などでも使用するなど、活用が図られている。 (実績値は、前年度の累計使用回数を「100」としたときの比較【R6.2月末時点】)
新聞を活用した学習への支援	全小中学校配備	5月より、小学校5・6年生及び中学校全学年の各学級に希望する新聞を1部配備し、活用いただいている。 紙媒体だけではなく、東奥日報電子版を教員が活用したり、児童生徒に活用させたりするなど、新聞を読む習慣づくりにも一定の役割を果たしている。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	4. 質の高い教育をみんなに		10. 人や国の不平等をなくそう
---	----------------	---	------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
学力向上推進事業	学力調査の実施と分析を行い、実態を踏まえた学力の向上と教師の指導力の向上を図る。 活用力（思考力・判断力・表現力等）の育成と知識及び技能の確かな習得に向けて、各種学力調査結果の分析を生かした学習指導等について指導・助言する。 この事業は毎年継続され、児童生徒の学力の推移についての分析資料としている。 本市の児童生徒の基礎学力の定着に向けて、小学校では国語、社会、算数、理科の4教科、中学校では国語、社会、数学、理科、英語の5教科のデジタル教材を購入する。	11,403	11,574	10,051	12,162	12,162
		8,599	9,843	—	—	—
新聞を活用した学習への支援事業	本市の小・中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身につけるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、小学校5・6年生及び中学校全学年の各学級に希望する新聞を1部配備する。	2,875	2,944	2,940	3,500	3,500
		2,663	2,500	—	—	—
各種研修講座関係費	小・中学校教職員及び幼稚園教員や保育園保育士の専門性向上と地域の教育課題解決に向けて研修講座を開催し、むつ下北地区の教育水準の向上を図る。	384	400	262	321	321
		216	260	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①結果をもとにした取組の充実を図れるよう進めることができた。 ②月毎に各校・各学年の使用時間を確認した（デジタル教育指導監）。 ③令和6年度は、小学校4校、中学校2校が新聞出前授業を実施した。 【今後の取組の方向性】 ①学力調査の結果とデジタル教材とがAI機能でリンクしている良さをさらに周知する必要がある。 ②デジタル教材の活用の推進だけでなく、更新作業やトラブル対応等についても、学校に対して手厚い支援を継続していく必要がある。 ③紙媒体と電子版それぞれの利点を生かした取組を進めていく必要がある。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている － わからない	A	8.7%	
		B	69.6%	
		C	17.4%	
		D	0.0%	
		－	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

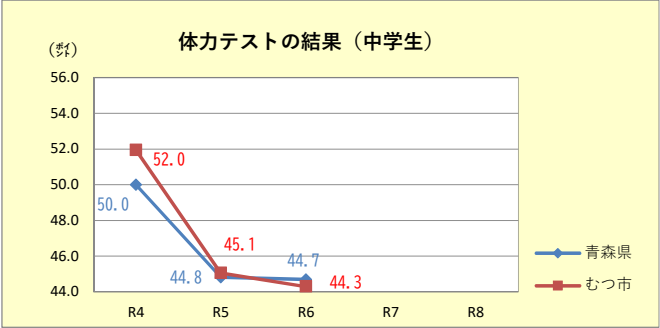
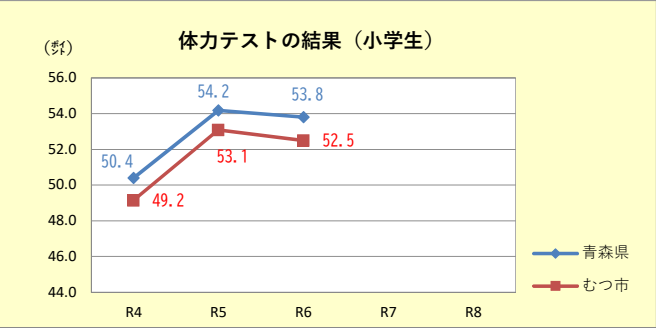
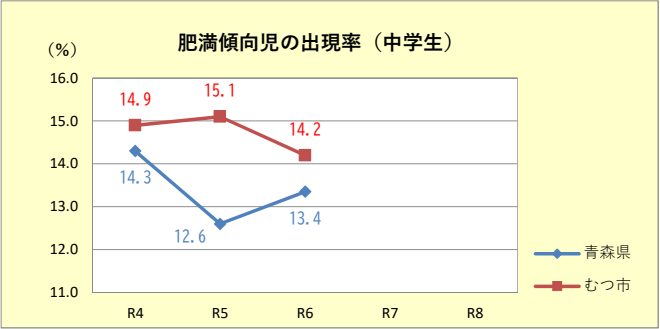
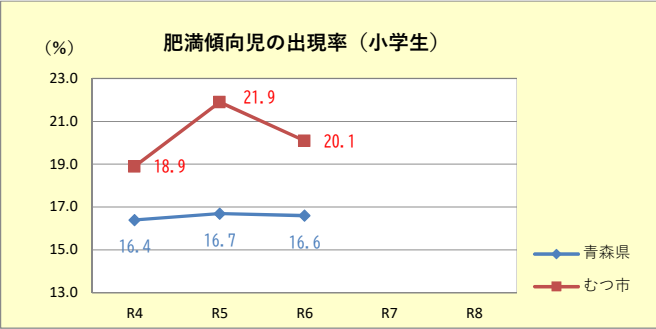
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	② 体育・健康教育の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段: 県の値 下段: むつ市の値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
肥満傾向児の出現率(小学生)	(%)	13.55	16.4	16.7	16.6	県平均下回る	県平均下回る
		令和3年度	18.9	21.9	20.1		
肥満傾向児の出現率(中学生)	(%)	13.82	14.3	12.6	13.4	県平均下回る	県平均下回る
		令和3年度	14.9	15.1	14.2		
体力テストの結果(小学生)	(ポイ)	55.10	50.4	54.2	53.8	県平均上回る	県平均上回る
		令和3年度	49.2	53.1	52.5		
体力テストの結果(中学生)	(ポイ)	45.91	50.0	44.8	44.7	県平均上回る	県平均上回る
		令和3年度	52.0	45.1	44.3		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
健康の未来を変えるプロジェクト授業実施	3校(1校以上実施)	令和6年度は、田名部中学校・大平中学校・大湊中学校(大平中学校と合同)の3校で、「健康の未来を変えるプロジェクト授業」を開催し、簡易型QOL健診(血圧測定・ベジチェック)を取り入れたことにより、自身の健康状態をもとにして健康な生活を送ることの大切さについて考えることができた。
新体力テスト実施	小: 下回る / 中: 下回る (県平均値を上回る)	今年度の体力テストの結果()内は県平均。 小5男子: 51.65 (52.67) / 小5女子: 53.38 (54.95) 中2男子: 41.14 (42.20) / 中2女子: 47.09 (47.25)

《参考：令和5年度実績》		
内容	実績(目標)	達成状況報告
健康の未来を変えるプロジェクト授業実施	3校(1校以上実施)	7月に正津川小学校において、健康の未来を変える授業として弘前大学の中路教授にお越しいただき、地域の方々もお招きして講演を行った。 田名部中学校と大平中学校の2校においても、予定どおり事業を実施することができた。その中で、QOL健診を取り入れたことにより、参加生徒は自身の健康状態をもとに、今後の生活習慣について見直すことができた。
新体カテスト実施	小：下回る／中：上回る (県平均値を上回る)	今年度の体カテストの結果()内は県平均。 小5男子:51.15(52.69)／小5女子:55.04(55.68) 中2男子:42.20(42.05)／中2女子:47.92(47.60)

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を
---	-----------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
「健康の未来」を変える授業プロジェクト	社会医学の第一人者である弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授の協力を得て、むつ市の健康課題の解決に向けた系統的な授業モデルと推進体制の構築に向け取り組む。 これまでの実践をもとに作成した指導事例集を参考に、希望校で健康教育を進める。	77	77	77	77	77
		39	71	—	—	—
小学生スポーツ文化活動・中学生部活動推進事業	小学校の運動部活動から地域スポーツ活動への移行にあたって、保護者、学校、スポーツ少年団等の関係者の理解と協力体制のもと、児童がスポーツ・文化活動に親しめる環境づくりを推進する。 中学校における望ましい部活動の在り方を検討するために協議会において、部活動指導員の運用状況の報告と、令和5年度から段階的に進められる土日の学校部活動の地域移行について検討する。	512	906	419	845	845
		393	30	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①QOL健診を取り入れたことは、生徒が自分の健康状態を把握するだけでなく、家族の健康についても考える貴重な機会となった。 ②体力テストの結果において県平均を下回っていることが、肥満傾向出現率が高いことにも関連していると考えられる。
			【今後の取組の方向性】 ①令和7年度は、QOL健診で使用する機器の貸出も行う予定で計画を進めている。 ②体力テストの結果を踏まえ、児童生徒が体力の保持増進について関心を高めることができるよう、訪問時等を利用して各校に周知していく必要がある。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】 ・「肥満傾向児の出現率」について、むつ市と青森県だけではなく、全国平均値も掲載して欲しい。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.4%	
		B	73.9%	
		C	17.4%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

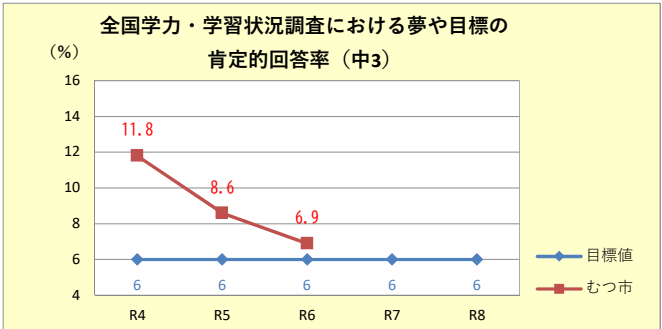
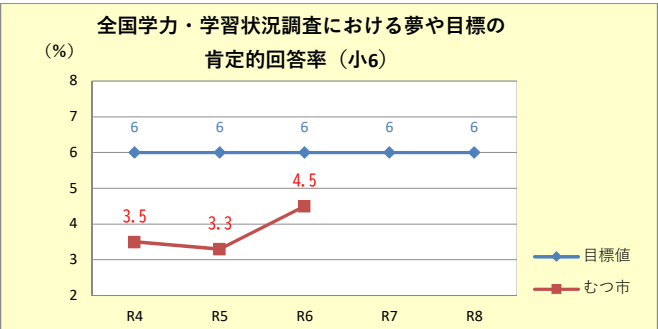
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	③ 夢を育む教育	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段: 全国の値 下段: むつ市の値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
全国学力・学習状況調査における夢や目標の肯定的回答率(小6)	(%)	80.3 令和3年度	79.8 83.3	81.5 84.8	82.4 86.9	6 ^割 以上回る	6 ^割 以上回る
全国学力・学習状況調査における夢や目標の肯定的回答率(中3)	(%)	68.6 令和3年度	67.3 79.1	66.3 74.9	66.3 73.2	6 ^割 以上回る	6 ^割 以上回る



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
キャリア教育講演会での児童生徒によるA評価の割合	61.1%(80%)	3校が、学校教育課の事業である「高い志をはぐくむ支援事業」を活用し、キャリア教育講演会を開催した。講師については、地元や県内出身者だけにこだわることなく、生徒に間かせた内容に応じた講演を各校で実施した。
スクールサポーターの配置(特別支援教育の充実)	36人(36人)	令和6年度も、スクールサポーター対象の研修会を開催して資質向上を図った(学校教育課指導主事による講義及び演習)。また、担当指導主事が幼稚園・保育園訪問を行い、年長児について情報収集したことを市役所関係課や小学校と情報共有した。
不登校児童生徒への支援(教育相談室開設)相談室来室者の割合	26.7%(30%)	不登校等の悩みを抱える児童生徒・保護者との教育相談や適応指導教室に通室する児童生徒への教育的ニーズに沿った支援を行った。また、検証事業としてメタバースを活用したオンラインによる通室にも取り組み、一定の成果を得た。

《参考: 令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
キャリア教育講演会での児童生徒によるA評価の割合	88.3%(80%)	キャリア教育推進事業(キャリア教育講演会)は、予定どおり小学校6校、中学校4校で実施することができた。
スクールサポーターの配置(特別支援教育の充実)	33人(33人)	特別支援教育研修講座を開催し、教員、スクールサポーターの資質向上を図った。また、幼稚園・保育園訪問を行い、来年度小学校入学予定の年長児について情報収集し、市役所関係課や小学校と情報共有した。次年度、小学校(小学部)入学の年長児が、安心して新年度のスタートができるよう、入学先の小学校や特別支援学校に情報提供を行った。
不登校児童生徒への支援(教育相談室開設)相談室来室者の割合	11.5%(30%)	不登校等の悩みを抱える児童生徒の保護者との教育相談並びに適応指導教室に通室する児童生徒への教育的ニーズに沿った支援を行った。また、不登校支援に携わるスタッフの資質・向上のため、研修の機会の確保に努めた。教育相談や適応指導教室での対応をはじめ、各校とも丁寧に情報共有した。実績値は来室者数に基づくため、中間報告(28.1%)より低下しているが、悩みを抱える児童生徒及び保護者に寄り添った支援を行うことにより、情緒の安定、自己肯定感の向上を図ることができた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	10. 人や国の不平等をなくそう
---	------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
キャリア教育推進事業	キャリア教育の一環として、むつ下北または青森県出身者を中心に様々な分野で活躍をしている方の講話を聴く体験を通して、将来の職業に対する意識や学習意欲を向上させ、本市の未来を担う人材を育成することにつなげる。	819	652	652	819	819
		155	145	—	—	—
スクールサポーター配置事業	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活を支援するために、希望する支援対象児童生徒在籍校へスクールサポーターを配置するものである。 各学校の要望と学校教育課で確認した児童生徒の状況をもとに、緊急性や必要感の高い学校にスクールサポーターを配置し、児童生徒の支援にあたっていただく。	48,015	49,553	62,065	49,164	49,164
		45,736	48,795	—	—	—
教育相談室費	教育研修センターにむつ市教育相談室を設置して、不登校傾向の児童生徒やその保護者、関係教職員に対して、教育相談員による教育相談活動を実施する。	5,435	5,428	5,820	5,428	5,428
		5,282	5,215	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①A評価61.1%であるが、B評価と合わせた肯定的評価は95.3%と高評価であった。 ②学校や保護者の声から、児童生徒を支えている事業であることがわかる。 ③日常の活動をはじめ、イベント等の工夫により魅力ある相談室が構築された。
			【今後の取組の方向性】
			①今後も学校が自由に講師を選定できる良さを、希望していない学校にも周知していく。 ②ニーズの高まりに応えていけるよう、人材の確保と資質向上が必要不可欠である。 ③老朽化に伴う施設移転について、計画的に進めていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている － わからない	A	8.7%	
		B	69.6%	
		C	17.4%	
		D	0.0%	
		－	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

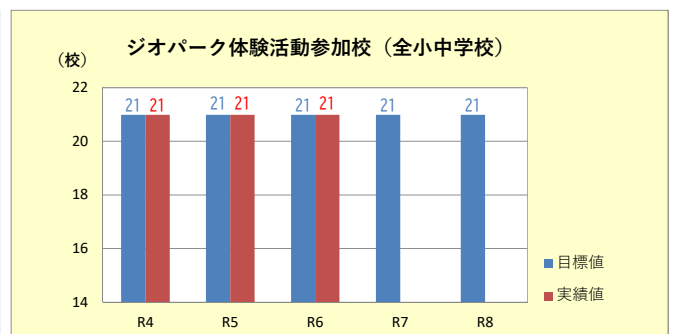
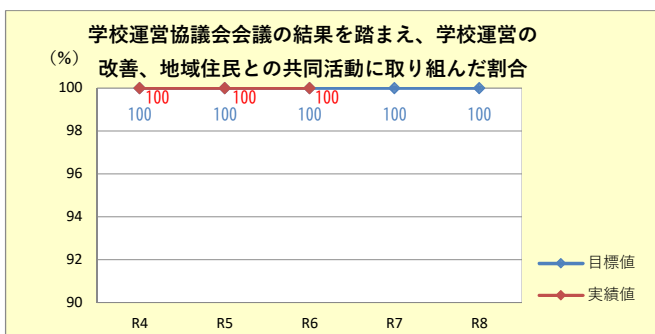
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	④ 地域とともにある学校	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
学校運営協議会会議の結果を踏まえ、学校運営の改善、地域住民との共同活動に取り組んだ割合	(%)	65.0	100	100	100	100	100
		令和3年度	100	100	100		
ジオパーク体験活動参加校(全小中学校)	(校)	22	21	21	21	21	21
		令和3年度	21	21	21		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
学校運営協議会開催	全小・中学校 (全小・中学校)	開催回数 全小中学校(地区開催含む) 50回 出席者数 延べ323人
ジオパーク体験活動推進事業	12校(12校)	ジオパーク体験活動推進事業には小学校6校、中学校6校が申請し、ジオパークを含めた体験学習が実施された。 また、事業を活用した学校には児童生徒へのアンケートを実施し、次年度に向けた計画立案の参考とした。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
学校運営協議会開催	全小・中学校 (全小・中学校)	開催回数 全小中学校(地区開催含む) 51回 出席者数 延べ306人 全学校で開催し、地域の意見を学校運営に反映させる取組ができた。
ジオパーク体験活動推進事業	12校(12校)	ジオパーク体験活動推進事業には、小学校5校、中学校7校が申請し、計画どおりジオパークを含めた体験活動が実施された。 ジオパーク体験活動推進事業を活用した学校に、児童生徒へのアンケートを実施し、次年度に向けた計画立案の参考とした。

4. 主な関連するSDGsのゴール

4 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう
14. 海の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさを守ろう

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
コミュニティ・スクール	変化の激しい社会の中で複雑化・困難化する学校課題を解決し、学校と地域が連携・協働することで、子ども達のより良い成長を支えていく環境を整備するため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入による学校づくりを推進する。コミュニティ・スクールの設置は、中学校ブロックに1つ設置することを基本とする。	2,262	1,996	1,996	1,996	1,996
		966	1,026	—	—	—
ジオパーク体験活動推進事業	ジオサイトの見学や学習活動を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料等必要な経費の一部を助成する。	1,780	1,887	1,727	2,000	2,000
		1,654	1,724	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	①全小・中学校で学校運営協議会が開催され、委員の皆さまの学校運営に関する理解が深まった。 ②児童生徒のアンケートでは、「住んでいる地域に興味を持つようになった」が73%（前年度74%）、「学んだ場所に行ってみよう」が68%（前年度71%）と、本事業が一定の役割を果たしていることがわかる。
			【今後の取組の方向性】 ①会議の運営状況や学校運営の改善につながったかどうかを報告書等をもとにして確認する。 ②各校では、児童生徒の実態や地域の実情に応じた学習を実施しており、活動内容にも工夫されている。今後もジオパーク学習の更なる充実に向けて支援していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている － わからない	A	78.3%	
		B	8.7%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		－	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

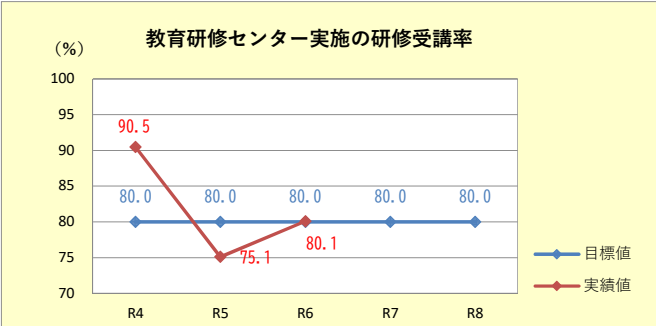
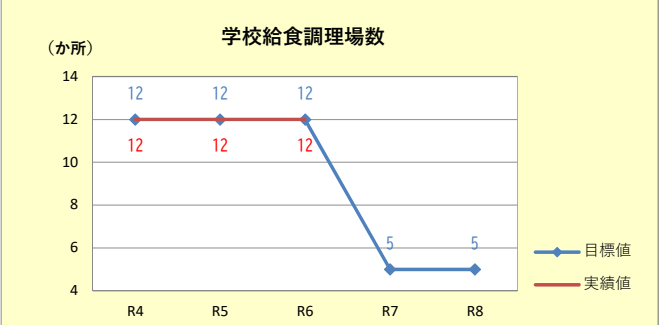
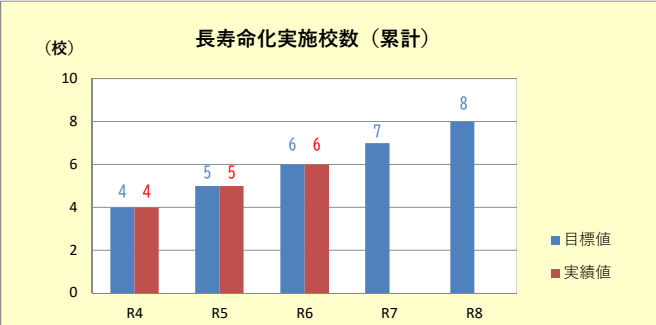
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	⑤ 教育基盤の整備	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段: 目標値 下段: 実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
長寿化実施校数(累計)	(校)	3	4	5	6	7	8
		令和3年度	4	5	6		
学校給食調理場数	(か所)	12	12	12	12	5	5
		令和3年度	12	12	12		
教育研修センター実施の研修受講率	(%)	-	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		-	90.5	75.1	80.1		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
長寿化実施校数	1校(1校)	児童の安全に十分配慮しながら予定どおりに工事を進めることができ、令和7年3月3日に工事が完成し、3月7日に引き渡しを受けた。児童数に見合った学校を円滑に活用するための体制整備は果たされた。
(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(予定通りの工事進捗)	100%(100%)	安全に十分配慮しながら予定どおりに工事を進めることができ、令和7年2月14日に工事が完成し、2月18日に引き渡しを受けた。平時は児童生徒に、より安全で安心な給食を提供するために使用しながら、災害発生時には防災機能を果たすことができる総合的な施設を建設することができ、学校給食と防災両面の環境改善・向上が図られた。
教育研修センター実施の研修受講率	80.1%(80.0%)	予定していた講座を全て実施することができた。また、講座後のアンケートについては、Googleフォームを活用するなど、参加者の負担軽減も図ることができた。

《参考: 令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
長寿化実施校数	1校(1校)	生徒の安全に十分配慮しながら予定どおりに工事を進めることができ、令和5年12月18日で工事が完了した。底からの剥落の危険性は解消されて、安全性の確保が図られた。
(仮称)むつ市防災食育センター建設工事(予定通りの工事進捗)	12.7%(12.6%)	毎月1回の定例会議のほか、工事、監理、意図伝達の受注各社と随時協議を重ねながら、工程表どおりに工事は進捗している。
教育研修センター実施の研修受講率	75.1%(80.0%)	夏季休業中の研修講座は、予定されていた12講座を実施することができた。実績値は計画値に届かなかったものの、研修参加者からは相応の満足度が得られている。

4. 主な関連するSDGsのゴール

4 質の高い教育をみんなに	4. 質の高い教育をみんなに
---------------	----------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
小中学校整備事業	本市の学校施設の多くは昭和40年代から昭和50年代に建設されているため、老朽化の進行が顕著であり、毎年多額の修繕・改修の費用が発生している。 児童生徒が安全に、安心して学べるような学習環境を確保していく観点から、令和3年3月に策定されたむつ市学校施設の長寿命化計画に基づき、市内小中学校において長寿命化を中心とした計画的な老朽化対策を実施していく。 令和5年度においては、玄関底の剥落が生じている大平中学校において、玄関底の改修工事を施工する。後年度においても、個々の施設の状況を確認しながら、優先順位を判断し、費用負担の平準化を図りながら計画的に改修を進めていく。	56,221	8,120	66,216	32,706	0
		50,732	7,876	—	—	—
(仮称)むつ市防災食育センター建設事業	平時においては、衛生管理が充実した安心・安全な学校給食を提供するために使用し、災害時には防災機能を果たすことのできる総合的施設を建設することで、学校給食と防災両面の環境改善・向上を図る。 令和7年度より運用を開始し、令和11年度までに西通学校給食センター（H25.4運用開始）の対象エリアである川内・脇野沢地区を除く市内全域の小中学校へ学校給食を配送する。	70,286	440,603	3,149,262	4,466	1,075
		19,653	427,958	—	—	—
弘前大学教育学部との連携推進事業	弘前大学との連携を通し教職員の資質向上を図るとともに、むつ市の学校が抱える教育課題の解決を図る。 ラボ・パス実験教室では、科学実験を通して科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の推進を図る。	48	48	48	48	48
		48	48	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	①計画通りに完了した。 ②計画通りに防災食育センターが完成し、令和7年度からの運営開始に向け運営体制の整備を図っている。 ③講座を統合・精選し、教職員が自身のニーズに合わせて無理なく参加できるようになったことが、受講率の増加の要因の一つと考える。 【今後の取組の方向性】 ①各校の状況を確認しながら長寿命化を目指す。 ②防災食育センターの円滑な運営を目指す。 ③県学校教育センター等の主催の講座や各種研修会等にも無理なく参加できるよう、当市主催の講座数を今後も配慮していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	65.3%	
		B	21.7%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

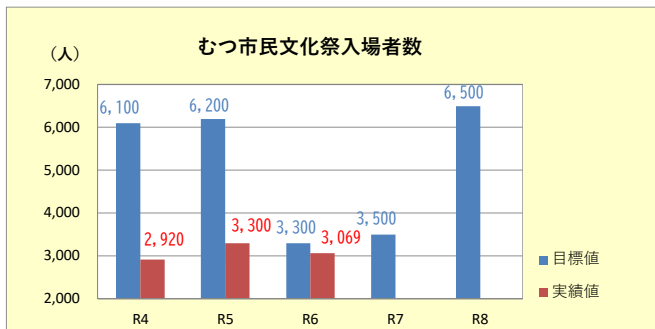
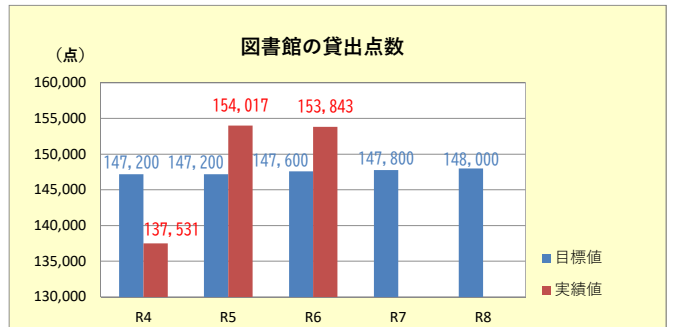
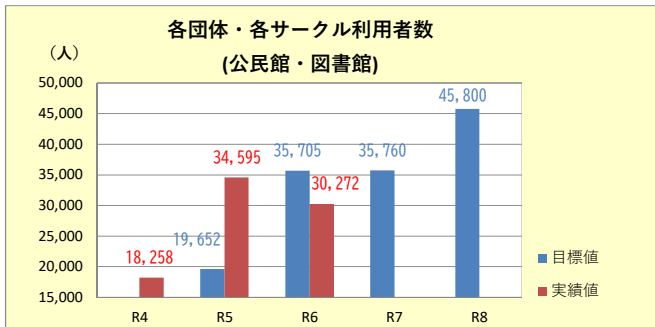
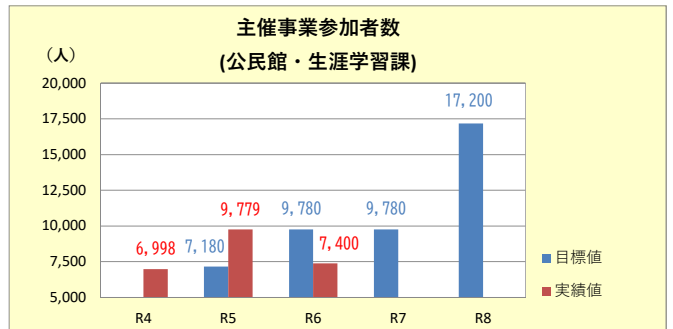
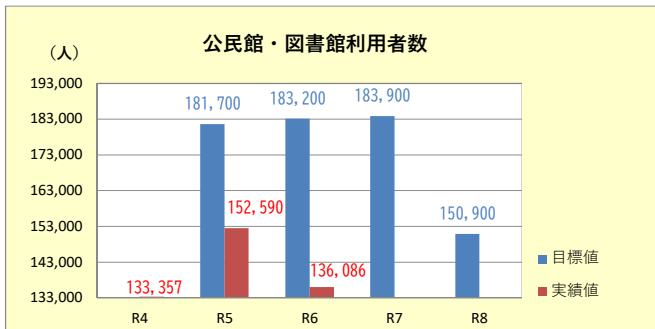
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	⑥ 社会教育・文化の充実と文化財保存活用	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
公民館・図書館利用者数	(人)	150,021		181,700	183,200	183,900	150,900
		令和2年度	133,357	152,590	136,086		
主催事業参加者数 (公民館・生涯学習課)	(人)	16,526		7,180	9,780	9,780	17,200
		令和元、2年度	6,998	9,779	7,400		
各団体・各サークル利用者数 (公民館・図書館)	(人)	45,673		19,652	35,705	35,760	45,800
		令和2年度	18,258	34,595	30,272		
図書館の貸出点数	(点)	147,000	147,200	147,200	147,600	147,800	148,000
		令和3年度	137,531	154,017	153,843		
むつ市民文化祭入場者数	(人)	6,136	6,100	6,200	3,300	3,500	6,500
		令和元年度	2,920	3,300	3,069		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
自然観察会参加人数(延べ)	66人(80人)	四季の自然観察学習会を実施 1 春 水源池公園の自然観察学習 ・開催日 5月11日 ・参加者 11人 2 夏 海の生き物観察学習 ・開催日 8月2日 ・参加者 22人 3 秋 釜臥山の自然観察学習 ・開催日 10月12日 ・参加者 12人 4 冬 川内川野鳥観察学習 ・開催日 1月19日 ・参加者 21人
むつ市民大学 公開講座参加者数(延べ)	422人(360人)	むつ市民大学公開講座を、5月～2月の期間に10回実施済み 公開講座のテーマ 「健康長寿のまちづくりを目指して」「日本中の人に魅せたい下北の海と大地」「防災・気象講座」「健康食品と医薬品の違い」「音楽によって健康寿命を延ばそう partⅡ」「あなたの知らない忍者の秘密」「『青森新時代』への架け橋」「むつ市の縄文遺跡」
図書館主催イベントの 参加人数(延べ)	10,992人(3,000人)	自主事業である「ブックフェスティバル」や「おはなし会」、クーリングシェルターを利用した「クーリングシネマ」の上映等の事業を活性化させたことにより、図書館のイベント参加者は増加しており、地域に貢献できる図書館として交流の場を提供することができている。
むつ☆かつへの参加生徒数	534人(529人)	令和6年度では、新たに文化1クラブ、スポーツ4クラブを立ち上げ、既存クラブと合わせて10文化クラブと7スポーツクラブを運営した。特に文化クラブにおいて、活動成果の発表機会を増やせるように取り組み、活動のモチベーション維持・向上につなげることができた。 また、学校や各競技団体との情報共有や移行に向けた打ち合わせを重ね、令和7年度に全ての学校部活動(スポーツ6クラブ)を円滑に地域移行するための準備を整えることができた。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
自然観察会参加人数(延べ)	61人(80人)	四季の自然観察会を実施。 春 芦崎自然観察 5月21日 参加者16人 夏 天体観察 8月25日 参加者20人 秋 川内川渓谷 10月14日 参加者17人 冬 川内川周辺 1月21日 参加者10人
むつ市民大学 公開講座参加者数(延べ)	375人(330人)	むつ市民大学公開講座を、5月～2月で10回開催予定で10回実施済み。 主な公開講座のテーマ「下北ジオパーク」「大湊ネプタの制作について」「大規模災害に備えて」「音楽で健康寿命を延ばそう」「むつ市地域おこし協力隊の活動」「むつ市長として今伝えたいこと」
図書館主催イベントの 参加人数(延べ)	3,385人(2,500人)	今年度新たに、川島雄三WEEKと題した上映会と企画展を開催したところ利用者から好評を得た。またクーリングシェルター設置期間中に独自事業として映画上映をしたところ、来館人数の増加へつながった。 魅力ある自主事業の開催を心がけたことにより参加者から好評を得た。推し本等の企画展示では、利用者の関心を集め読書活動の活性化にもつながった。
むつ☆かつへの参加生徒数	217人(255人)	4月の体験期間を経て、5月から、文化クラブ10種類、スポーツクラブ3種類が「むつ☆かつ」を開始している。計画値を下回っているものの、部活動を選択しない生徒の半分以上が参加している。年間を通じて、大きな支障も無く、新たな形で地域クラブ運営を展開することができた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	4. 質の高い教育をみんなに		10. 人や国の不平等をなくそう
	11. 住み続けられるまちづくりを		

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
地域学校協働活動推進事業	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指す、青森県学校・家庭・地域連携協力推進事業に基づいた補助事業。(補助率 国1/3、県1/3、市1/3) また、音楽によるまちづくり事業、芸術鑑賞教室事業、自然観察会なども本事業に含め、地域と学校との連携・協働を一層深めながら、地域学校協働活動を推進する。	7,795	8,270	8,385	3,862	3,862
		6,725	6,358	—	—	—
むつ市民大学	市民の多種多様化する学習ニーズに応え、生きがいの創造を促進し、「自ら学び、自ら運営する」ことを基本方針に現代課題等の一般教育や専門知識を学習する機会の提供を図る。 市民の生涯学習及び社会参加活動に資することを目的に、「いつでも・どこでも・だれでも参加出来るむつ市民大学」とし、生涯学習社会への構築に努める。	1,006	746	719	719	719
		530	614	—	—	—
図書館を活用した社会教育推進事業	これまで図書館で行われてきた自主事業をさらに活性化させ来館者の増加を図り、単に図書等の貸出数の増だけでなく地域の交流の場を提供する。	348	357	310	310	310
		210	164	—	—	—
地域文化・スポーツクラブ推進事業	国からの中学校の運動部活動及び文化部活動の地域移行についての提言を踏まえ、市として令和4年10月25日に「地域文化・スポーツクラブ設立準備室」を設置し、中学校部活動の地域移行及び「総合型クラブ」の設立に向け準備を進めている。 令和5年度より、中学生が文化・スポーツ活動に気軽に親しみ、楽しむ環境を整えながら文化・スポーツ活動の振興を図るため、活動の実施主体である「むつ市文化・スポーツクラブ(愛称:むつ☆かつ)」を立ち上げ、中学校部活動の地域移行を段階的に進めていく。	2,157	135,776	154,871	0	0
		950	131,986	—	—	—
文化財調査及び活用等推進事業	文化財の保護・保存・活用を目的に、各分野における調査研究等を実施し、その成果を文化財調査報告として年度末に刊行する。また、調査報告の概要版として冊子や資料を作成し、各種事業で活用する。	1,116	1,112	1,169	1,178	1,178
		418	581	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①自然観察学習会は気軽に参加できる自然観察学習の場として定着している。今年度の参加率は82.5%となっている。 ②予定どおり実施し、アンケートでは「大変満足」「満足」の回答が全体の81%であった。 ③イベント等への参加者は増加しており、アンケート結果も概ね好評を得ている。 ④概ね計画どおりにクラブ運営ができており、アンケートにおいて生徒・保護者から満足度の高い回答が得られている。
			【今後の取組の方向性】 ①例年続く酷暑のため、参加者の体調を考慮し夏を除く3回とする。CS（学校運営協議会）と地域学校協働本部との連携事業を開催する。 ②受講登録者及び参加者の興味ある内容をアンケート等で把握し、公開講座のテーマと結びつけたい。 ③魅力ある自主事業を開催し来館機会を提供するほか、図書の貸出増につなげる企画や展示を実施し、読書活動の活性化を図る。 ④むつ☆かつは、将来的に、市役所以外の団体により運営されることが望ましいと考えている。 また、本事業を進める中で「小学生も対象にして欲しい」などの運営に関する声もあり、それらについても実現できるよう、事業の担い手とクラブ運営の枠組みについて検討していかなければならない。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.4%	
		B	82.6%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

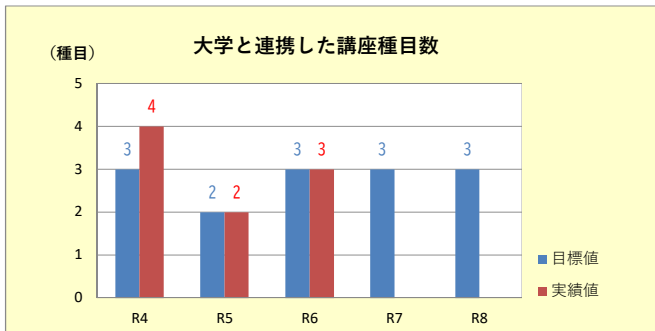
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	⑦ 変化に対応できる人材の育成	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
大学と連携した講座種目数	(種目)	-	3	2	3	3	3
		令和3年度	4	2	3		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
新たな知識を習得するため、高等教育機関と連携した講座を開設する。	3種目(3種目)	【おつ市民大学事業】 青森大学おつキャンパス、中央公民館で青森大学教授を講師に市民大学公開講座を各1回実施。青森大学教授を講師に数学ゼミナールを4回にわたり実施 9月公開講座「健康食品と医薬品の違い」受講者35人、数学ゼミナール「数の不思議」受講者6人 12月公開講座「あなたの知らない忍者の秘密」受講者29人 【放送大学公開講演会】 「恐山の旅」～近世における「名所」恐山の成立と広がり～ ・開催日時 9月7日 午後1時 ・開催場所 下北文化会館大集会室 ・参加人数 58人(定員50人)

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
新たな知識を習得するため、高等教育機関と連携した講座を開設する。	2種目(2種目)	9月に放送大学公開講演会を開催し、参加者は28人であった。 10月に青森大学おつキャンパスで、2月は中央公民館で、青森大学教授を講師に市民大学講座を開催。 10月「なぜ、今SDGsなのか」受講者25人 2月「健康を保つ植物ポリフェノール」受講者35人

4. 主な関連するSDGsのゴール

4 質の高い教育をみんなに	4. 質の高い教育をみんなに	10 人や国の不平等をなくそう	10. 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを		

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
むつ市民大学	市民の多種多様化する学習ニーズに応え、生きがいの創造を促進し、「自ら学び、自ら運営する」ことを基本方針に現代課題等の一般教育や専門知識を学習する機会の提供を図る。 市民の生涯学習及び社会参加活動に資することを目的に、「いつでも・どこでも・だれでも参加出来るむつ市民大学」とし、生涯学習社会への構築に努める。	1,006	746	719	719	719
		530	614	-	-	-

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	【むつ市民大学事業】公開講座2講座は「大変満足」「満足」が91% 数学ゼミナールは「大変満足」「満足」が67%であった。 【放送大学公開講演会】弘前大学教育推進機構キャリアセンター教授を講師に開催した。アンケート調査では、「とても良かった」「よかった」が95%以上であり、参加率は116%となっている。
			【今後の取組の方向性】 アンケート集計等で受講者（市民）のニーズを把握し、高等教育機関と連携を深めながら、受講しやすい講座を目指していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	69.6%	
		B	17.4%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

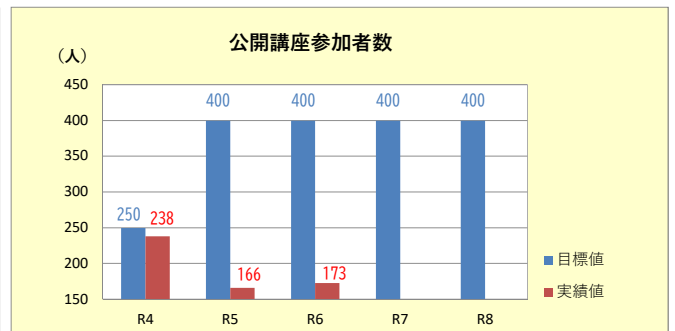
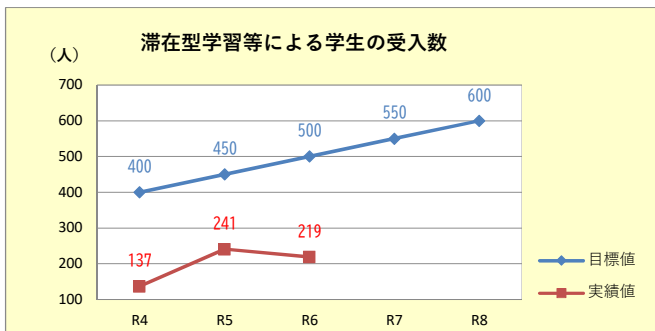
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	政策推進部
施策内容	⑧ 高等教育機関との連携	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
滞在型学習等による学生の受入数	(人)	347	400	450	500	550	600
		令和元年度	137	241	219		
公開講座参加者数	(人)	278	250	400	400	400	400
		令和元年度	238	166	173		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
滞在型学習による学生の受入数	219人(300人)	弘前大学、青森中央学院大学、青森大学の学生219人の滞入を受入し、市内教育機関と連携した学習事業や下北をフィールドとした野外学習を行った。
公開講座実施	7講座(8講座)	天候により1講座中止となったが、その他7講座は計画どおり開催し、延べ173人に参加いただいた。
キャンパス祭学生参加者数	120人(150人)	令和6年10月27日(日)に開催し、弘前大学、青森中央学院大学、青森大学の学生120人が参加した。(青森明の星短期大学は本学祭と同日程だったため参加出来なかった。) 延べ入場者数は前年度を上回る3,500人を記録し、地域と大学をつなぐ貴重な機会となっている。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
滞在型学習による学生の受入数	241人(300人)	弘前大学、青森中央学院大学、青森大学の学生241人の滞入を受入し、市内教育機関と連携した学習事業や下北をフィールドとした野外学習を行った。
公開講座実施	6講座(10講座)	実施を予定していた6講座(ジオパークや食育、法律)全てが完了した。
キャンパス祭学生参加者数	150人(150人)	令和5年10月29日(日)に開催し、弘前大学・青森中央学院大学・青森大学・青森明の星短期大学の学生150人が参加。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	4. 質の高い教育をみんなに		10. 人や国の不平等をなくそう
	11. 住み続けられるまちづくりを		17. パートナリシップで目標を達成しよう

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
むつサテライトキャンパス事業	高等教育機会の充実、滞在型学習の支援及び大学と連携した事業実施の拠点とするため、むつ市、弘前大学及び青森中央学院大学の三者共同で平成27年10月6日に「弘前大学・青森中央学院大学 むつサテライトキャンパス」を開設し、運営している。	1,277	1,780	860	860	860
	主に公開講座や滞在型学習支援の事業を行っており、むつ市民や各大学の学生の人財育成に取り組む。	528	1,130	—	—	—
むつ下北未来創生キャンパス活用促進事業	金谷公園と一体的に、学び、交流、文化、コミュニケーションの拠点として令和4年4月に開設した「むつ下北未来創生キャンパス」の活用促進を図るため、市内にキャンパスを置く、青森大学、青森明の星短期大学、従来よりサテライトキャンパスとして本市と連携している弘前大学、青森中央学院大学の合同大学祭を中心に、商工会議所とのコラボレーション、市内飲食店の出店等により、学生と地域住民の交流促進、賑わいの創出、地域経済の活性化等を図る。	3,000	3,072	3,000	3,072	3,072
		3,000	3,061	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①むつ市の公共交通についての研究や小学校との連携事業等、地域の課題解決や活性化を目指した事業が多く、受入人数は目標値を下回ったものの、地域内外の学生と地域の連携強化が図られたため、概ね良好である。 ②概ね予定通りの開催となったが、講座参加者数はKPI目標値を下回っているため、やや不良である。 ③学生の参加によりキャンパス祭を大いに盛り上げることができ、来場者も増加したため、概ね良好である。
			【今後の取組の方向性】 ①滞在型学習事業の活用促進のため、広い周知に努める。 ②各講座内容は好評を得ているため、継続して市民のニーズにあった質の高い講座を提供できるよう関係機関と調整を図る。 ③より多くの学生に参加いただき、地域住民との交流促進、にぎわいの創出、学生が地域と関わる機会の提供を図っていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	78.3%	
		C	17.4%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

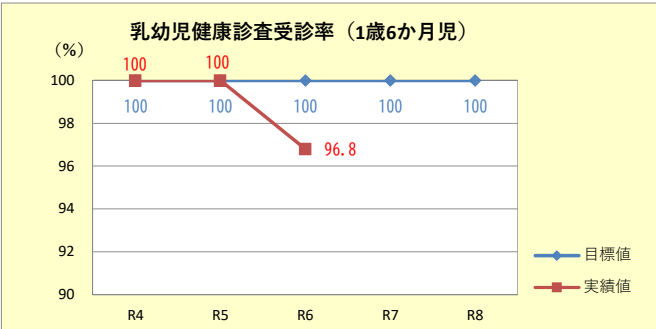
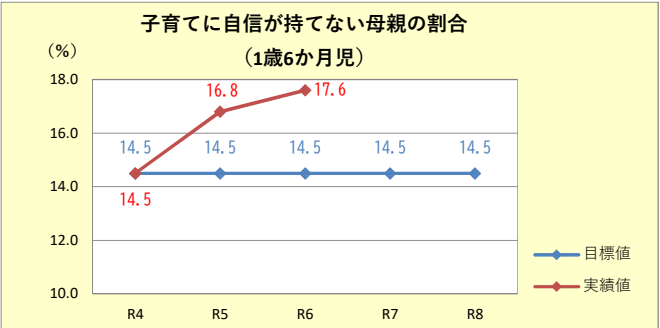
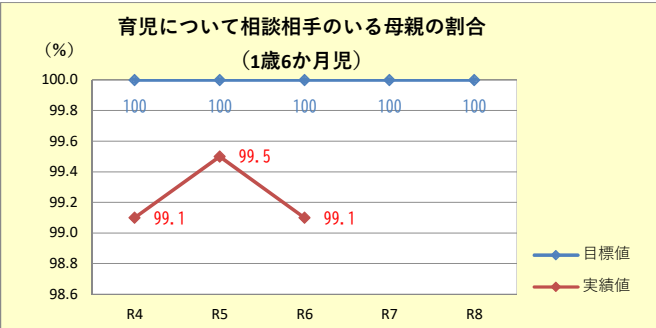
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(2)子ども・子育て支援	子どもみらい部
施策内容	①妊娠期からの切れ目のない子育て支援	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
育児について相談相手のいる母親の割合 (1歳6か月児)	(%)	98.7	100	100	100	100	100
		令和2年度	99.1	99.5	99.1		
子育てに自信が持てない母親の割合 (1歳6か月児)	(%)	18.1	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5
		令和2年度	14.5	16.8	17.6		
乳幼児健康診査受診率(1歳6か月児)	(%)	96.8	100	100	100	100	100
		令和2年度	100	100	96.8		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
育児に自信のもてない母の割合(1歳6ヶ月児)	17.6%(14.5%以下)	保健師、看護師、子育てコンシェルジュ等による妊娠・出産・育児に関する電話や対面での相談を実施するとともに、母子健康手帳交付時や出生届に来庁した乳児等を対象に各種サービス等について説明しながらセルフプランを作成し、個々の状況に応じた支援を行い、育児の負担・不安の軽減に努めた。
乳幼児健康診査受診率(1歳6ヶ月児)	96.8%(100%)	乳幼児健診を実施し、健康状態の確認、助言及び保健指導を行った。未受診の場合には、事前に連絡をいただくとともに、連絡がなかった方には通知や電話により受診勧奨を行い、受診率の向上を図った。 【1歳6か月児健診実績】対象221人、受診214人、受診率96.8%

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
育児に自信のもてない母の割合(1歳6ヶ月児)	16.8%(14.5%以下)	保健師、看護師、子育てコンシェルジュ等による妊娠・出産・育児に関する電話や対面による相談を実施するとともに、母子健康手帳交付時や出生届に来庁した乳児等を対象に各種サービス等について説明しながらセルフプランを作成し、個々の状況に応じた支援を行うことにより、育児負担や育児不安の軽減に努めた。
乳幼児健康診査受診率(1歳6ヶ月児)	100%(100%)	乳幼児健診を実施し、健康状態の確認、助言及び保健指導を行った。未受診の場合には、欠席の連絡をいただくとともに、通知や電話により受診勧奨し、受診率の向上を図った。 【1歳6か月児健診実績】対象241人、受診241人、受診率100%

4. 主な関連するSDGsのゴール

	4. 質の高い教育をみんなに
---	----------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度 予算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額	R7年度 予定額	R8年度 予定額
		決算額				
Smile Kids Office につこりっこ運営事業	妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対応し、安心して過ごせるように切れ目のない支援を提供するむつ市子育て世代包括支援センターとして開設。子どもみらい部を「につこりっこ」の総合相談窓口として、各庁舎及びキッズパークを地域相談窓口として、母子保健施策と子育て支援施策の一体的な提供を行い、妊産婦や乳幼児に関する包括的な支援を行う。	4,688	4,701	5,424	5,424	5,424
		3,830	4,661	—	—	—
乳幼児健康診査事業費	運動機能、視聴覚などの障がい、精神発達の遅滞などの障がいをもつ幼児を早期に発見し、心身障害の進行を未然に防止するとともに、個々の生活習慣の確立、むし歯の予防、栄養、育児に関する支援を行い、幼児の健康保持及び増進を図る（母子保健法第12条）。対象の月齢に合わせ、身体発育・精神発達に関して小児科医及び歯科医師の診察、耳鼻科医師による総合的な健康診査を実施する。保健師などによる保健相談なども併せて実施する。また、健康増進計画の施策でもある、う歯保有数の減少を目指し、歯科衛生士によるブラッシング指導を実施する。その他、低身長や肥満、斜視（視力障害）、難聴の異常の早期発見に努めるとともに言語や情緒の発達など、軽度の精神発達遅滞を早期発見し、就学までに必要な療育支援が行われるよう支援する。身体的な疾病のスクリーニングだけではなく子育て支援や虐待の早期発見・予防に努める。	9,371	6,149	5,654	5,654	5,654
		8,201	5,076	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	1歳6か月児健診における育児に自信が持てない母の割合及び受診率は目標値を下回ったものの、『Smile Kids Office につこりっこ』における総合相談窓口の設置、電話・面談・SNS活用による相談対応や健診を通して子どもや家庭の個々の状況に応じた支援は継続して実施しており、家族の育児における不安や心理的な負担等の軽減に取り組むことができたことから、概ね良好と評価した。
			【今後の取組の方向性】 電話・対面・SNSを活用した相談対応や健診において、妊娠・出産・育児に関する情報提供や個々の状況に応じた支援を実施することにより、子どもの健やかな成長と家族が安心して子育てできるように支援していく。健診未受診者への受診勧奨・フォローアップに努めていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】 ・乳幼児健康診査受診率（1歳6か月）について、100%を維持できるように取り組んで欲しいです。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.4%	
		B	82.6%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

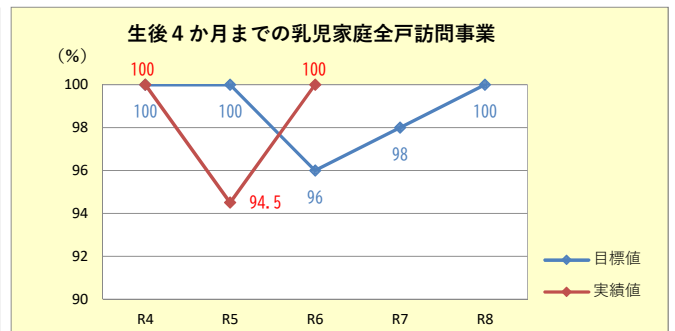
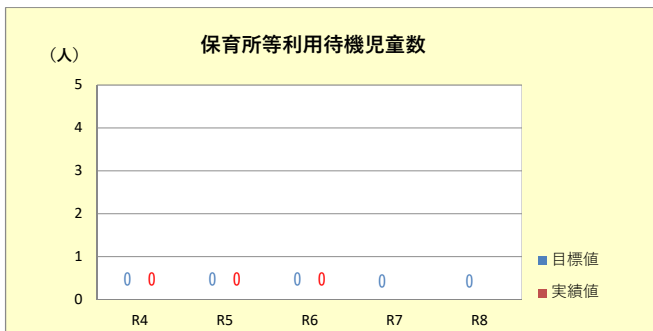
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 教育・子育て環境の向上	関係部局
施策項目	(2)子ども・子育て支援	子どもみらい部
施策内容	②児童福祉の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
保育所等利用待機児童数	(人)	4	0	0	0	0	0
		令和2年度	0	0	0		
生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業	(%)	99.3	100	100	96	98	100
		令和2年度	100	94.5	100		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
保育施設の(増)改築への補助金交付(令和6~7年度)	0施設(1施設)	1施設において建替え予定だったが、施設側より建替えによる施設の継続運営が困難との申し出があり、実施していない。施設はそのまま閉園となったが、在園していた園児は転園し待機児童は出ていない。
生後4か月までの乳児家庭全戸訪問率	100%(100%)	対象となる乳児家庭(206人の乳児)全てに訪問ができ、子育ての孤立化防止・情報提供を図ることが出来た。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
保育施設の(増)改築への補助金交付(令和4~5年度)	1施設(1施設)	令和5月12月本体工事完了。令和6年3月旧園舎解体工事完了により事業完成。 (対象施設：柳町ひまわり保育園)
生後4か月までの乳児家庭全戸訪問率	94.5%(100%)	里帰りや入院中など、年度内に訪問出来なかったケースはあるが、今後も実施に向けて、訪問日程の調整を継続する。それ以外のケースについては、訪問を実施し、子育ての孤立化防止を図ることが出来た。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	4. 質の高い教育をみんなに
--	----------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
むつ市就学前教育・保育施設整備費補助金事業	待機児童の解消もしくは子育て環境の整備・充実を図るため、保育施設の整備に要する経費について、予算の範囲内において、補助金を交付する。	106,470	114,604	74,559	74,559	106,470
		106,470	114,604	—	—	—
生後4か月までの全戸訪問事業	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を保健師等の資格を持つ訪問員が訪問し、子育ての孤立化防止のため、様々な不安や悩みを聞き、アドバイスや子育て支援に関する地域の情報を提供するなどのサポートを行い、乳児の健全な育成を図る。	1,531	1,473	1,395	1,395	1,395
		879	870	—	—	—

6. 施策の進捗状況

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	①施設側の理由により施設整備は未実施だったが、園児の教育・保育環境への影響は最小限に留まったと評価 ②対象となる乳児家庭全てに訪問することができ、保護者の育児に対する不安や負担の軽減につながった。
			【今後の取組の方向性】 ①子育て環境の整備・充実を図るため、教育・保育施設整備に対する支援を継続していく。 ②訪問率100%を目指し、今後も育児に対する不安や負担感が軽減されるよう支援していく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	65.2%	
		B	26.1%	
		C	4.4%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

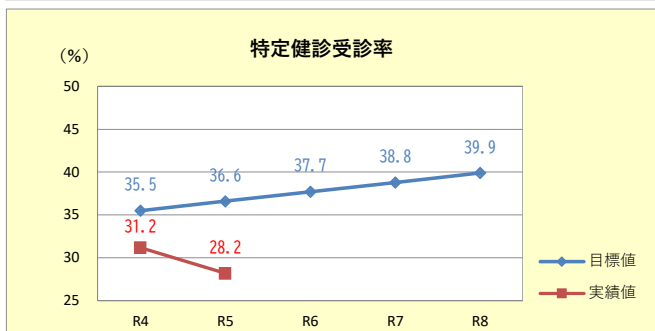
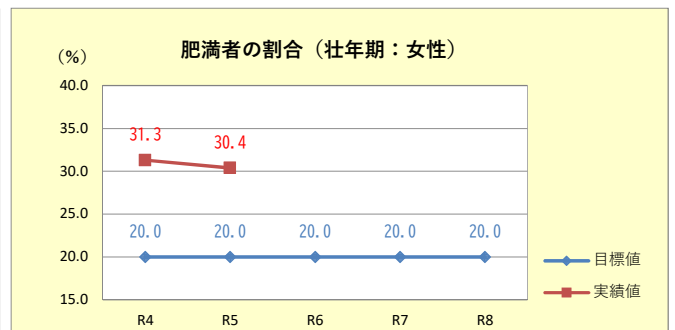
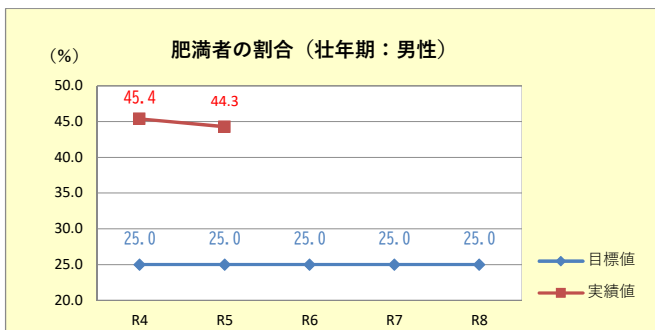
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	市民生活部
施策内容	①一人ひとりの健康づくりの推進	健康福祉部

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
肥満者の割合（壮年期：男性）	（％）	47.1	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
		令和2年度	45.4	44.3	－		
肥満者の割合（壮年期：女性）	（％）	28.2	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		令和2年度	31.3	30.4	－		
特定健診受診率	（％）	34.4	35.5	36.6	37.7	38.8	39.9
		令和元年度	31.2	28.2	－		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
BMI25以上の方のうち、BMIが減少した方の割合（健幸アップ）	43%（50%）	事業期間において、運動イベントの増加や脂肪燃焼及び筋肉量増加イベントを行い、モチベーションが継続できるよう実施した。BMI25以上の方のうちBMIが減少した方の割合は、43%と目標値の50%に近い数値を出すことができた。
歩数データ送信率（健幸アップ）	58.3%（80%以上）	事業終了時のデータ送信率は、58.3%（859人中501人）で昨年度の75.8%より減少した。データ送信率が最も高かったのは6月で78.8%であった。例年、開始月以降のデータ送信率は減少となることから、歩数クリアポイントを2段階に設定し、ポイントを獲得しやすいルールとしたが、事業終了月（1月）の送信率は目標値の80%に到達することができなかった。
特定健康診査未受診者に対する受診勧奨はがきの送付回数	3回（3回）	特定健診未受診者や未予約の対象者へ、1回目の特定健診受診勧奨通知は6月14日に6,142通を発送、2回目は8月30日に5,986通を発送、3回目は12月10日に5,341通を発送した。また、集団検診や個別検診、人間ドックの受診を勧めた。

《参考：令和5年度実績》		
内容	実績(目標)	達成状況報告
BMI25以上の方の割合 (健康アップ)	1.5%増加(10%減少)	参加者の初回測定において、BMI25以上の方の割合は36.3%であった。 参加者の肥満率を減少させるため、9月に自治体対抗歩数イベントを1か月間開催した。 参加者の最終測定において、BMI25以上の方の割合は30.0%であり増加となったが、BMI25以上(初回測定)の方の約半数にBMI値の減少が見られた。
特定健康診査未受診者に対する受診勧奨はがきの送付回数	3回(3回)	6月(6,644通)と8月(6,298通)に特定健診の受診や申込をしていない方を対象に受診勧奨を送付した。また、国保加入手続きのため来庁した方へチラシを渡し、個別に特定健診の案内を行った。 また、1月9日に特定健診の受診や申込をしていない対象者へ、受診勧奨通知を2,894通発送した。個別健診や人間ドックの受診を勧めた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を		4. 質の高い教育をみんなに
	8. 働きがいも経済成長も		

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度 予算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額	R7年度 予定額	R8年度 予定額
		決算額				
健康アップ事業	株式会社タニタヘルスリンクが展開しているカラダ診断アプリやウォーキングアプリ、食事記録アプリを導入し、参加者はポイントを貯め、貯まったポイントをむつ市の地域共通商品券などへ交換することで行動変容へのインセンティブ効果を回り、健康増進を推進していく。	11,835	8,956	8,795	8,795	8,795
		11,717	7,832	—	—	—
特定健康診査事業(未受診者受診勧奨)	特定健康診査受診率向上のため未受診者に対し受診勧奨を実施する。AI(人工知能)により対象者の健診受診行動を分析し、対象者のタイプ別に内容を変えた受診勧奨を行うことで、受診率向上を目指す。 健診予約について、健診受付専用コールセンターおよびWEB予約「けんしん予約AITEL」により実施し、健診予約体制を整備(令和4年度～)。	45,756	45,756	51,294	51,294	51,294
		36,749	34,390	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①今年度は、イベントの回数や期間を延長するなど、活動量を増やす取組を行い、目標値に近い数値を出すことができた。 ②メールや事業所健康教育等でデータ送信のお知らせをしており、活動しやすい時期の送信率は目標に近い数値であった。 ③特定健診未受診者に対する受診勧奨を予定通り進めることができていた。 【今後の取組の方向性】 ①②令和6年度で健康アップ事業は終了となり、令和7年度から「+ (プラス) 1000歩チャレンジ」を後継事業として実施する。 ③特定健診受診勧奨通知は令和7年度も継続予定である。資材内容等は対象者へ分かりやすく、受診予約へつながるよう興味を引くような内容としていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	69.6%	
		C	21.7%	
		D	4.4%	
		-	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

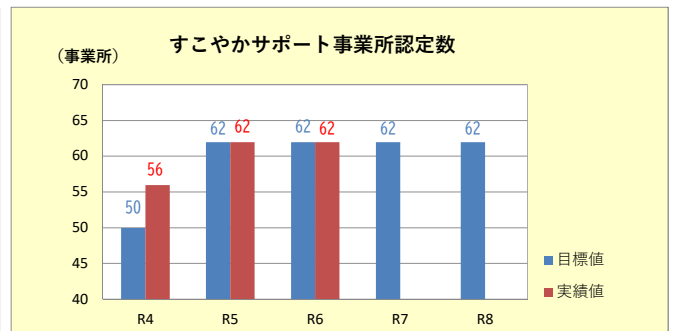
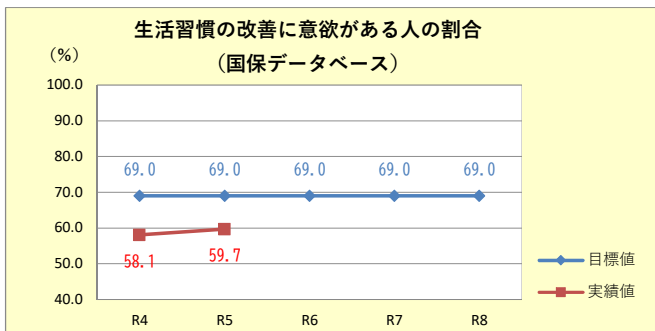
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康福祉部
施策内容	②健康まちづくりの推進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
生活習慣の改善に意欲がある人の割合 （国保データベース）	（％）	57.1	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0
		令和元年度	58.1	59.7	—		
すこやかサポート事業所認定数	（事業所）	47	50	62	62	62	62
		令和2年度	56	62	62		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
運動意識の変容が見られた方の割合（スマラボウォーキングイベント参加者アンケート）	66.3％（85％以上）	市内で開催されるイベントを利用し、ウォーキングイベントを3回実施した。アンケートにおいて、運動を始めてみたいは66.3％と目標値に届かなかったが、定期的なウォーキングを実施している方も28.3％参加しており、運動習慣への意識向上につながっている。
すこやかサポート事業所新規認定数	0事業所（3事業所）	HP等で事業の周知を図った。また、認定事業所に講演会やイベントのチラシを郵送し、健康情報をお知らせしている。事業所認定の新規申し込みはなかったが、健康教育において未実施の認定事業所に対し個別訪問を行い、健康教育を実施することで職場の健康づくりにつながった。
健康教育の回数	191回（240回）	地域及び職域での健康づくりのため健康教室を実施したが、目標値には届かなかった。しかし、健康教室参加者からは高い満足度が得られ、健康教室で知った内容を日々の生活に取り入れてみたいという感想も聞かれているため、健康づくりへの意識向上につながっている。今後は、健康に興味関心がある方はもちろんのこと、健康意識が低い方にも届くような周知方法や内容を考え、発信していきたい。

＜参考：令和5年度実績＞

内容	実績（目標）	達成状況報告
歩数データ送信率	75.8％（80％以上）	9月に自治体対抗歩数イベントを開催。事業終了時のデータ送信率は75.8％（805人中610人）となり、計画値の80％に到達することができなかった。
すこやかサポート事業所新規認定数	6事業所（5事業所）	健康づくりに取り組んでいる事業所に対し、個別訪問を実施することで6事業所の認定となった。また、健康教育においても実施事業所数は増加している。
事業所への機器貸し出し回数	32回（20回）	4月に健やか隊員とすこやかサポート事業所向けにPRチラシを配布。5月～6月にかけて、健康測定機器の使い方等を事業所ごとに伝え、測定機器設置をPRした。健やか隊員とすこやかサポート事業所に個別でフォローアップおよびPRを行ったことで、目標を達成することができた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を		4. 質の高い教育をみんなに
	8. 働きがいも経済成長も		11. 住み続けられるまちづくりを

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
スマート・ウェルネス研究事業	「スマート・ウェルネス・ラボ」はむつ市に合った健康づくりを研究、実践するため令和5年に創設した。市民がいきいきと暮らせるまちづくり＝健康のまちづくりへとつながることを目的とし、ラボに関わったメンバーが、それぞれの職場で業務に励む中で市民の「健康」「幸せ」を支援できるような施策を立案・実行していくことで、全庁的な取組へと広げ、最終目標の平均寿命の延伸につなげる。	－	594	1,493	－	－
		－	592	－	－	－
すこやかサポート事業所認定事業	積極的に健康づくりに取り組んでいる事業所を認定することにより、働き盛り世代の健康づくりを推進するとともに、その取組を広く市民に公表し、市全体の健康づくりに取り組む。	41	97	8	8	8
		41	92	－	－	－
集団健康教育事業	30～50代の働き盛りの年代へ「健やか隊員育成プログラム」に基づき、健康教室を行い「自分の健康に目を向けること」そして「職場の健康づくりに反映させること」を目的に実施する。 また、令和3年度より、むつ市内の健やか隊員育成研修会を終了した者の活動支援を個別に対応し、強化することとしている。	685	696	770	770	770
		302	418	－	－	－

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①目標には達成できなかったものの、運動を始めてみたいという意識変容のあった方は半数以上あり、ある程度の効果はあったと考える。②概要を説明した事業所はあったが、申請はなく目標値には至らなかった。③参加人数を見ると、令和6年度は5,692人であり、令和5年度の4,319人と比較すると、利用者は大幅に増えている。健康づくりへの意識向上のための啓発・周知については、一定の効果があったと評価している。
			【今後の取組の方向性】 ①青年期を中心とした子育て世代が家族で参加できる楽しいイベントを実施することで、健康づくりに関する意識変容につながっていくものと思われる。 ②令和7年3月31日で新規認定を終了し、令和7年3月31日までに更新した事業所は認定期間をもって終了とする。今後は、事業所での健康教育を継続しながら、従業員の健康づくりの環境整備のため、国の「健康経営優良法人認定制度」を周知していく。 ③引き続き地域・職域での健康づくりを支援していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
		A	0.0%	
		B	82.7%	
		C	13.0%	
		D	0.0%	
		－	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

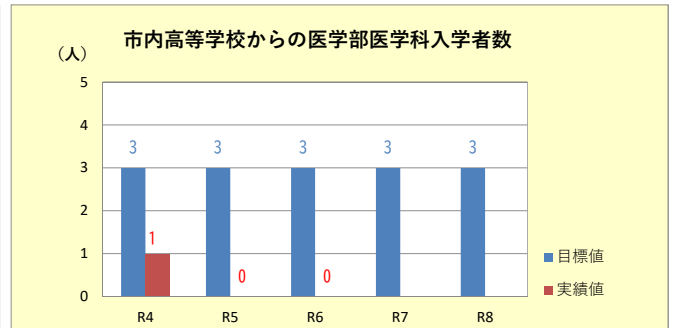
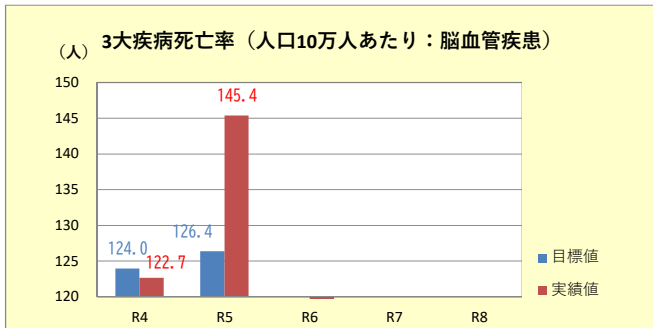
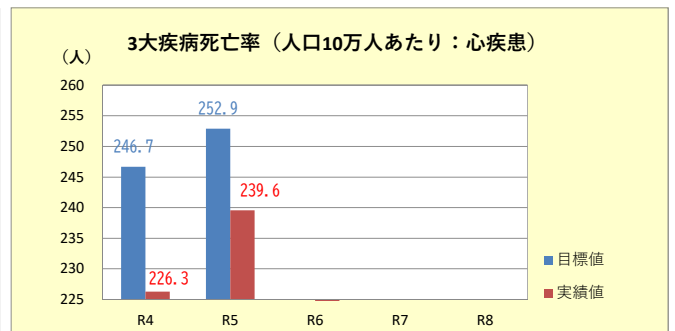
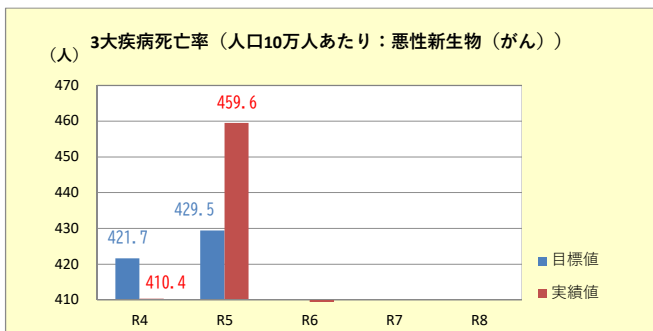
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康福祉部
施策内容	③医療体制の充実	教育委員会事務局

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
3大疾病死亡率（人口10万人あたり：悪性新生物（がん））	（人）	413.3	421.7	429.5	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る
		令和元年	410.4	459.6	—	—	—
3大疾病死亡率（人口10万人あたり：心疾患）	（人）	226.2	246.7	252.9	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る
		令和元年	226.3	239.6	—	—	—
3大疾病死亡率（人口10万人あたり：脳血管疾患）	（人）	129.9	124.0	126.4	県死亡率下回る	県死亡率下回る	県死亡率下回る
		令和元年	122.7	145.4	—	—	—
市内高等学校からの医学部医学科入学者数	（人）	—	3	3	3	3	3
		—	1	0	0	—	—



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
一部事務組合下北医療センター負担金の適正な執行	計画どおり負担（計画どおり負担）	第4・四半期まで納付済み。
医学部修学助成金交付対象者	0人（3人）	新規募集手続きと継続者への助成金交付を実施した。（新規申請：0人 継続者：1人）

＜参考：令和5年度実績＞

内容	実績（目標）	達成状況報告
一部事務組合下北医療センター負担金の適正な執行	計画どおり負担（計画どおり負担）	第4・四半期まで納付済み。
医学部修学助成金交付対象者	0人（3人）	今年度は新規交付申請はなく、継続者からの申請に基づき5人に交付した。次年度の募集について、広報むつ2月号への掲載依頼及び市内高等学校3年生へのチラシ配布による周知活動を実施。令和6年度募集要項の制定、ホームページ掲載及び継続予定者へ申請案内の送付。
東大生・医学部生	0人（東大生1人）（医学部生3人）	8月に田名部高校・大湊高校2、3年生を対象に第1回夏期講習会を行い、31人が参加した。12月は34人、3月は38人が参加し、3月の講習会ではまさかり高校OBで東京大学4年生の大塚小麦さんとの座談会も行い、勉強方法や学生生活についてのアドバイスを受けた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を		11. 住み続けられるまちづくりを
---	-----------------	---	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
下北医療センター負担金	一部事務組合下北医療センター負担金条例に基づき、組合の経費のうち、病院、診療所に係る経費以外の経費の負担。	44,295	44,892	48,445	48,445	48,445
		41,519	43,480	—	—	—
財政の健全化（下北医療センター負担金）	病院及び診療所の経営基盤の安定化を図るため、下北医療センターに対し、公営企業の繰出基準に基づく支援を行う。	1,784,584	2,033,675	1,892,205	1,779,568	2,032,270
		1,755,840	2,301,341	—	—	—
むつ市大学医学部修学助成金	当市では、人口10万人当たりの医師数が全国平均を大きく下回るといった深刻な医師不足の状態にある。このような状況を改善するためには、地元から医師を目指す人材の育成を図ることが、地域医療の確保に非常に効果的な手段であると考え。地域への愛着や貢献意欲を持った若者が医師を目指し、医学部へ進学し、卒業後は地域の医療に貢献するといったサイクルを作ることにより、地域からの医師の流出に歯止めをかけ、地元へ定着する医師の増加が期待されることから、市内高等学校から医学部医学科へ進学した者に対して一定額の助成金を交付する。	2,500	4,000	2,500	2,500	4,000
		2,500	2,500	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①計画どおり負担金を支出した。 ②新規交付申請は無かったが、継続者への助成金を滞りなく交付した。
			【今後の取組の方向性】 ①むつ総合病院の医療提供体制の強化を図るため、引き続き計画どおり負担金を支出する。 ②申請実績に鑑みて令和7年度から新規募集を停止し、継続者が卒業（R10.3.31）後、本事業廃止予定

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
		A	0.0%	
		B	65.2%	
		C	26.1%	
		D	4.4%	
		—	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

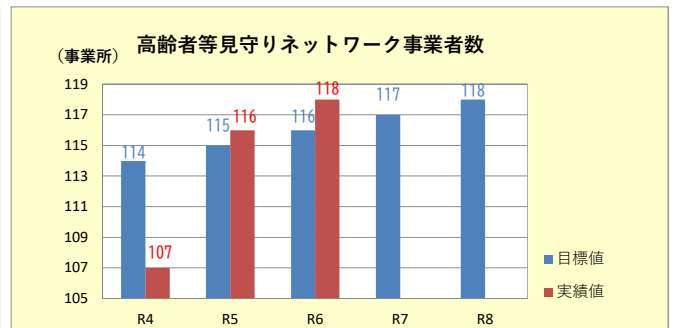
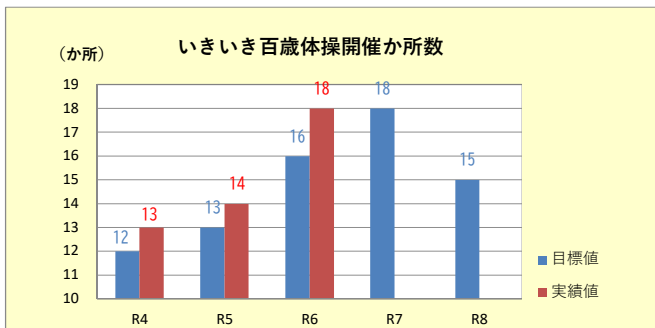
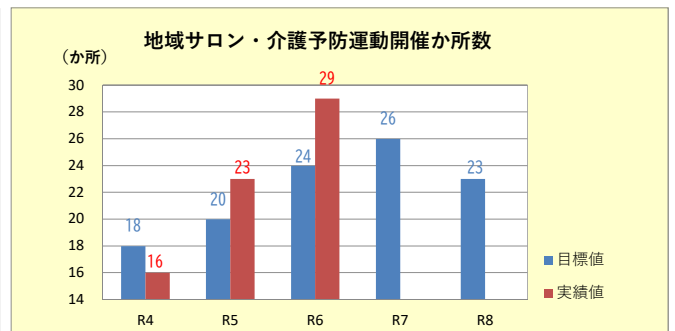
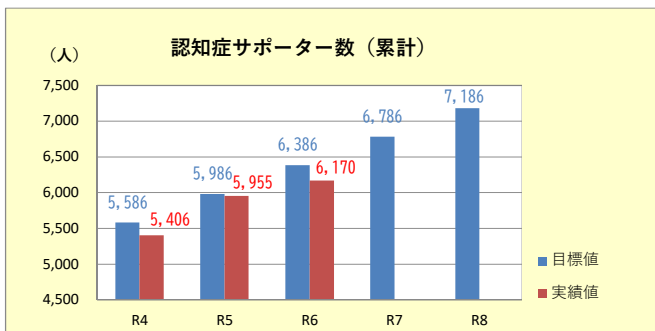
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康福祉部
施策内容	④高齢者福祉の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
認知症サポーター数（累計）	（人）	4,848	5,586	5,986	6,386	6,786	7,186
		令和2年度	5,406	5,955	6,170		
地域サロン・介護予防運動開催か所数	（か所）	15	18	20	24	26	23
		令和2年度	16	23	29		
いきいき百歳体操開催か所数	（か所）	10	12	13	16	18	15
		令和2年度	13	14	18		
高齢者等見守りネットワーク事業者数	（事業所）	113	114	115	116	117	118
		令和2年度	107	116	118		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
認知症サポーター数（累計）	6,170人（6,386人）	認知症サポーター養成講座は13回開催し、215人が受講した。累計で6,170人となった。
地域サロン・介護予防運動開催か所数	29か所（24か所）	茶話やかサロンは新規で6か所開始し、合計で29か所の支援を行っている。
いきいき百歳体操開催か所数	18か所（16か所）	新規で4か所開始し、開催団体は18か所となった。昨年度からの継続団体14か所中、12か所でリハビリ専門職と連携した体力測定と評価を行った。また、地域において「いきいき百歳体操」の体験会を3回開催し、全てが新規団体へとつながった。
高齢者等見守りネットワーク事業者数	118事業者（116事業者）	みまもり通信を発行し、全事業者へ郵送した。高齢者等見守りネットワーク事業者は2事業者増え、118事業者となっている。通報は16件あり、救急搬送等の必要な支援につながっている。

《参考：令和5年度実績》		
内容	実績(目標)	達成状況報告
認知症サポーター数(累計)	5,955人(5,986人)	年度内に22回の養成講座を行い、549人が受講した。累計で5,955人となった。
地域サロン・介護予防運動開催か所数	23か所(20か所)	新規で7か所開始し、23か所の支援を行っている。
いきいき百歳体操開催か所数	14か所(13か所)	新規で1か所開始し、14か所となった。昨年度からの継続団体13か所中、11か所でリハビリ専門職と連携した体力測定と評価を行った。また、体験会を4回開催した。
高齢者等見守りネットワーク事業者数	116事業者(115事業者)	7月に市内郵便局13者と「みんなで見守る協定」を締結した。 9月にみまもり通信を発行し、全120事業者へ郵送した。 3月にみまもり通信を発行し、全116事業者へ郵送した。高齢者等見守りネットワーク事業者は廃業により116事業者へ減少している。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を		11. 住み続けられるまちづくりを
---	-----------------	---	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
認知症サポーター等養成事業	高齢化の進行にともない認知症高齢者の増加が見込まれる中、認知症の方やその家族を地域で見守り支えていくために、地域での見守りを行うサポーターを養成する。	161	146	144	144	144
		128	111	—	—	—
一般介護予防事業	主に65歳以上の方及びその支援のために関わる方を対象に、介護予防の普及啓発を行うとともに、誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指して、介護予防に資する住民主体の介護予防活動の支援を行う。	16,078	16,042	25,025	18,493	18,493
		14,916	15,090	—	—	—
認知症等高齢者見守り事業	むつ市認知症サポート事業所認定やむつ市認知症サポート団体認定、むつ市高齢者等見守りネットワーク事業、むつ市認知症SOSネットワーク事業等により、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりの推進に資するため、見守り体制を構築する。	262	262	268	268	268
		148	163	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	①年度内の養成目標(400人)の約半数の養成となった。 ②6か所のサロンが新規で開始し、通いの場が増えている。 ③体力測定により、利用者が体操の効果を実感でき、活動継続への動機付けとなっている。体験会より新たな立ち上げにつながった。 ④みまもり通信を発行し、全事業者に見守りに関する情報提供を行った。見守りにより、必要な支援につながっている。
			【今後の取組の方向性】 ①認知症への理解を促進させるため、関係機関への周知を増やし、認知症サポーター養成講座を開催していく。 ②③住民主体の介護予防活動(地域サロン、いきいき百歳体操)は、介護予防のほか、高齢者の通いの場となり地域づくりにつながることから、引き続き取組を実施する。 ④高齢者等見守りネットワーク事業は、地域全体で高齢者等を見守る取組となることから、引き続き事業者へ周知し協力を依頼する。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
		A	73.9%	
		B	13.0%	
		C	4.4%	
		D	4.4%	
		—	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

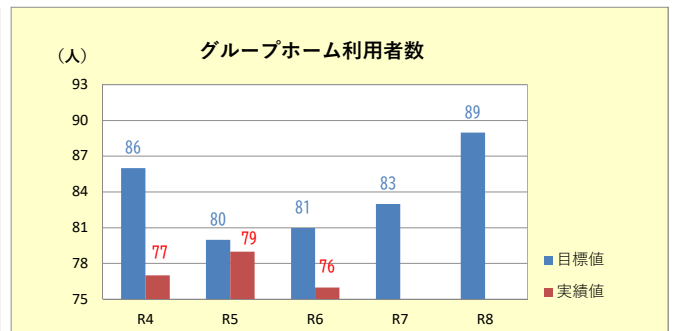
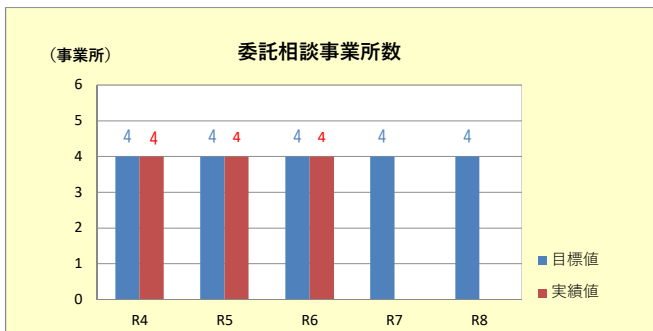
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康福祉部
施策内容	⑤障害者福祉の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
委託相談事業所数	(事業所)	4	4	4	4	4	4
		令和2年度	4	4	4		
グループホーム利用者数	(人)	76	86	80	81	83	89
		令和2年度	77	79	76		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
障がい福祉サービス展示会、出前講座、障がいに関する勉強会、研修会の来場者、参加者数	113人(150人)	○障がい福祉パンフレットを作成(10月) ○10/16~22に「障がい福祉サービス展示会」を実施(場所:来さい館) ○自立支援協議会研修会・勉強会 ※障がい者就業・生活支援センターと共催 (1月)医療的ケア児支援部会勉強会 参加人数:47人 子ども・教育支援部会勉強会 参加人数:41人 (3月)生活就労支援部会勉強会 参加人数:25人
委託相談支援事業所への相談件数	915件(550件)	3月までの相談件数:915件 (昨年度同時期:565件)

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会、障がいに関する研修会の来場者、参加者数	220人(150人)	○むつ市役所新採用職員研修(5月)【手話講座】受講人数:15人 ○出前講座(大畑地区民生委員児童委員) 手話講座(5月)【受講人数:24人】、障がい者の支援について(7月)【受講人数:22人】 ○障がい福祉パンフレットを作成(10月) ○11/13~17日に「障がい福祉サービス展示会」を実施(場所:むつ市役所開放エリア) ○自立支援協議会研修会・勉強会 (1月)医療的ケア児支援部会勉強会【参加人数:53人】 (2月)子ども・教育支援部会勉強会【参加人数:54人】 (3月)自立支援協議会研修会【参加人数:52人】 ※障がい者就業・生活支援センターと共催
委託相談支援事業所への相談件数	565件(1,500件)	3月までの相談件数:565件(昨年度同時期:1,208件)

4. 主な関連するSDGsのゴール

3 3 すべての人に健康と福祉を	10 10 人や国の不平等をなくそう
11 11 住み続けられるまちづくりを	16 16 平和と公正をすべての人に

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
理解促進研修・啓発事業	障がい福祉サービス展示会の開催に合わせて「障害福祉パンフレット」を作成し、障がいをお持ちの方やその家族等から、サービス利用等の相談対応や情報提供を行う。また、障がいのない方にも来場してもらうことで、障がいのある方の特性や各障害支援事業所を知ってもらい、障がいへの理解促進と啓発を図る。 また、福祉関係者を対象とした研修会や各種団体の要望に応じた出前講座を実施し、障がいのある方への対応について知識を深め、地域で暮らす障がいのある方が安心して生活できるよう支援する。	350	584	624	624	624
		221	496	—	—	—
相談支援事業	障がいをお持ちの方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報提供等を行いサービス利用等の支援へつなげるため、市内の4事業所（となみ療護園、ハートランドさくら、ぱれっと、ら・ぼるて）に相談業務を委託し、相談体制の強化を図ることで、個々の特性に合ったサービス利用につながるよう支援を行う。 地域自立支援協議会では、専門部会を設置し、各部門の専門的な意見が聞ける場となるよう、相談支援体制の強化を図る。	9,707	10,758	10,678	10,678	10,678
		9,663	10,637	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①10月以降の取組としては、障がい福祉パンフレットを作成し、市内障害福祉サービス事業所等へ配布したほか、「障がい福祉サービス展示会」を実施し、障害福祉サービス事業所や当事者団体の周知を行った。自立支援協議会では、各部会で勉強会を実施し、福祉や医療機関、教育機関など多くの関係者が参加するなど、障がいに対する理解の促進に努めた。 ②相談支援事業では、悩みを抱えた方の相談内容を相談記録票で市と情報共有し、連携した支援に努めた。昨年度実績と比較すると、知的障害児、発達障害児、精神障害者からの相談件数が大幅に増加している。
			【今後の取組の方向性】 今後も障がいに対する理解促進を図るため、研修会等の実施や情報の充実、周知に努める。また、相談支援事業についても、障がいのある方が安心して暮らせるよう支援するため、相談事業所と連携し引き続き実施していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】 ・今後、一般就労の理解や門戸拡大を図る施策を期待しています。
		A	0.0%	
		B	87.0%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		—	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

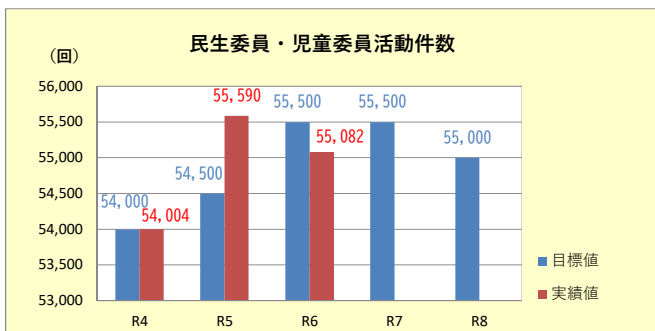
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康福祉部
施策内容	⑥地域福祉の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
民生委員・児童委員活動件数	(回)	55,386	54,000	54,500	55,500	55,500	55,000
		令和2年度	54,004	55,590	55,082		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
民生委員・児童委員活動件数	55,082回（55,500回）	人口減少により、高齢者の見守り活動やこども達への声かけ活動等の件数は減少傾向にある。また、委員が不在となっている地区はあるものの、各地区委員の連携により、地域住民の支援を継続して行えるよう委員の確保に取り組んでいる。委員は、支援各地区での研修会のほか、青森県民生委員児童委員協議会主催の研修会にも積極的に参加し、相談技法や支援技術の向上に努めている。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
民生委員・児童委員活動件数	55,590回（54,500回）	各地区での研修会のほか、県民生委員児童委員協議会主催の研修会へも参加し、支援技術向上に努めた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を		17. パートナリシップで目標を達成しよう
--	-----------------	--	-----------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
民生委員・児童委員活動	高齢者や障がい者の安否確認及び見守り、子ども達への声掛けに加え、介護保険や各種福祉サービスが受けられるよう、行政機関や施設等とのパイプ役のほか、様々な相談を受ける等、民生委員・児童委員協議会が組織され活動している。	11,492	11,810	11,905	12,446	12,764
		10,332	10,549	-	-	-

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	民生委員児童委員の支援技術の向上につながる研修会や出前講座を活用し、計画的に活動を実施していることから、概ね良好と考えられる。
			【今後の取組の方向性】 民生委員児童委員協議会の活動を支援し、研修や情報交換を通じて資質向上を図ることにより、家庭訪問や見守り活動の強化につなげていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	82.6%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	8.7%	

施策評価調書(令和6年度)

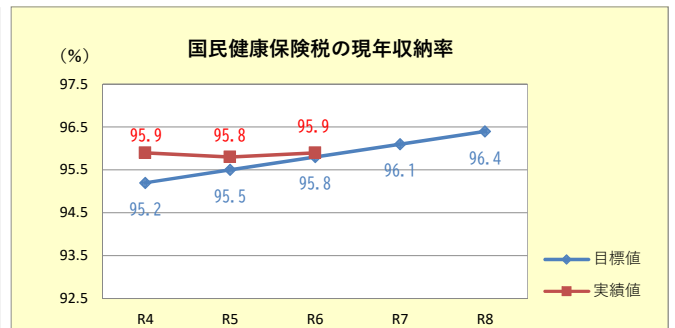
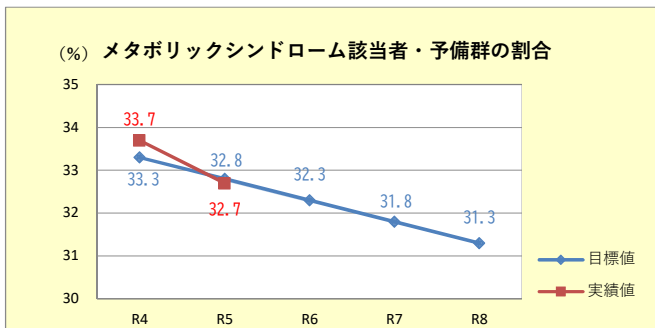
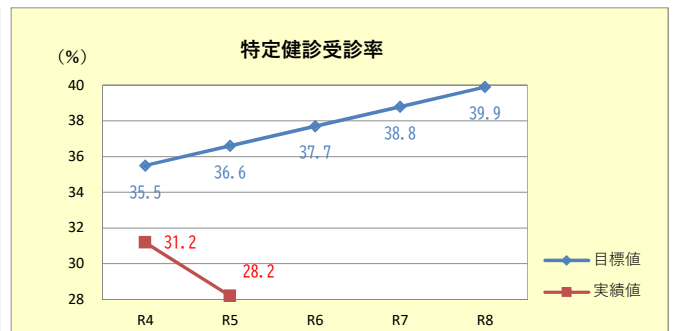
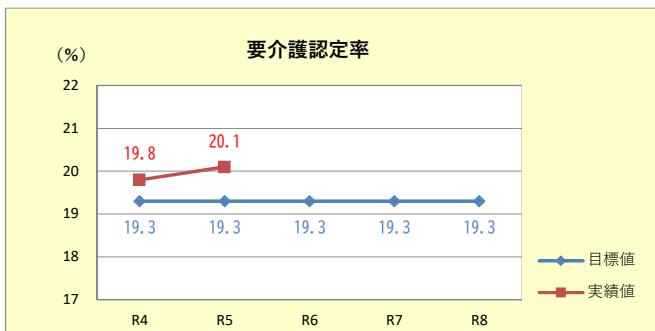
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	市民生活部
施策内容	⑦社会保障の充実	健康福祉部

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
要介護認定率	(%)	19.3	19.3	19.3	19.3	19.3	19.3
		令和2年度	19.8	20.1	—	—	—
特定健診受診率	(%)	34.4	35.5	36.6	37.7	38.8	39.9
		令和元年度	31.2	28.2	—	—	—
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	(%)	33.8	33.3	32.8	32.3	31.8	31.3
		令和2年度	33.7	32.7	—	—	—
国民健康保険税の現年収納率	(%)	94.9	95.2	95.5	95.8	96.1	96.4
		令和元年度	95.9	95.8	95.9	—	—



3. 年次目標【令和6年度】

内容	年次(目標)	達成状況報告
地域サロン・介護予防運動開催か所数	29か所(24か所)	茶話やサロンは新規で6か所開始し、合計で29か所の支援を行っている。
いきいき百歳体操開催か所数	18か所(16か所)	新規で4か所開始し、開催団体は18か所となった。昨年度からの継続団体14か所中、12か所でリハビリ専門職と連携した体力測定と評価を行った。また、地域において「いきいき百歳体操」の体験会を3回開催し、全てが新規団体へとつながった。
特定健康診査未受診者に対する受診勧奨はがきの送付回数	3回(3回)	特定健康診査未受診者や未予約の対象者へ、1回目の特定健康診査受診勧奨通知は6月14日に6,142通を発送、2回目は8月30日に5,986通を発送、3回目は12月10日に5,341通を発送した。集団検診や個別検診、人間ドックの受診を勧めた。

《参考：令和5年度実績》		
内容	年次目標	達成状況報告
地域サロン・介護予防運動開催か所数	23か所（20か所）	新規で7か所開始し、23か所の支援を行っている。
いきいき百歳体操開催か所数	14か所（13か所）	新規で1か所開始し、14か所となった。昨年度からの継続団体13か所中、11か所でリハビリ専門職と連携した体力測定と評価を行った。また、体験会を4回開催した。
特定健康診査未受診者に対する受診勧奨はがきの送付回数	3回（3回）	6月（6,644通）と8月（6,298通）に特定健診の受診や申込をしていない方を対象に受診勧奨を送付した。また、国保加入手続きのため来庁した方へチラシを渡し、個別に特定健診の案内を行った。 1月9日に特定健診の受診や申込をしていない対象者へ、受診勧奨通知を2,894通発送した。個別健診や人間ドックの受診を勧めた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を
---	-----------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
一般介護予防事業	主に65歳以上の方及びその支援のために関わる方を対象に、介護予防の普及啓発を行うとともに、誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指して、介護予防に資する住民主体の介護予防活動の支援を行います。	16,078	16,042	25,025	18,493	18,493
		14,916	15,090	—	—	—
特定健康診査事業（未受診者受診勧奨）	特定健康診査受診率向上のため未受診者に対し受診勧奨を実施する。AI（人工知能）により対象者の健診受診行動を分析し、対象者のタイプ別に内容を変えた受診勧奨を行うことで、受診率向上を目指す。 健診予約について、健診受付専用コールセンターおよびWEB予約「けんしん予約AITEL」により実施し、健診予約体制を整備（令和4年度～）。	45,756	45,756	51,294	51,294	51,294
		36,749	34,390	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	①6か所のサロンが新規で開始し、通いの場が増えている。 ②体力測定により、利用者が体操の効果を実感でき、活動継続への動機付けとなっている。体験会より新たな立ち上げにつながった。 ③特定健診未受診者に対する受診勧奨を予定どおり進めることができています。
			【今後の取組の方向性】 ①②住民主体の介護予防活動（地域サロン、いきいき百歳体操）は、介護予防のほか、高齢者の通いの場となり地域づくりにつながることから、引き続き取組を実施する。 ③特定健診受診勧奨通知は令和7年度も継続予定である。資料内容等は対象者へ分かりやすく、受診予約へつながるよう興味を引くような内容としていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況（総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
		A	56.5%	
		B	30.4%	
		C	8.8%	
		D	0.0%	
		—	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

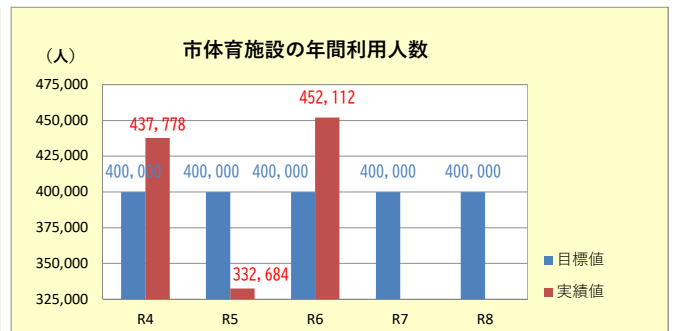
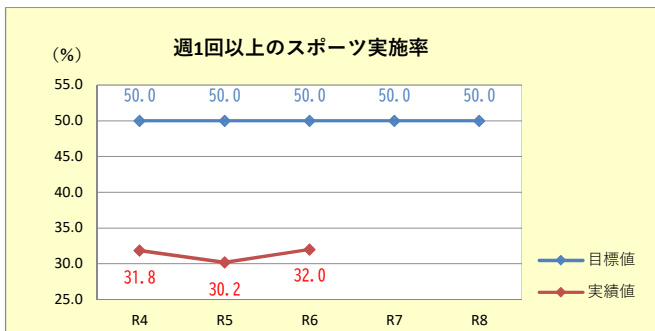
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(2)スポーツ	市民生活部
施策内容	①スポーツ活動の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
週1回以上のスポーツ実施率	（％）	46.2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		令和2年度	31.8	30.2	32.0		
市体育施設の年間利用人数	（人）	354,914	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
		令和2年度	437,778	332,684	452,112		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
スポーツ教室等実施回数	339回（300回）	計画値を上回る回数を実施し、市民がスポーツに触れる機会を提供することができた。また、トップアスリートから指導を受け、選手の技術の向上及び目標の明確化を図ることができた。
むつ市公園施設長寿命化計画の策定	策定（策定）	令和7年3月に策定し、10年間の計画期間内における施設の長寿命化のスケジュールについて、明確化することができた。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
スポーツ教室等実施回数	339回（300回）	各教室を概ね予定どおりに開催することができた。 ・市民スポーツ教室（ソフトバレー、バドミントン、ペタンク、テニス） ・ボウリング教室 ・プロによるバスケットボール教室 ・水泳教室 など 市に代わり特定非営利活動法人むつ市スポーツ協会が実施するスポーツ教室の他、指定管理施設において指定管理者が開催する教室等の実施により、計画値を上回る実績となった。
むつ市スポーツ施設整備計画の策定	策定（策定）	計画の策定に向けて、各施設の基本情報の把握、現況評価及び環境評価を実施した。 また、市民アンケートを実施し、その内容を取り入れた整備計画の素案を作成した。 令和6年4月1日から令和16年3月31日までを計画期間とする「むつ市スポーツ施設整備計画」を令和6年3月に策定した。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を
--	-----------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
スポーツ環境整備事業	各種スポーツ教室を実施し、市民がスポーツを行う機会を創出するとともに、トップアスリートに触れる機会を提供し、スポーツへの関心と技術の向上を図る。	2,532	1,340	657	657	657
		1,197	784	—	—	—
スポーツ推進審議会費	むつ市推進審議会委員は、国のスポーツ基本法第31条の規程に基づき設置され、市長の諮問に応じ、スポーツの推進に関する重要事項について調査審議することを職務とする。 令和5年度は、令和6～15年度を計画期間としたむつ市スポーツ施設整備計画の策定にあたり審議会を開催する。令和6年度以降は、必要に応じて審議会を開催する。	—	452	170	170	170
		—	190	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	計画値に挙げた項目について達成することができたことで、多くの市民にスポーツに触れ、楽しむ環境を提供できた。
			【今後の取組の方向性】
			今後も多くの市民にスポーツを楽しむ環境を提供できるよう、施設の計画的な整備に努めていきたい。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	21.7%	
		B	74.0%	
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

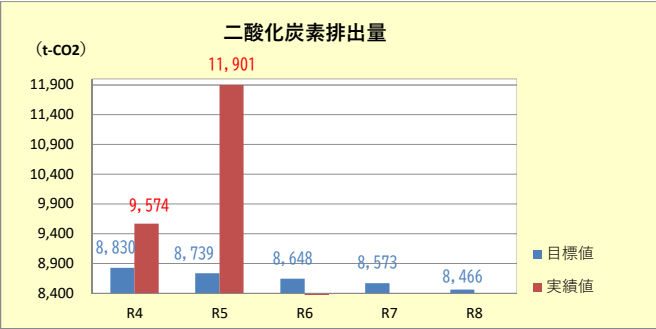
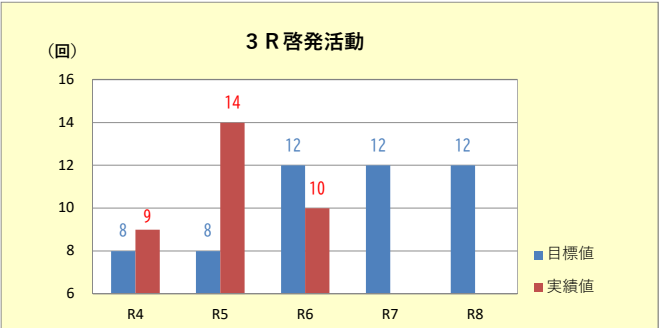
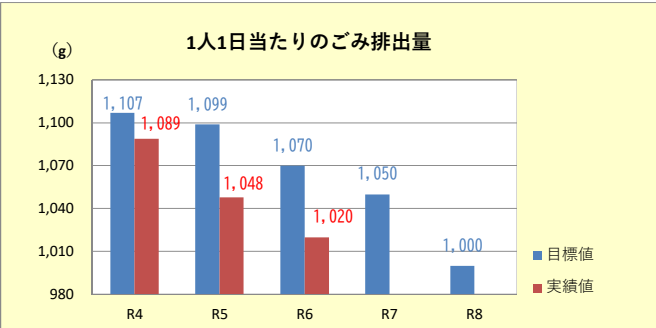
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(3)環境	市民生活部
施策内容	①循環型社会の推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1人1日当たりのごみ排出量	(g)	1,089	1,107	1,099	1,070	1,050	1,000
		直近平均値	1,089	1,048	1,020		
3R啓発活動	(回)	8	8	8	12	12	12
		直近平均値	9	14	10		
二酸化炭素排出量	(t-CO2)	9,103	8,830	8,739	8,648	8,573	8,466
		令和元年度	9,574	11,901	—		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
小型家電等回収啓発活動	9回(8回)	月1回行われるフリーマーケットイベント回収を年9回(7月、9月、10月を除く。)実施した。実施時には従来の廃棄物に係る啓発チラシの配布に加えて、ごみ減量や食品ロスに係るクイズを作成し、住民への啓発も併せて行うことができた。なお、衣類回収は受入先から受入停止の申し出があり、令和6年9月から休止しているが、再開に向けて協議中である。
出前講座(段ボールコンポスト、食品ロス等啓発活動)	1回(4回)	ごみ減量及び食品ロスの内容を含めた出前講座を、高校生30人程度を対象に実施した。受講後に行われた成果発表会においても、当市におけるごみ問題を分析し、ごみ減量やリサイクルに係る対応策などをまとめた成果物が生徒から発表され、廃棄物対策に対する意識を高まりが感じられた。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
小型家電等回収啓発活動	10回(8回)	5~3月までフリーマーケットイベント回収を月1回ずつ10回実施している。実施時には食品ロス等の啓発も併せて行うことができた。
出前講座(段ボールコンポスト、食品ロス等啓発活動)	4回(4回)	段ボールコンポスト及び食品ロスについて出前講座を1回実施している。コンポストの資機材の提供数は最終的に81個と前年度を超えて伸びている。利用者アンケートでも肯定的な回答をいただいている。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	11. 住み続けられるまちづくりを		12. つくる責任つかう責任
	13. 気候変動に具体的な対策を		

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度 予算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額	R7年度 予定額	R8年度 予定額
		決算額				
市指定ごみ袋関連事業	市指定ごみ袋の作成し、ごみの減量を図る。	56,826	70,853	56,784	56,826	56,784
		51,763	70,456	—	—	—
資源ごみ回収事業	ごみの減量化及びリサイクルの推進並びに容器包装リサイクル法への対応のため、資源ごみの集団回収を実施する。	15,722	15,726	15,729	15,729	15,729
		14,124	13,242	—	—	—

6. 施策の進捗状況

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	段ボールコンポスト資機材の提供は前年度に比べ減少したものの、フリーマーケットでごみ減量についての啓発活動を強化したことにより、取組が浸透しつつある。なお、令和6年度小型家電回収量は1,180kgで前年度比90kg増となり、廃油回収量は720kgで前年度比と同量で推移している。 【今後の取組の方向性】 引き続きフリーマーケットにおける小型家電回収とごみ減量に係る啓発活動や各種イベントへの参加、出前講座、広報むつ、LINE、ごみ収集アプリ、HP等を活用しながら、ごみ減量に向けた活動に取り組む。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.3%	
		B	87.0%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

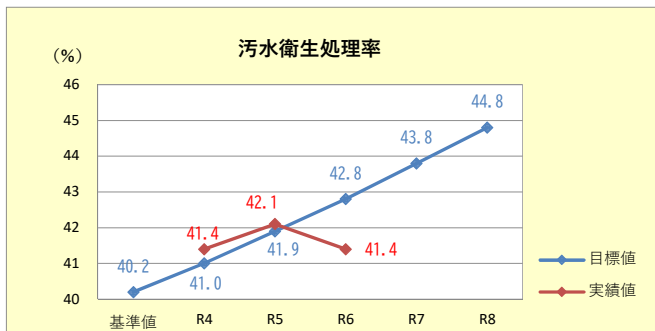
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(3)環境	都市整備部
施策内容	②自然環境の保全	上下水道局

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
親水護岸の整備延長	(m)	750	-	-	-	-	1,000
		令和3年度	R3完了済	⇒	⇒	⇒	⇒
汚水衛生処理率	(%)	40.2	41.0	41.9	42.8	43.8	44.8
		令和3年度	41.4	42.1	41.4		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
汚水衛生処理率	41.4%(42.8%)	下水道接続の案内年間300件、下水道接続及び合併処理浄化槽設置整備補助金の広報年間4回は順調にできた。(浄化槽補助22件、下水道接続70件)

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
汚水衛生処理率	42.1%(41.9%)	下水道接続の案内、合併処理浄化槽設置整備補助金の広報は順調にできた。(浄化槽補助14件、下水道接続48件)

4. 主な関連するSDGsのゴール

	6. 安全な水とトイレを世界中に		14. 海の豊かさを守ろう
--	------------------	--	---------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
下水道排水設備工事費補助金・浄化槽設置整備事業費補助金事業	汚水衛生処理率の向上のため、公共下水道事業で整備された区域の市民の皆様へ下水道接続の案内を行い、接続工事費に対して補助金を交付する。	18,474	21,552	26,478	26,478	26,478
	また、公共下水道事業及び漁業集落排水処理事業区域外で、汲取りトイレや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ設置替えを実施する個人に対して浄化槽設置整備補助金制度を広報する。	13,896	7,924	-	-	-

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	下水道と合併処理浄化槽を合わせた水洗化人口と当市人口が減少したことから目標値に届かなかったが、下水道接続人口（おつ処理区）（3-（4）-①指標）は、計画値2,616人に対し実績値2,907人と目標を達成できていることから、概ね良好と考える。
			【今後の取組の方向性】 補助金の拡充について周知するなど、今後も広報活動を継続することとて接続しやすい環境をつくり、汚水衛生処理率の向上を目指す。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
		A	0.0%	
		B	91.3%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

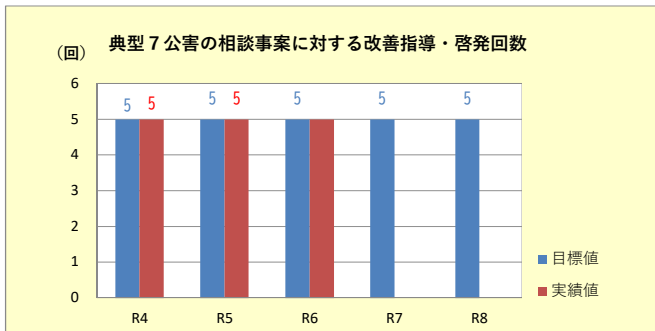
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(3)環境	市民生活部
施策内容	③公害対策の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
典型7公害の相談事案に対する改善指導・啓発回数	(回)	-	5	5	5	5	5
		令和3年度	5	5	5		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
典型7公害に係る啓発活動	5回（5回）	市内の河川に係る水質検査の結果をHPで公表したほか、航空機騒音の発生について周知した。 冬期に多発する油漏れ等についても、各関係機関と連携し対応した。引き続き啓発に努めるほか、各種法令に基づく手続きについて広報していく。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
典型7公害に係る啓発活動	5回（5回）	市内の河川に係る水質検査の結果をHPで公表したほか、航空機騒音の発生について周知してきた。 冬期に多発する油漏れ等についても、各関係機関と連携し対応を行った。引き続き啓発に努めるほか、各種法令にもとづく手続きについて広報していく。

4. 主な関連するSDGsのゴール

11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
公害対策費	公害の発生を未然に防止するため、環境に関する各種調査を実施し状況を把握する。 公害に係る苦情について、調査・測定等を行い解決を図る。	1,746	1,520	1,425	1,425	1,425
		1,051	1,038	—	—	—
騒音・振動対策事業	騒音・振動に係る公害の防止に努めるため、市内主要道路を交通量が一定と判断される区間に分け、それぞれの区間の道路状況や騒音状況を面的評価システムに入力・設定することによって面的評価を行い、環境基準の達成度を環境省へ報告するものである。専門的知識を要するため専門業者へ委託し実施する。	1,370	1,230	2,345	2,079	2,079
		771	756	—	—	—

6. 施策の進捗状況

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	情報提供及び苦情があった際には、関係機関と連携し現場確認を行い、正確な状況把握に努め、情報を記録し共有した。水質検査結果や騒音発生等の情報をHPにより周知した。
			【今後の取組の方向性】 市内河川の水質検査及び自動車騒音調査を継続して実施。市民から相談や苦情があった際には速やかに調査等を行い、他市の対応事例や関係機関とも連携を図りながら早期に解決ができるよう対応していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	60.9%	
		B	39.1%	
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

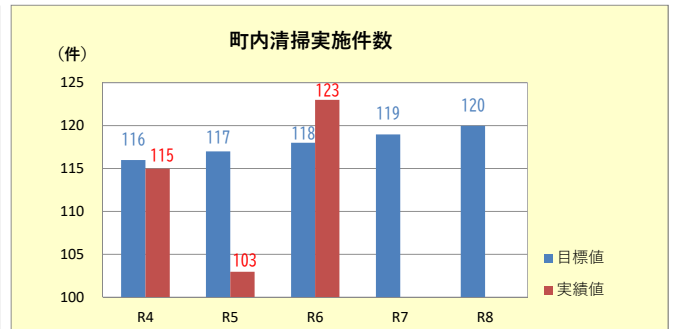
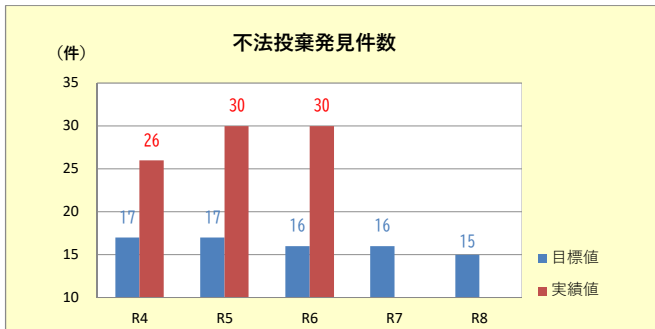
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(3)環境	市民生活部
施策内容	④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
不法投棄発見件数	(件)	18	17	17	16	16	15
		直近平均値	26	30	30		
町内清掃実施件数	(件)	113	116	117	118	119	120
		直近平均値	115	103	123		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
適切なおみ分別啓発活動	14回(12回)	啓発活動として、広報むつ、ごみ収集アプリ、むつ市公式SNS(LINE)において、適正なごみの処理などについての周知・啓発を合計14件実施。そのほか、毎月開催されるむつ来さまい館でのフリーマーケットにて、啓発チラシの配布を行った。また、不適正排出が確認されたごみ集積所へ啓発チラシを作成し掲示したところ、改善された事例も確認された。しかしながら、まだまだ不適正排出の確認は多く報告されており、更なる周知・啓発活動に努めていく。
不法投棄防止対策	4回(4回)	不法投棄防止看板は18枚設置、定期パトロール年4回、市で回収対応15件、土地所有者への連絡対応5件、その他相談に対する説明・指導を行い、不法投棄の被害拡大防止に努めている。 また、廃棄物対策関連の周知・啓発活動時には不法投棄の罰則規定も明記するなど、不法投棄は犯罪行為であることを周知し、事前防止策に努めている。しかしながら、不法投棄の相談は定期的に寄せられる案件であり、更なる周知・啓発活動に努めていく。

＜参考：令和5年度実績＞

内容	実績(目標)	達成状況報告
適切なおみ分別啓発活動	12回(12回)	広報むつに家庭に優しいごみ情報として適切なおみ分別の記事を掲載し、正しいごみ分別がごみ減量やリサイクルにつながることを伝えることができている。また、ごみ分別に係る出前講座を1回実施した。
不法投棄防止対策	6回(4回)	不法投棄現場に更に看板を設置し、結果26枚を設置した。 その後のパトロールや監視カメラの設置も継続して行っており、状況は改善している。

4. 主な関連するSDGsのゴール

11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を	

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
清掃関係事業（大掃除、じん芥処理）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条(清潔の保持)により、春・秋の大掃除を実施する。また、道路上で轢死した動物の死骸に対して、地域住民の生活衛生を保つため、迅速にじん芥処理を実施する。	2,402	1,410	1,212	1,172	1,172
		1,504	1,409	—	—	—
資源ごみ回収事業	ごみの減量化及びリサイクルの推進、並びに容器包装リサイクル法への対応のため、資源ごみの集団回収を実施する。	15,729	15,726	15,729	15,729	15,729
		14,124	13,242	—	—	—
ごみ収集運搬事業	むつ市内から排出される生活系ごみの収集及び運搬を委託する。	298,049	295,949	298,049	298,049	298,049
		281,925	281,024	—	—	—
不法投棄対策事業	不法投棄に伴う、撤去回収や防止・抑制を行う。	123	228	129	129	129
		120	228	—	—	—

6. 施策の進捗状況

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	各種活動は継続して取り組んでおり、問題についても対応を図っている。一方で諸問題の相談が減少傾向という状況ではないため、継続と更なる強化・対応策の検討が求められる。
			【今後の取組の方向性】 事後対策ではなく事前対策を重視した周知・啓発活動を行い、ごみ集積所への不適正排出、不法投棄件数が少なくなる取組を実践する。また、今年度はあおもり循環型社会推進協議会が主催する不法投棄撤去CP(予定)や前年度より開始したごみの自己搬入、粗大ごみのWeb予約の更なる周知も含め、市民の廃棄物行政への理解を促進する。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.3%	
		B	95.7%	
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

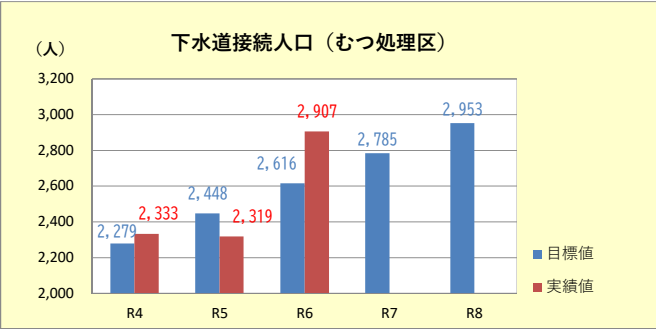
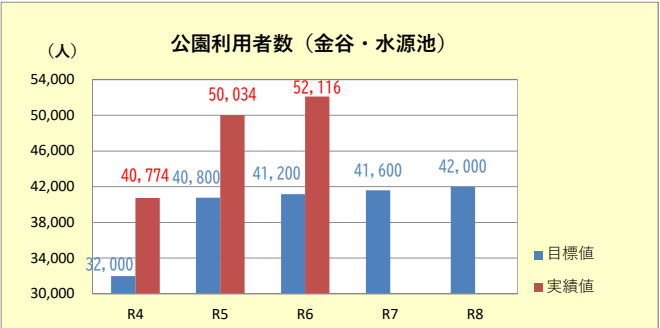
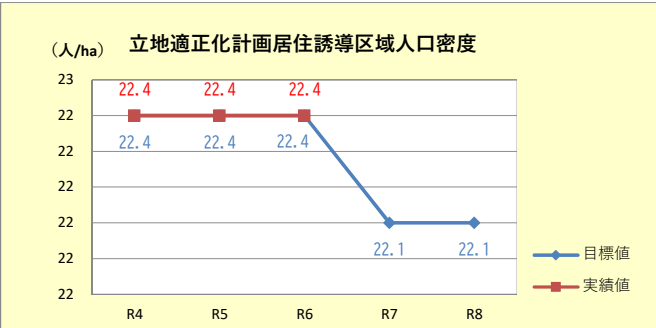
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	都市整備部
施策内容	①暮らしやすいまちの構築	上下水道局

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
立地適正化計画居住誘導区域人口密度	(人/ha)	22.1	22.4	22.4	22.4	22.1	22.1
		平成22年度	22.4	22.4	22.4		
公園利用者数(金谷・水源池)	(人)	28,010	32,000	40,800	41,200	41,600	42,000
		令和2年度	40,774	50,034	52,116		
下水道接続人口(むつ処理区)	(人)	2,111	2,279	2,448	2,616	2,785	2,953
		令和3年度	2,333	2,319	2,907		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
市道西町線歩道整備事業進捗率	44.7%(46.4%)	市道西町線における用地買収及び物件移転補償については、用地交渉と対象物件の移転に時間を要し、一部が次年度への繰越しとなっている。工事については、歩道整備(158m)が3月に完成した。
金谷都市拠点地区都市構造再編集集中支援事業進捗率	55.5%(69.9%)	金谷公園におけるWi-Fi設備整備が12月、広場の大階段整備が3月に完成した。広場整備工事については、電線埋設工事の資材納入に時間を要し、次年度に繰越しとなっている。
下水道接続人口(むつ処理区)	2,907人(2,616人)	下水道接続対象区域における人口減少が進む中、下水道の案内年間300件、広報年間4回により接続を適切に行う事ができた(むつ市下水道接続70件のうち、むつ処理区58件)。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
コンパクトシティ推進整備事業の実施箇所数	2箇所(2箇所)	市道新町昭和町線における歩行空間等の整備工事は12月に完成した。市道西町線の歩道整備に向けた用地調査業務は3月に完成し、用地買収も順調に進めることができた。
金谷都市拠点地区都市構造再編集集中支援事業進捗率	40.8%(45.1%)	用地買収及び物件移転補償については、対象物件の移転に時間を要し、次年度への繰越しとなっている。工事については、歩行空間整備が2月、駐車場整備及び広場整備が3月に完成した。
下水道接続人口(むつ処理区)	2,319人(2,448人)	下水道接続対象区域における人口減少が進む中において、下水道に係る広報活動・接続を適切に行う事ができた。(下水道接続48件)

4. 主な関連するSDGsのゴール

	6. 安全な水とトイレを世界中に		11. 住み続けられるまちづくりを
	14. 海の豊かさを守ろう		

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度 予算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額	R7年度 予定額	R8年度 予定額
		決算額				
コンパクトシティ推進整備事業 (昭和町地区交通安全対策事業)	コンパクトシティの推進にあたり、立地適正化計画で人口密度の維持を目標として定めた居住誘導区域において、スピード感をもって居住環境の支障となる都市基盤施設の整備を行うことで、官民連携による「安全・安心で暮らしやすく歩きたくなるまちづくり」を推進する。	120,393	145,100	81,687	100,000	100,000
		114,128	121,640	—	—	—
金谷都市拠点地区都市構造再編集中支援事業	本地区は、金谷公園を中心におつ総合病院、下北文化会館、小学校、屋内遊戯施設、大学キャンパス、認定こども園等が立地し、今後、むつ総合病院新病棟の整備が予定されていることから、官民連携による都市機能の高度化及び各施設の一体的空間の形成により、多様なにぎわいとコミュニティの創出を図る。また、低未利用地の有効活用による公園区域の拡充により、まちの回遊性向上と歩行者ネットワークの強化を図るとともに、総合病院と金谷公園の一体的な医療機能及び防災機能の強化により、安全・安心で暮らしやすいまちの実現を図る。(金谷公園の改修、歩行空間、防犯カメラ等の整備等)	219,296	212,340	196,006	89,000	91,200
		93,648	162,618	—	—	—
下水道排水設備工事費補助金事業	下水道接続人口向上のため、公共下水道事業で整備された区域の市民の皆様へ下水道接続の案内を行い、接続工事費に対して補助金(新築以外)を交付する。	6,100	6,000	10,500	10,500	10,500
		6,059	2,044	—	—	—

6. 施策の進捗状況

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①昭和町地区交通安全対策事業は、計画どおりに進められていることから、概ね良好と考える。 ②金谷都市拠点地区都市構造再編集中支援事業については、資材納入に時間を要し一部工事を次年度へ繰越したものの、事業全体としては計画どおりに進められていることから、概ね良好と考える。 ③下水道と合併処理浄化槽の整備を含んだ指標である汚水衛生処理率(3-(3)-②指標)は、計画値42.8%に対し実績値41.4%と目標を下回ったが、むつ処理区の下水道接続人口は目標を達成できていることから、概ね良好と考える。 【今後の取組の方向性】 ①②昭和町地区交通安全対策事業及び金谷都市拠点地区都市構造再編集中支援事業については、関係機関や地権者等との円滑な調整に努め、事業の進捗を図る。 ③下水道事業については、今後も継続して広報活動を続け、新たな整備を中止した影響を勘案しつつ、下水道接続人口の増加を目指す。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.4%	
		B	82.6%	
		C	13.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

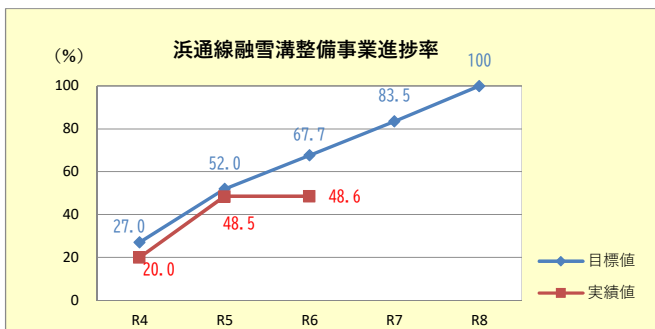
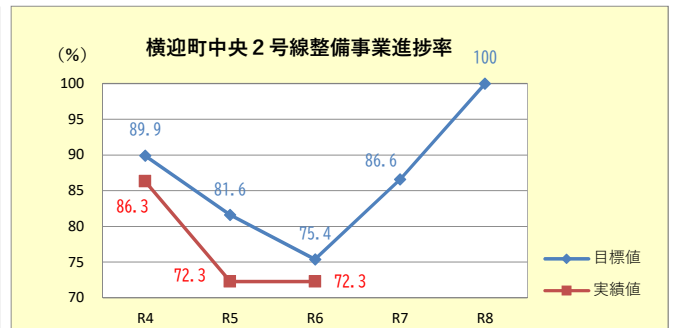
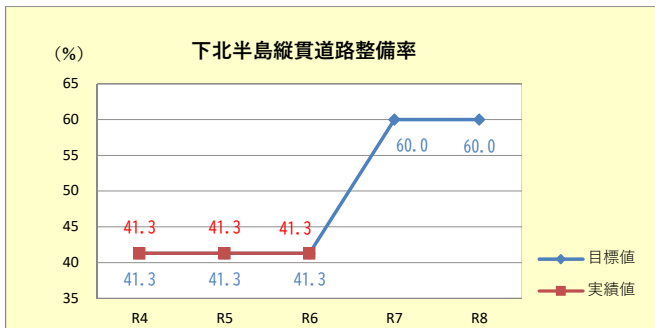
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	政策推進部
施策内容	②道路基盤の整備	都市整備部

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
下北半島縦貫道路整備率	(%)	39.0	41.3	41.3	41.3	60.0	60.0
		令和3年度	41.3	41.3	41.3		
横迎町中央2号線整備事業進捗率	(%)	77.6	89.9	81.6	75.4	86.6	100
		令和2年度	86.3	72.3	72.3		
浜通線融雪溝整備事業進捗率	(%)	17.4	27.0	52.0	67.7	83.5	100
		令和2年度	20.0	48.5	48.6		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
国・県に対する要望活動	4回(2回)	- 令和6年5月 財務省及び国土交通省に対し、下北半島における「国土強靱化」の推進について要望 - 令和6年9月 青森県知事に対し、下北半島縦貫道路の整備促進について要望 - 令和7年1月 国土交通省、県選出衆議院議員及び参議院議員に対し、下北半島縦貫道路の整備促進について要望 - 令和7年2月 国土交通省に対し、国道279号、国道338号及び下北半島縦貫道路の整備並びに国土強靱化の推進について要望
横迎町中央2号線整備事業進捗率	72.3%(75.4%)	用地買収箇所の物件移転について、年度内での移転が完了できなかった。
浜通線融雪溝整備事業進捗率	48.6%(67.7%)	浜通線融雪溝整備工事について、6月と7月に実施した入札が不調。設計内容や工事期間を見直し、再入札を実施した結果、契約締結が12月下旬となり、年度内は余裕期間制度を活用し準備工のみとし、融雪溝整備工事を行わなかったことから、計画値を下回る実績となった。なお、当該工事は令和7年度に繰越して実施することとしている。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
横迎町中央2号線整備事業進捗率	72.3%(81.6%)	用地買収箇所の物件移転について、年度内での移転が完了できなかったことに伴い、道路整備工事は施工延長を210mに縮小して実施した。
浜通線融雪溝整備事業進捗率	48.5%(52.0%)	ロードヒーティング部分施工による影響で繰越しとなったが、進捗については概ね良好である。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	8. 働きがいも経済成長も		11. 住み続けられるまちづくりを
---	---------------	---	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
横迎町中央2号線整備事業	都市計画道路横迎町中央2号線は、市街地東側の国道279号むつバイパスから県道下北停車場線までの区間全体延長3,570mで、田名部地区と中央地区を結ぶ路線として重要な道路である。 また、市役所やむつ警察署が立地する防災拠点地区において、国道338号バイパスの代替路線として重要な路線であり、防災機能の向上に必要不可欠な路線である。	92,477	197,491	180,000	180,000	—
		40,634	54,792	—	—	—
道路整備事業	浜通線、中荒川・中山線について、狭路であり、歩行者及び車両の安全確保のため、舗装打ち換え、側溝及び融雪溝を整備するもの。 また、工事完了から長期間経過したことで、舗装面が劣化し、修繕が必要となっているが、個別施設計画を策定しておらず、国庫補助を適応できない状態となっていることから、舗装長寿命化修繕計画を策定することで国庫補助の獲得をし、計画的な道路の維持管理を図るもの。	172,159	183,907	205,081	119,000	110,000
		56,771	176,242	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①計画を上回り要望活動を実施。下北半島縦貫道路については、要望活動が着実に実を結び、令和14年度(2032年度)までの供用開始目標が公表されている。 ②横迎町中央2号線整備事業については、物件移転の未了に伴い、道路整備を施行することができなかった。 ③浜通線融雪溝整備工事の2度の入札不調に伴い、令和6年度の工事は計画どおりとならなかったが、事業は確実に進捗している。
			【今後の取組の方向性】 ①下北半島縦貫道路の整備が目標どおりに進捗するよう、今後も引き続き要望活動が続ける。 ②横迎町中央2号線整備事業については、早期の物件移転に向けた交渉を継続することとし、物件移転の完了後に道路整備工事を進める。 ③浜通線融雪溝整備事業については、令和6年度繰越工事及び令和7年度工事の受注者と連携を図り、工期内の完了を目指す。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	78.3%	
		C	17.4%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

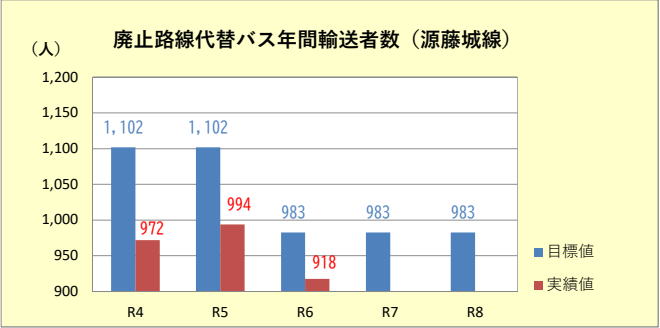
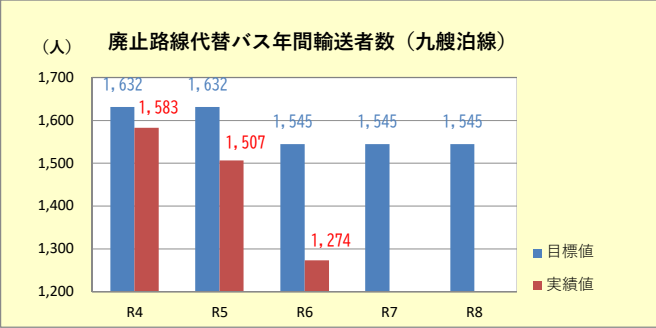
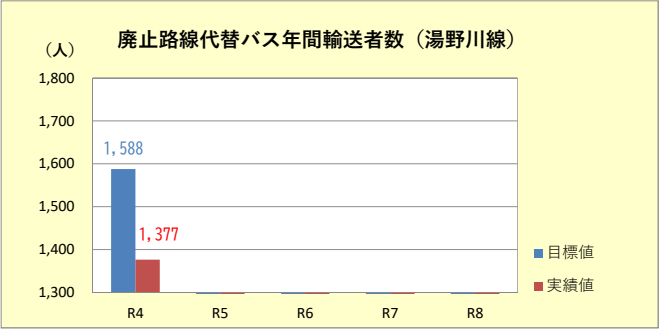
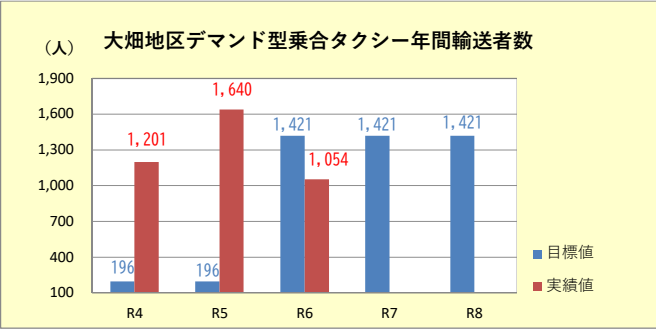
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	政策推進部
施策内容	③公共交通の確保	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
大畑地区デマンド型乗合タクシー年間輸送者数	(人)	196	196	196	1,421	1,421	1,421
		令和2年度	1,201	1,640	1,054		
廃止路線代替バス年間輸送者数（湯野川線）	(人)	1,588	1,588	-	-	-	-
		令和2年度	1,377	-	-	-	-
廃止路線代替バス年間輸送者数（九艘泊線）	(人)	1,632	1,632	1,632	1,545	1,545	1,545
		令和2年度	1,583	1,507	1,274		
廃止路線代替バス年間輸送者数（源藤城線）	(人)	1,102	1,102	1,102	983	983	983
		令和2年度	972	994	918		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
大畑～奥薬研地区デマンド型乗合タクシーにおける年間輸送者数	1,054人（1,421人）	タクシー事業者と定期的なヒアリングを実施し、現状について確認を行った。また、年間輸送者数の実績値が計画値を下回る結果となったが、これは薬研地区への観光・キャンプ目的の利用者が減少しているためである。一方で、年間輸送者数は基準値である令和2年度と比べると大幅に増加しており、これはおつ市高齢者無料乗車証（AGEHA）による日常利用者が増えたためである。
おつ市コミュニティタクシー（川内湯野川線）における年間利用者数	498人（399人）	令和5年度は市内複数のタクシー事業者にデマンドタクシーの実証運行を委託していたが、運転手不足等の影響により運行体制の継続が難しくなったことから、令和6年度より事業者協力型の自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）として事業を実施。月曜日は川内地域のタクシー事業者に運行を委託、火～金曜日はおつ市川内庁舎が運行を実施した。
廃止路線代替バス年間輸送者数（九艘泊線、源藤城線）	2,192人（2,528人）	バス事業者と定期的なヒアリングを実施し、現状について確認を行った。また、年間輸送者数の実績値が計画値を下回る結果となったが、これはバス事業者において、2024年問題による労働時間の制限等の影響により、令和6年度の運行を通年運行から平日運行に変更したためである。一方で、通院や買物に利用する平日の運行は維持できている。

《参考：令和5年度実績》		
内容	実績(目標)	達成状況報告
大畑～奥葉研地区デマンド型乗合タクシーにおける年間輸送者数	1,640人(196人)	タクシー事業者と定期的なヒアリングを実施。 地域住民の買い物利用のための利便性向上のため、令和6年度より、マエダストア大畑店の停留所を新設した。
川内～湯野川地区デマンド型乗合タクシー実証運行における年間輸送者数	399人(372人)	タクシー事業者の運転手不足問題等により、現行の運行体制の継続が難しいことから、令和6年度より、市の直営運行によるむつ市コミュニティタクシー(自家用有償旅客運送)を実施。
廃止路線代替バス年間輸送者数(九艘泊線、源藤城線)	2,501人(2,734人)	バス事業者と定期的なヒアリングを実施。 市の今後の公共交通の在り方について、検討を重ねた。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	11. 住み続けられるまちづくりを
---	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
デマンド型乗合タクシー運行事業	「葉研・小目名線」「川内～湯野川線」「川内町内線」の廃止に伴い、地域住民の交通手段を確保するため、タクシー会社へ委託し「デマンド型乗合タクシー」を運行している。	1,723	11,446	3,325	2,888	2,888
		1,723	5,806	—	—	—
廃止路線代替バス運行対策事業	路線バスが廃止された後において、地域内の廃止路線を運行するバス事業者に対し補助金を交付することにより、路線を維持するとともに地域住民の生活及び移動に必要な交通手段を確保する。	6,559	5,046	4,881	4,881	4,881
		6,543	5,046	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	大畑地区デマンド型乗合タクシー年間輸送者数及び脇野沢地区廃止路線代替バス年間輸送者数については、実績値が計画値を下回る結果となったが、地域における公共交通の維持・確保はできているため、概ね良好である。
			【今後の取組の方向性】 今後は、上記指標の事業に加え、下北地域公共交通計画に基づき、むつ市中心部における公共交通ネットワークの再編、交通DXの検討及び実施、運転手確保等に向けた支援等の各種施策を実施し、交通空白地の解消及びまちづくりの推進を目指す。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】 ・今後は民間企業の「お買い物バス」との関わり方も意識する必要があると思います。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	82.6%	
		C	8.8%	
		D	4.3%	
		-	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

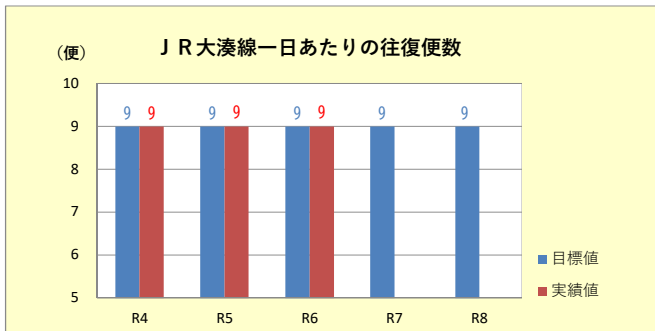
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	政策推進部
施策内容	④広域交通ネットワークの形成	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
JR大湊線一日あたりの往復便数	(便)	9	9	9	9	9	9
		令和2年度	9	9	9		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
国・県に対する要望活動	4回(2回)	- 令和6年5月 財務省及び国土交通省に対し、下北半島における「国土強靱化」の推進について要望 - 令和6年9月 青森県知事に対し、下北半島縦貫道路の整備促進について要望 - 令和7年1月 国土交通省、県選出衆議院議員及び参議院議員に対し、下北半島縦貫道路の整備促進について要望 - 令和7年2月 国土交通省に対し、国道279号、国道338号及び下北半島縦貫道路の整備並びに国土強靱化の推進について要望
JR大湊線活性化協議会によるOD調査(乗降調査)事業	1事業(1事業)	大湊線OD(乗降)調査事業 ・調査対象:JR大湊線の全便の利用者 ・対象区間:大湊、下北、赤川、金谷沢、近川、有畑、陸奥横浜、吹越、有戸、北野辺地、野辺地 ・調査方法:調査員がアンケート調査票を直接配布し回収 ・調査日及び回収票数:令和6年10月17日(木)604票、10月19日(土)589票 ・調査日及び回収票数:令和6年10月22日(火)405票、10月29日(火)122票 ※22日は1便、3~6便、8~9便を調査、29日は2便、7便を調査

《参考：令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
国・県に対する要望活動	2回(2回)	11月6日開催の青森県知事との意見交換会にて「下北半島縦貫道路の整備促進」「国道279号の整備促進及び国直轄移管」「国道338号の整備促進」について要望した。 また、2月14日には青森県選出国会議員及び国土交大臣政務官へ「国道279号及び下北半島縦貫道路の整備促進」について要望した。
国道279号風間浦バイパス概略計画PIプロジェクト地域懇談会	1回(1回)	9月12日、第3回地域懇談会を開催し、沿線地域住民との間で、全線バイパス案とする国道279号風間浦バイパス概略計画について合意形成が図られた。 3回にわたり実施した地域懇談会により概略ルート帯が選定され、バイパスの概略計画が決定したことについて、市民に対し広報12月号及びHPにて周知した。
JR大湊線活性化協議会による調査事業	1事業(1事業)	9月20日、令和5年度第1回JR大湊線活性化協議会総会を開催し、令和5年度においては、大湊線に関する基礎データの調査、収集及び分析に取り組むためのアンケート調査を実施することとした。 大湊線アンケート調査事業 ・10~12月:調査設計、アンケート作成・印刷・12月22日から:アンケート発送 ・1月31日まで:アンケートメチ・2月から:アンケート集計及び分析

4. 主な関連するSDGsのゴール

11 住み続けられるまちづくりを

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
下北総合開発期成同盟会・下北半島振興促進連絡協議会事業	国道279号及び国道338号は、当市にとって地域住民の命を守るために必要な重要な路線である。国道279号は、緊急時の避難道路あるいは支援物資の輸送道路としての役割を担う「下北半島縦貫道路」の完成と「むつ市から大間町までのバイパス化」、国道338号は狭隘箇所改良など、両路線ともに早期整備が望まれている。このことから、周辺自治体と協力して当該路線に関する要望活動を行い、早期整備につなげる。	400	888	10,519	10,631	10,631
		352	887	—	—	—
下北地域公共交通総合連携協議会負担金	下北圏域市町村が参画し、むつ市が事務局となっている「下北地域公共交通総合連携協議会」への負担金。当該協議会では平成29年度に「下北地域公共交通網形成計画」を策定し、計画に基づいた公共交通利用促進事業を実施するとともに観光その他の地域間交流の促進を図る。	200	200	2,560	200	200
		200	200	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	各取組において、計画どおり実施したことから、良好である。
			【今後の取組の方向性】 下北半島縦貫道路の整備が目標どおりに進捗するよう、今後も引き続き要望活動が続ける。 JR大湊線活性化協議会については、大湊線アンケート調査事業（令和5年度実施）及び大湊線OD調査事業（令和6年度実施）の結果を踏まえ、路線の利用促進や地域の活性化等の方策を検討・実施していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている － わからない	A	47.8%	
		B	39.1%	
		C	4.4%	
		D	4.4%	
		－	4.3%	

施策評価調書(令和6年度)

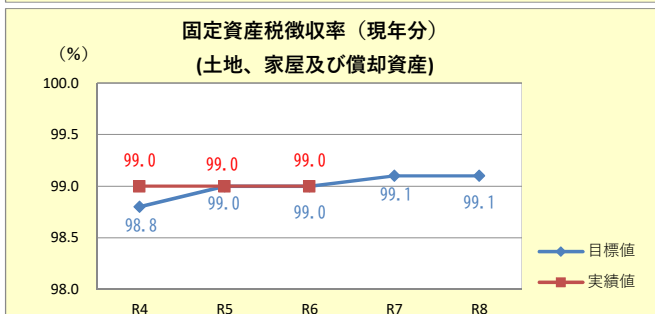
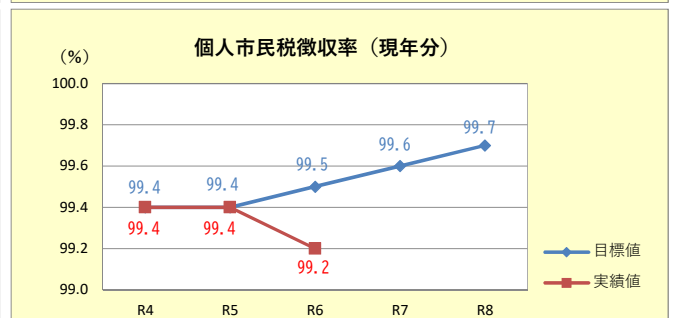
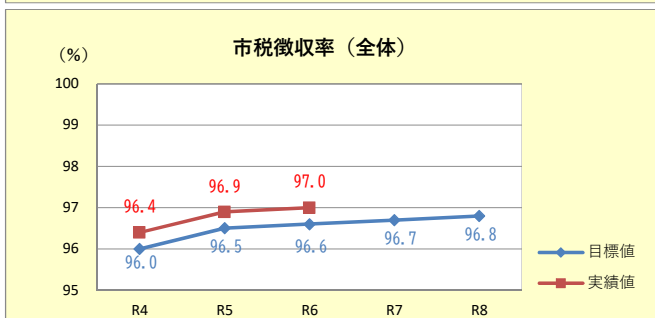
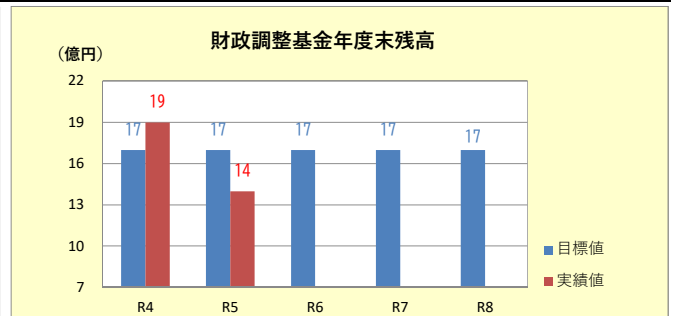
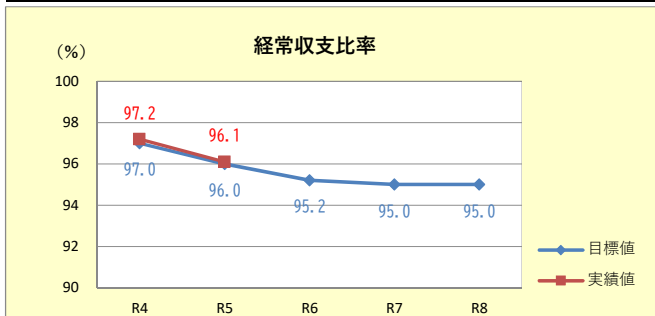
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	財務部
施策内容	①財政の健全化	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
経常収支比率	(%)	98.1	97.0	96.0	95.2	95.0	95.0
		令和2年度	97.2	96.1	—	—	—
財政調整基金年度末残高	(億円)	10	17以上	18以上	17以上	17以上	17以上
		令和2年度	19	14	—	—	—
市税徴収率(全体)	(%)	95.5	96.0	96.5	96.6	96.7	96.8
		令和2年度	96.4	96.9	97.0	—	—
個人市民税徴収率(現年分)	(%)	99.3	99.4	99.4	99.5	99.6	99.7
		令和2年度	99.4	99.4	99.2	—	—
固定資産税徴収率(現年分) (土地、家屋及び償却資産)	(%)	98.7	98.8	99.0	99.0	99.1	99.1
		令和2年度	99.0	99.0	99.0	—	—



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
財政調整基金残高の維持	10億円見込み (17億円以上)	給与改定等の影響により、残高は減少した。
市税徴収率(全体)	97.0%(96.6%)	夜間、休日の収納相談窓口の実績は、件数477件、収納税額1,240万円となっている。 差押件数は186件、差押額は2,641万円、充当税額は1,257万円となっている。 収入未済額の縮減として財産調査の結果、徴収困難と判断されるものに対して、適切に滞納処分停止及び不納欠損を行った。(市税不納欠損額2,563万円) 現年度分催告を10月、12月、3月に各1回実施。(累計3回)
個人市民税徴収率(現年)	99.2%(99.5%)	
固定資産税徴収率(現年)	99.0%(99.0%)	
(土地、家屋及び償却資産)		

《参考：令和5年度実績》		
内容	実績(目標)	達成状況報告
財政調整基金残高の維持	17億円見込み (17億円以上)	令和6年3月補正後の残高は約14億円であるが、執行残等の精査により、計画値は維持できる見込みである。
市税徴収率(全体)	96.9%(96.5%)	夜間・休日の収納相談窓口の実績は、件数560件、収納税額1,573万円となっている。差押件数は223件、差押額は2,787万円、充当税額は1,366万円となっている。 収入未済額の縮減策として、財産調査の結果により徴収困難と判断されるものに対して、適切に滞納処分停止及び不能欠損を行った。(市税不能欠損額2,271万円) 口座振替依頼延件数は63,031件、スマホ及びバーコード決済の利用件数は2,777件となっている。
個人市民税徴収率(現年)	99.3%(99.4%)	
固定資産税徴収率(現年) (土地、家屋及び償却資産)	99.0%(99.0%)	

4. 主な関連するSDGsのゴール

	17. パートナリシップで目標を達成しよう
---	-----------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
財政の健全化(「むつ総合病院債務負担行為履行」のみ事業費計上)	新たな財源の確保や有利な起債の活用等、歳入確保に努めつつ、歳入に見合った予算編成と適切な執行管理により、普通建設事業実施に伴う公債費の増加やむつ総合病院に対する債務負担行為の履行等、財政運営上の諸課題に対応しつつ、財政運営の健全化と安定化を図る。	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
		140,000	140,000	—	—	—
市税徴収率の向上	市税は、行政運営を行うため必要かつ極めて重要な財源であることから、納税者の理解の下、「公平かつ適正な課税」を念頭におきつつ「効果的で効果的な徴収対策」を講じ、安定的に確保する必要があるため、徴収強化のほか、口座振替の推進、コンビニ収納に係る税目の拡充等、納税機会の拡大を意図した税収確保対策を展開し、市税全体の徴収率の底上げを図る。	0	0	0	0	0
		0	0	—	—	—

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	財政調整基金について、目標値を下回る見込みである。 市税に関しては個人市民税現年分の徴収率は下がっているものの、市税全体では0.1ポイント増となっているため、徴収対策の効果によるものと評価している。
			【今後の取組の方向性】 引き続き財政の健全化に向け、事業のスクラップアンドビルドに努める。市税について、適正な課税事務及び徴収率向上に向けた徴収事務を進めるよう努めていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】 ・令和6年度の財政調整基金の目標値が17億円であるのに対して、令和5年度の残高は約14億円となっています。現時点で目標値を達成できる見込みはあるのでしょうか。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	95.7%	
		C	4.3%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

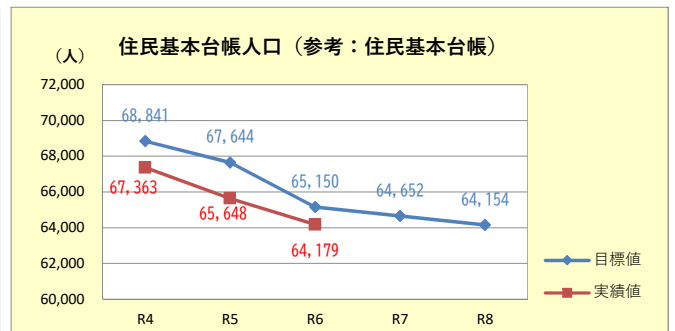
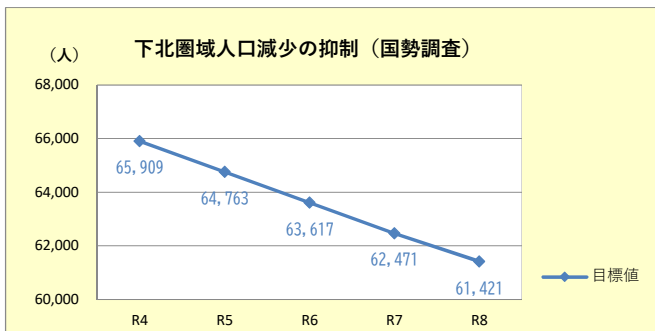
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	政策推進部
施策内容	②広域行政の推進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
下北圏域人口減少の抑制（国勢調査）	（人）	68,200	65,909	64,763	63,617	62,471	61,421
		令和2年度	—	—	—		
住民基本台帳人口（参考：住民基本台帳）	（人）	71,234	68,841	67,644	65,150	64,652	64,154
		令和2年度	67,363	65,648	64,179		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
共生ビジョン懇談会でのB評価（やや効果がある）以上の事業割合	81.9% （50%：全26事業）	第2次下北圏域定住自立圏共生ビジョンにある全26事業について圏域全体で取り組み、効率的で質の高い行政運営に近づけることができた。 また、担当課長会議及び下北圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会における取組状況の評価や市町村長会議における外部評価の結果を踏まえた協議を行い、第3次下北圏域定住自立圏共生ビジョンの策定を行った。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
共生ビジョン懇談会でのB評価（やや効果がある）以上の事業割合	69% （50%：全26事業）	共生ビジョン懇談会委員から各事業について評価いただき、B評価以上が全体の69%であった。 また、市町村長会議を開催し、第3次共生ビジョンの策定方針について協議した。

4. 主な関連するSDGsのゴール

11 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリシップで目標を達成しよう
------------------	-----------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
下北圏域定住自立圏推進事業	下北圏域においては、平成27年に「定住自立圏共生ビジョン」を策定し、定住自立圏の取組を推進している。また、下北圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を活用したPDCAサイクルを運用し、効果的な事業実施を図る。	538	594	902	681	681
		238	296	-	-	-

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	年次目標を大幅に上回る結果となったが人口減少は続いているため、概ね良好である。 ただし、前々年度や前年度と比べると人口減少は抑制されており、効果は現れているため、継続して事業を行っていく。
			【今後の取組の方向性】
			令和6年度に策定した第3次下北圏域定住自立圏共生ビジョンに掲げる目標達成に向け、昨年度までの取組状況を参考に、担当課長会議、共生ビジョン懇談会、市町村長会議を開催し、事業やKPIの見直しを行うことでさらに効果的な事業実施を図る。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	87.0%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	4.3%	

施策評価調書（令和6年度）

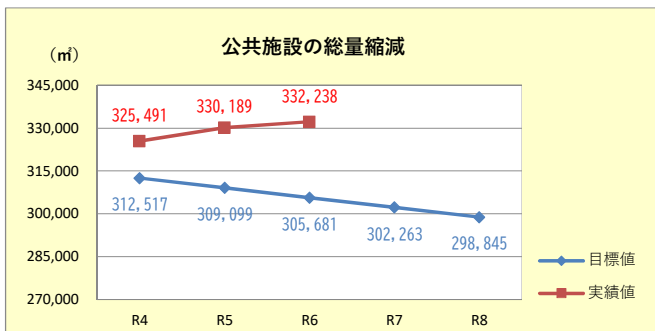
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 高齢者福祉・医療・暮らしの充実	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	財務部
施策内容	③公共施設マネジメントの推進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
公共施設の総量縮減	(㎡)	315,935.23	312,517	309,099	305,681	302,263	298,845
		令和2年度	325,491	330,189	332,238		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
未利用施設の利活用	0（1提案）	令和6年度の実績はゼロで目標を下回る結果となった。老朽化により利活用できないと思われる施設も対象となっていることから、令和7年度に対象施設を見直し、引き続き未利用財産の有効活用と市有施設の総量削減に努める。
次年度解体・改修（長寿命化）施設の選定	2施設（3施設）	10月に財政課及び施設経営課の担当者で、解体、改修等を希望する施設の現地調査を行い、令和7年度以降の予算化に向けて、田名部カトリック幼稚園のほか、海と森ふれあい体験館等の現地調査を行い、解体及び改修に係る予算を確保できた。
施設の解体	4施設（2施設）	令和6年度は、むつ市宮桜木町団地のほか、湯野川温泉濃々園、旧脇野沢野営場、大湊地区のJRからの寄附建物の計4施設の解体工事を行った。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
未利用施設の利活用	0（1提案）	令和4年度に採択された提案について、今年度、対象施設の譲渡を行い未利用財産の有効活用と市有施設327.90㎡の総量削減につながった。 令和5年度の提案実績はゼロで目標を下回る結果となった。次年度以降、対象施設の見直し等も行いながら、引き続き未利用財産の有効活用と市有施設の総量削減に努める。
次年度解体・改修（長寿命化）施設の選定	3施設（3施設）	10月に21施設の現地調査を行い、市宮桜木町市営住宅4棟、湯野川濃々園及び脇野沢野営場の3施設について、解体及び改修に係る令和6年度予算を確保できた。
施設の解体	4施設（2施設）	令和5年度は、松川及び宿野部の2市営住宅団地のほか、旧宇田運動公園及び旧関根中学校の一部について解体工事を行った。

4. 主な関連するSDGsのゴール

11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
------------------	---------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
財産管理事業 ・市有財産利活用民間提案制度 ・解体・改修施設選定に向けた現地調査 ・施設の解体	人口減少や高齢化が進行する中においても、安全・安心で快適な公共施設を提供するため、これらの適切な配置と計画的な維持管理等、統括的な公共施設マネジメントを行うほか、市有財産の維持管理や各種保険に関する事務を行う。	10,852	11,151	11,289	11,289	11,289
		10,464	10,481	-	-	-

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	未利用財産の利活用実績はなかったものの、市営住宅の4施設の解体工事を行った。新たに防災食育センター及び宇田児童公園トイレの新築、教育支援センターの寄附等により公共施設の総量は増加したが、取組状況としては概ね良好と判断した。
			【今後の取組の方向性】 市有財産の処分を行うほか、解体・改修・修繕等については、予算状況によるところが大きい。関係各課と現地調査を行うことにより、緊急度合など優先順位をつけて選定・対応していけるように取り組む。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
		A	0.0%	
		B	87.0%	
		C	13.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

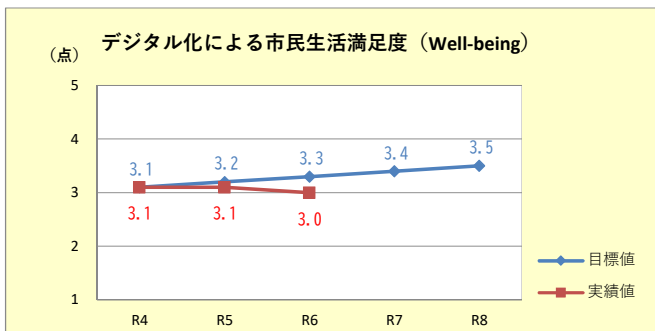
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. デジタル化の推進	関係部局
施策項目	(I) デジタル実装	総務部
施策内容	① 地域DXの実践	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
デジタル化による市民生活満足度（Well-being）	（点）	-	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5
		-	3.1	3.1	3.0		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	目標	達成状況報告
マイナンバーカードを活用した母子健康情報のデジタル化実装健診数	3健診（5健診）	子ども家庭庁の実証事業への参加により、3か月・10か月・1歳6か月・2歳・3歳児健診において、市民がマイナポータルを活用したデジタル問診票の提出を行う取組をした。現在は対象者を特定したプレ先行実施中で10か月・1歳6か月・2歳児健診が稼働中だが、システム改修を待って全ての健診でプレ先行実施を行い、全市民を対象としていく予定
マイナンバーカードを活用した予防接種情報のデジタル化実装接種項目数	15種類（10種類）	厚生労働省の実証事業への参加により予防接種A類12種類、B類3種類の予防接種について、市民がマイナポータルを活用したデジタル予診票の提出を行う取組をした。現在は対象者を特定したプレ先行実施段階であるが、アプリベンダを変更し、全市民を対象とした実施を予定

《参考：令和5年度実績》

内容	年次目標	達成状況報告
住民パスポートアプリ構築	1システム構築（1システム構築）	3月25日におつ市住民パスポートアプリ「むちゅば」をリリースした。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
--	--------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
医療DX実証事業	むつ市の子育て応援として、令和5年4月から始まった18歳までの医療費無償化は、対象者6,200人を数え、その医療受給者証の発行をスマホで行うことと、これまで75歳以上を対象として行ってきた路線バス・デマンドタクシー無償化の仕組みをスマホに置き換えるため、マイナンバーカードをxIDアプリと組み合わせた「住民パスポート」に取り込み新たなサービスを展開する。	-	-	0	0	0
		-	-	-	-	-

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	実証事業を行う中で、アプリ上に表示される画面の課題や医療現場・集団検診会場でのオペレーションの課題はあるものの、計画値に対しては、概ね良好と評価している。
			【今後の取組の方向性】 実証事業に関わる各ステークスホルダーとの調整を密にし、市民がデジタル化による恩恵が受けられるよう努めていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	4.4%	
		B	91.3%	
		C	4.3%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

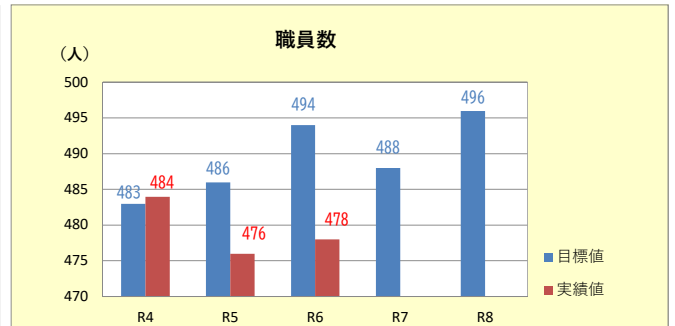
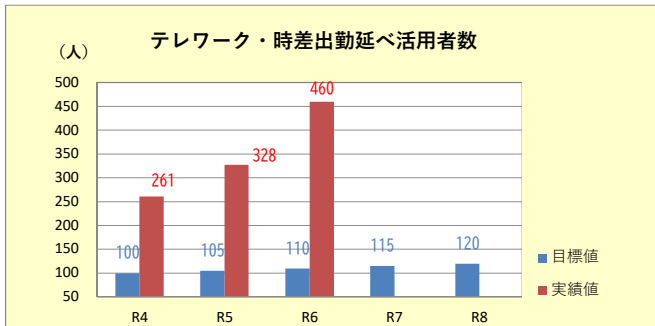
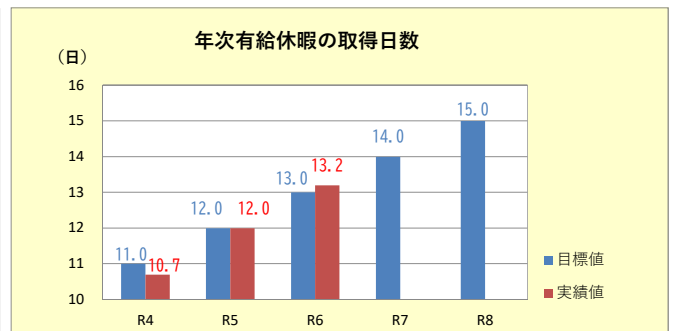
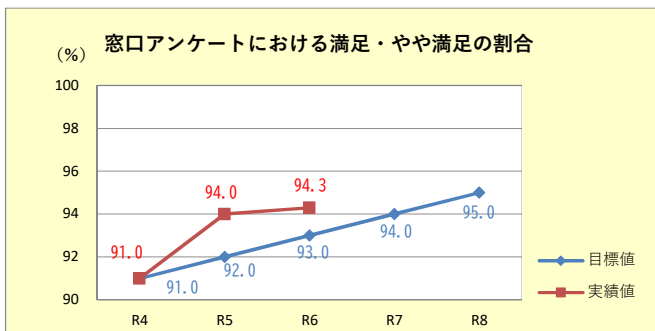
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. デジタル化の推進	関係部局
施策項目	(1) デジタル実装	総務部
施策内容	② 自治体DXによる効率的な行政運営	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
窓口アンケートにおける満足・やや満足の割合	（％）	90.4	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0
		令和2年度	91.0	94.0	94.3		
年次有給休暇の取得日数	（日）	10.8	11.0	12.0	13.0	14.0	15.0
		令和元年度	10.7	12.0	13.2		
テレワーク・時差出勤延べ活用者数	（人）	-	100	105	110	115	120
		-	261	328	460		
職員数	（人）	502	483	486	494	488	496
		令和3年度	484	476	478		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
窓口アンケートにおける満足・やや満足の割合	94.3%（93.0%）	令和7年1月に実施した窓口アンケートの結果は「満足」及び「やや満足」の割合が前年度から0.3ポイント増の94.3%となり、計画値を上回っている。職員の丁寧な接遇などにより、質の高い市民サービスを提供できているものと考えられる。
テレワーク・時差出勤延べ活用者数	460人（110人）	延べ活用者数は、テレワークが44人、時差出勤が416人の合計460人であり、いずれの制度も職員個々の実情に応じて活用されており、職員の柔軟な働き方の実現に寄与している。
LoGoフォームの活用数	622手続（480手続）	R6.4開始時点から約200手続が令和6年度中に公開され、多くの行政手続がオンライン化されている。

《参考：令和5年度実績》		
内容	実績(目標)	達成状況報告
窓口アンケートにおける満足・やや満足の割合	94.0%(92.0%)	令和6年1月に実施した窓口アンケートの結果は、「満足」及び「やや満足」の割合が94.0%となり、計画値を上回った。
テレワーク・時差出勤延べ活用者数	328人(105人)	通年での延べ活用者数は、テレワーク20人、時差出勤308人の合計328人であった。年間を通して活用され、職員の柔軟な働き方の実現に寄与している。
LoGoフォームの活用数	443手続(250手続)	(R5)341件のフォームが作成され、7月以降は毎月100件以上のフォームが稼働。回答件数でも約19,000件/年の回答が集まるなど非常に業務効率化に寄与している。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	8. 働きがいも経済成長も
---	---------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
業務効率化推進事業	RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)等の導入により、業務自動化による効率的な処理及び職員の負担軽減を図る。 また、LoGoフォームの利用により、インターネットを介した手続方法への転換を図り、市民等の利便性の向上と業務の効率化を一体的に進める。	11,257	9,051	7,305	7,305	7,305
		10,227	7,305	-	-	-

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な内部評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	年間を通じた取組状況の計画値に対し大きく上回る実績値となり、良好であると評価できる。
			【今後の取組の方向性】 人員が減っても業務が滞ることの無いように、業務効率化に資するツールを活用することで効率的な行政運営を目指していきたい。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

令和6年度施策内容 の進捗状況 (総合的な外部評価)	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	74.0%	
		B	21.7%	
		C	4.3%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

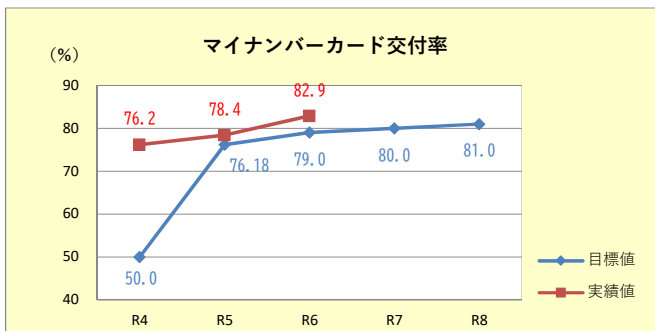
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. デジタル化の推進	関係部局
施策項目	(1) デジタル実装	総務部
施策内容	③ 情報ネットワークの利活用の推進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
マイナンバーカード交付率	（％）	36.7	50.0	76.18	79.0	80.0	81.0
		令和3年度	76.2	78.4	82.9		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
むつ市公式アプリ「むちゅぱ」登録者数	2,637人（1,000人）	令和6年3月末に公開後、1年で2,637人にインストールされており、自治体が提供するネイティブアプリとして平均的といわれる「自治体人口の5%程度」のインストール数に値しており、実績値としては概ね良好である。 一方で、マイナンバーカードによる本人認証まで進んでいる人が約150人程度に留まっており、継続的な周知活動が必要である。
マイナンバーカード申請等支援業務委託事業での対応件数	2,890件（500件）	業務委託による対応件数の令和6年度実績は2,890件と計画値を大幅に上回った。内訳はマイナンバーカードの申請が1,478件、マイナポータル登録が660件、健康保険証登録が1,088件、公金受取口座の登録が54件となっている。今後も普及促進に向け周知活動を継続していきたい。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
住民パスポートアプリでのマイナンバーカードを活用したサービス数	3件（2件）	むつ市住民パスポートアプリ「むちゅぱ」に「医療費受給資格証の表示」、「高齢者無料乗車証（AGEHA）の表示」のほか、協賛店舗でサービスが受けられる「むつ市民カード」機能を実装した。
コンビニ交付の周知活動	4回以上（4回）	サービス開始後も窓口混雑緩和のため、HP、ポスター、市公式LINE、広報むつにて利用促進を随時行っている。 コンビニ交付対応の証明書交付実績（5月～3月まで） ⇒ 全体の12.32%（市民課） ・コンビニ：5,027通 ・窓口：35,780通 ⇒ 全体の2.9%（税務課） ・コンビニ： 341通 ・窓口：11,270通

4. 主な関連するSDGsのゴール

	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
--	--------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
むつ市住民パスポートで暮らし快適事業	マイナンバーカードをアプリで読み取ることで利用者がむつ市民であることを確認できる機能を活用し、医療費受給資格証のデジタル化や高齢者無料バス乗車証AGEHAのデジタル化など個人を特定したサービス提供をしている。	—	170,259	24,668	24,668	24,668
	このほか、個人認証を経たむつ市民だけが表示できるコンテンツ「むつ市民カード」など市民生活をデジタルの力を利用した事業を実施。将来的にはさらなるサービス拡張を目指す。令和6年度にはシステム保守と利用拡大に向けた事業展開を図る。	—	153,278	—	—	—
マイナンバーカード対応事業	マイナンバーカードの申請支援、交付、マイナポイントの申請支援により、マイナンバーカードの普及促進及び円滑な交付を行う。	75,929	59,899	34,234	34,234	34,234
		61,481	37,405	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	マイナンバーカードの交付率が達成できていることから、良好であると評価する。
			【今後の取組の方向性】 公的個人認証による行政手続きができるサービスを増やしていき、24時間いつでも利用可能なオンライン市役所を目指す。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	60.9%	
		B	26.1%	
		C	13.0%	
		D	0.0%	
		—	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

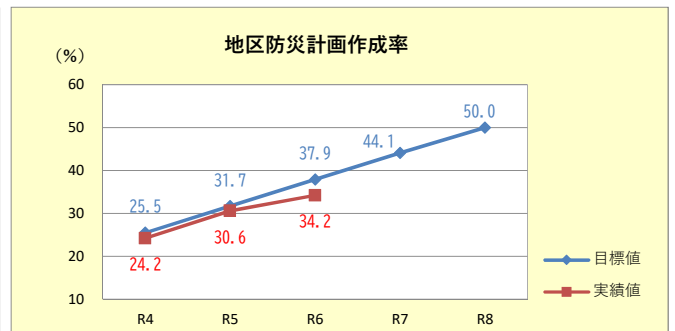
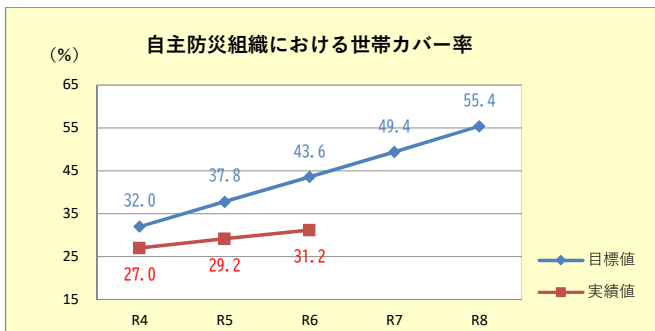
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	総務部
施策内容	①防災対策の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
自主防災組織における世帯カバー率	(%)	26.2	32.0	37.8	43.6	49.4	55.4
		令和2年度	27.0	29.2	31.2		
地区防災計画作成率	(%)	19.3	25.5	31.7	37.9	44.1	50.0
		令和2年度	24.2	30.6	34.2		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
自主防災組織の新規設立	2組織(5組織)	市からの呼びかけにより令和6年度は新たに2組織が設立され、自主防災組織は合計38組織となった。
地区防災計画の新規作成	2組織(5組織)	市からの呼びかけにより令和6年度は新たに2組織が計画を作成し、地区防災計画は合計13組織分となった。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
自主防災組織の新規設立	3組織(5組織)	市からの呼びかけにより令和5年度は3組織設立となり、自主防災組織は合計36組織となった。
地区防災計画の新規作成	3組織(5組織)	市からの呼びかけにより令和5年度は3組織が計画を作成し、地区防災計画は合計36組織分となった。

4. 主な関連するSDGsのゴール

11 住み続けられるまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを
------------------	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
消防団・自主防災組織と連携した地域防災力向上推進事業	自主防災組織率の低迷から、広報紙やホームページ等、あらゆる媒体を通じて、市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の必要性を周知する。 また、自主防災組織の設立時における資機材の給付や自主的な防災活動のための備蓄品提供を実施するとともに、出前講座等で自助共助の必要性を説明し、自主防災組織の設立を促していく。	1,240	1,244	1,244	1,244	1,244
		403	996	—	—	—
地域防災計画関連費	災害対策基本法等に基づき、各種災害における防災に関し必要な体制の確立及びとるべき措置を定める「むつ市地域防災計画」各編の修正等を行うための「むつ市防災会議」を開催、運営し、その内容を協議、検討、決定する。	417	25,943	278	278	278
		0	19,051	—	—	—
防災士育成事業	地域の防災リーダーとして大きな役割を担う防災士の拡充・育成を推進することで、地域の防災力・減災力の向上を図っていくことを目的とし、防災士資格取得費用を助成する。	—	—	1,400	1,400	1,400
		—	—	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	令和6年度は自主防災組織が2組織設立、地区防災計画が2組織分の作成となり、達成率は40%と当初の計画には及ばなかったものの、KPIでは自主防災組織における世帯カバー率の達成率は71.6%、地区防災計画作成率の達成率は90.2%となっている。
			【今後の取組の方向性】
			自主防災組織については、防災対策資機材及び防災活動支援品等の助成制度と併せた広報はもとより、結成に関する積極的な呼び掛けを行っていく。また、地区防災計画の策定には、ガイドラインの提示のみならず地区特性に沿った計画となるよう、住民に寄り添った支援を行っていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	43.5%	
		C	56.5%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

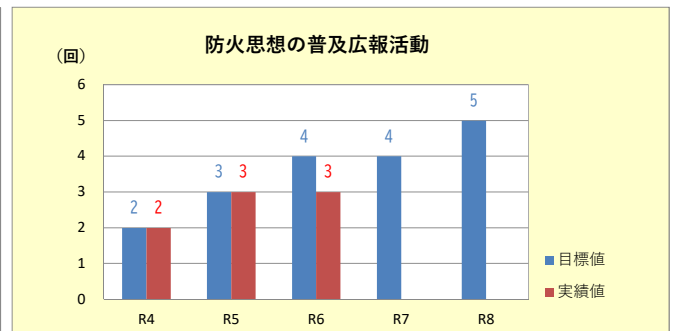
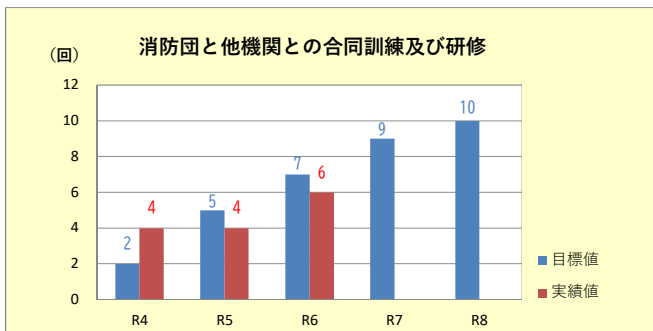
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	総務部
施策内容	②消防・救急体制の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
消防団と他機関との合同訓練及び研修	(回)	2	2	5	7	9	10
		令和2年度	4	4	6		
防火思想の普及広報活動	(回)	0	2	3	4	4	5
		令和2年度	2	3	3		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績（目標）	達成状況報告
消防団と他機関との合同訓練及び研修	6回（7回）	むつ、川内、大畑、脇野沢の各地区において、春・秋の火災予防運動時に火災を想定した常備消防と消防団（4地区延べ60分団が参加）の合同訓練を実施し、火災対応時の連携強化を図れた。 このほか、文化財防火デーにおける火災防ぎょ訓練を実施するなど、常備消防と消防団との連携強化を図ることができた。
防火思想の普及広報活動	3回（4回）	むつ、川内、大畑、脇野沢の各地区において、春・秋の火災予防運動時に常備消防と消防団（4地区全分団車両が参加）の防火パレードを実施した。 また、しもきた克雪ドームで行われた「MGF2024」に消防ブースを出展し、住宅用火災警報器の設置・交換及び消防団員入団促進等の広報活動を行った。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績（目標）	達成状況報告
消防団と他機関との合同訓練及び研修	4回（5回）	むつ、大畑の各地区において、春の火災予防運動時に火災を想定した常備消防と消防団（2地区計16分団が参加）の合同訓練を実施し、火災対応時の連携強化を図れた。 むつ、川内、大畑、脇野沢の各地区において、秋の火災予防運動時に火災を想定した常備消防と消防団（4地区計35分団が参加）の合同訓練を実施し、火災対応時の連携強化を図れた。 このほか川内地区では、消防団、自主防災組織、地域住民そして学校との合同避難訓練を実施するなど、津波避難対応時における各機関の連携強化を図れた。
防火思想の普及広報活動	3回（3回）	むつ、川内、大畑、脇野沢の各地区において、春の火災予防運動時に常備消防と消防団（4地区全分団車両が参加）の防火パレードを実施した。地域の防火思想の普及を進めており、今後も継続していく。 むつ、川内、大畑、脇野沢の各地区において、秋の火災予防運動時に常備消防と消防団（4地区全分団車両が参加）の防火パレードを実施した。 また、しもきた克雪ドームで行われた「MGF2023」に消防ブースを出展し、住宅用火災警報器の設置・交換及び消防団員入団促進等の広報活動を行った。

4. 主な関連するSDGsのゴール

11 住み続けられるまちづくりを

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
消防団協力事業	むつ市消防団に積極的に協力している事業所等を「消防団協力事業所」として認定し表示証を交付する事業と、むつ市消防団員に対し飲食店等から「消防団応援の店」として各種サービスを提供する事業とをあわせて、消防団活動への理解、入団促進を図り、地域防災力を充実強化する。	44	17	95	43	42
		24	0	—	—	—
むつ市消防ビジョン懇話会運営費	現在の消防力の維持を前提に、市の常備消防及び非常備消防における持続可能な消防・救急体制の確立を目的とした「むつ市消防ビジョン」の計画内容に変更が生じた場合に開催する「むつ市消防ビジョン懇話会」と、「むつ市消防ビジョン」を推進するための調査、検討、検証を行う「むつ市消防ビジョン推進委員会」を開催、運営する。	113	531	112	112	112
		29	56	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	火災対応訓練のみならず、風水害や地震・津波災害発生時など、多様化する災害に対応するため、町内会や自主防災組織等との連携強化を目的とした各種合同訓練を実施していく必要がある。
			【今後の取組の方向性】 消防施設、設備の計画的な整備と併せて、常備消防職員の適正配置、消防団の集約や再編、車両の更新計画など「むつ市消防ビジョン推進委員会」の協議の中で取り組んでいき、20年後も持続可能な消防体制の今後のあり方について、引き続き検討を進めていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	0.0%	
		B	91.3%	
		C	8.7%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書(令和6年度)

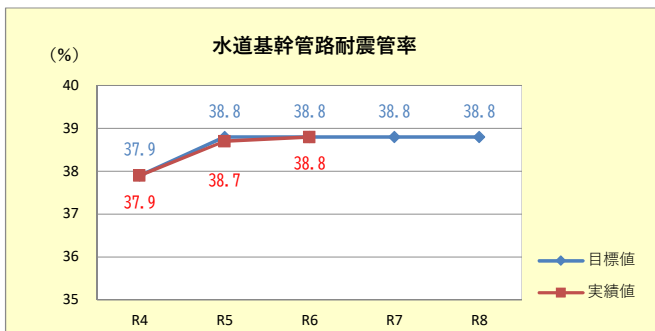
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	上下水道局
施策内容	③水道の安全・安定供給の確保	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
水道基幹管路耐震管率	(%)	36.2	37.9	38.8	38.8	38.8	38.8
		令和2年度	37.9	38.7	38.8		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
水道基幹管路耐震管率	38.8%(38.8%)	令和6年度に新配水池建設予定地の用地買収は完了している。 水道基幹管路耐震管率も目標値である38.8%に到達した。 また、配水管整備事業については、市土木工事に伴う1件の切廻し工事を実施完了している。

《参考:令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
水道基幹管路耐震管率	38.7%(38.8%)	発注状況(3月末契約額ベース) 緊急時給水拠点確保等事業 100% 水道施設整備事業 100% 建設改良事業(配水管整備事業等) 100% 発注工事は全て完了している。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	6. 安全な水とトイレを世界中に
--	------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
緊急時給水拠点確保等事業	災害等緊急時における給水拠点の確保のために行う配水池、緊急時用連絡管、貯蓄施設、緊急遮断弁、大容量送水管、重要給水施設配水管の整備事業及び基幹水道構造物の耐震化事業。脇野沢地区の重要給水施設に水道水を配水する配水管の更新により安定的な水道水の供給を図る。	262,548	307,538	0	0	0
		214,280	301,972	-	-	-
水道施設整備事業	継続事業等に伴う給水管の切替工事を行い、漏水防止の強化を図る。	119,669	438,327	344,438	159,100	178,900
		114,587	401,401	-	-	-
建設改良事業（配水管整備事業等）	継続事業以外の耐震性の低い管路及び老朽管について、耐震性能が高い管種にすることにより大規模地震等の断水リスクを減少させる。	115,203	248,556	123,658	159,980	234,380
		110,979	111,771	-	-	-

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	令和6年度に計画されていた用地買収、水道基幹管路耐震管率目標値、配水管切廻し工事等、滞りなく実施、完了しているため、良好である。
			【今後の取組の方向性】 今後実施予定の永下配水区更新事業については計画的かつ適正な時期に実施し、配水管整備事業については大湊バイパスⅡ期工事に伴う配水管切廻し工事等、関係機関との協議、調整を重ね、計画的かつ円滑に実施するよう努める。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	69.6%	
		B	30.4%	
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

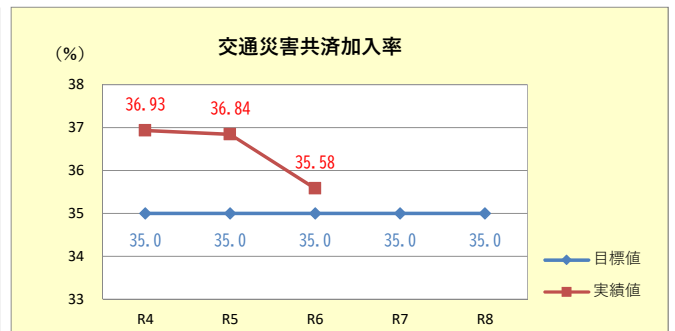
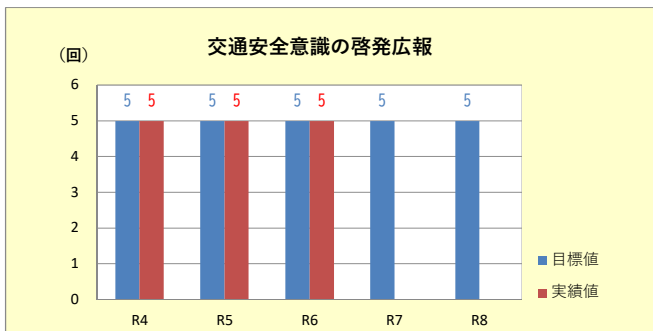
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	市民生活部
施策内容	④交通安全の確保	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
交通安全意識の啓発広報	(回)	4	5	5	5	5	5
		直近平均値	5	5	5		
交通災害共済加入率	(%)	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
		県目標値	36.93	36.84	35.58		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
交通安全啓発	5回(5回)	法律の改正や季節ごとの交通安全運動期間に併せ広報紙やFMアジュール・市の公式SNS等での周知・啓発及びむつ警察署等の関連団体と連携した街頭活動を実施した。 2月に市内小・中学生を対象とした交通安全作品コンクール展示会を実施した。
交通災害共済加入促進PR	3回(3回)	3月末時点での加入率は35.58%。前年度末は36.84%であり減少傾向にあるが、県内市部では最も高い加入率となっている。町内会や小中高等学校への加入取りまとめ依頼において、加入までの流れをフロー形式により分かりやすく説明するなど、加入しやすい環境作りを図った。

《参考：令和5年度実績》

内容	実績(目標)	達成状況報告
交通安全啓発	5回(5回)	法律の改正や季節ごとの交通安全運動期間に併せ広報紙やFMアジュール等での周知・啓発及びむつ警察署等の関連団体と連携した街頭活動を実施した。 2月に市内小・中学生を対象とした交通安全作品コンクール展示会を実施した。
交通災害共済加入促進PR	3回(3回)	3月末時点での加入率は、36.84%。前年度末は36.93%であり、前年比で0.09%減少しているが、県内市部では最も高い加入率となっている。

4. 主な関連するSDGsのゴール

3. 持続可能な健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを
----------------	-------------------

5. 令和6年度主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
一般交通安全事業	交通事故防止、交通死亡事故ゼロを目指すため、むつ市交通問題対策協議会や交通安全指導隊へ補助金を交付し、市民の交通安全意識向上のための取組を支援するとともに、交通安全施設の設置及び改良等の要望受付や道路照明灯の管理を行う。	1,401	1,843	1,184	1,184	1,184
		1,394	1,563	—	—	—
子ども達の交通安全事業	新入学児童に見舞金給付制度のある黄色い帽子を配付し、交通事故防止を図る。また、交通整理員の配置や交通安全母の会連合会への補助等により、将来の本市を担う児童生徒のための交通安全対策を実施する。	6,826	6,753	964	964	964
		6,390	964	—	—	—
交通災害共済事業	交通事故による災害を受けた方を救済するための共済制度を設け、もって住民の生活の安定と福祉の推進に寄与することを目的とした、青森県交通災害共済加入及び請求事務。	605	615	47	47	47
		47	47	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	交通安全作品コンクールを実施するなど、若年層の交通安全に対する意識醸成につながる活動を実施したほか、複数の手段を用いて幅広い世代へ周知・啓発を実施している。また、交通災害共済事業では複雑な説明資料を可視化するなど、加入促進に努めた。
			【今後の取組の方向性】 警察や交通安全協会等の関係団体と連携を図りながら啓発活動を充実させ、交通安全を意識する機会を増やすことで交通事故・交通死亡事故ゼロの街を目指す。交通災害共済は、加入促進につながるPRを継続し、加入率向上に努めていく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	65.2%	
		B	34.8%	
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	

施策評価調書（令和6年度）

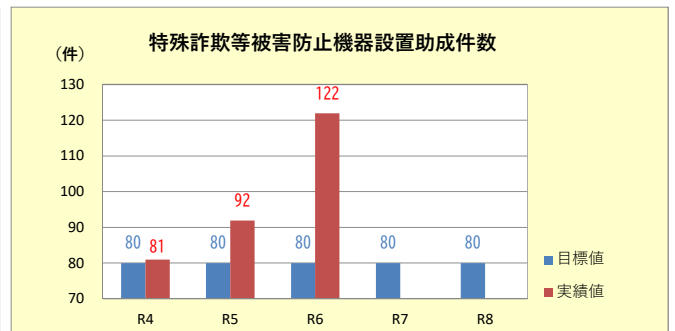
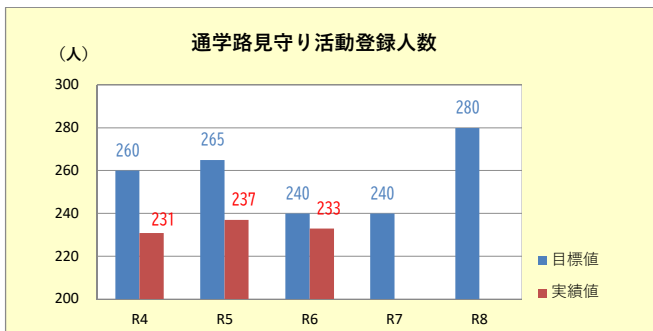
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 危機管理・防災力の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	政策推進部
施策内容	⑤防犯対策の充実	健康福祉部

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
通学路見守り活動登録人数	(人)	259	260	265	240	240	280
		令和2年度	231	237	233		
特殊詐欺等被害防止機器設置助成件数	(件)	57	80	80	80	80	80
		令和2年度	81	92	122		



3. 年次目標【令和6年度】

内容	実績(目標)	達成状況報告
通学路見守り活動登録人数	233人(240人)	街頭指導104回(のべ302人参加)を実施
出前講座や街頭配布等による広報活動	12回(8回)	出前講座6回(267人参加)、街頭配布6回(754人に配布)で広報活動を実施

《参考：令和5年度実績》

内容	実績(目標)	実績
通学路見守り活動登録人数	237人(265人)	個人での登録者もいたが、高齢や健康上の問題により、令和5年度末で活動を終了される方が多かった。また、共働きの増加や町内会への未加入が団体申込減少の理由と考えられる。活動の周知については、広報誌や学校を通して保護者へチラシを配布している。
出前講座や街頭配布等による広報活動	8回(8回)	出前講座2回(40人参加)、街頭配布6回(745人に配布)で広報活動を実施。

4. 主な関連するSDGsのゴール

	3. すべての人に健康と福祉を		11. 住み続けられるまちづくりを
	17. パートナリシップで目標を達成しよう		

5. 令和6年度主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		予算額	予算額	予算額	予定額	予定額
		決算額				
通学路見守り活動	児童・生徒の登下校時の安全・安心の確保のため、「通学路等見守り隊」としてご登録いただいた団体、個人の方に緑色のベストの貸出を行う。	53	38	39	44	44
		53	36	—	—	—
特殊詐欺等被害防止機器設置助成金	還付金詐欺に関する不審電話が市内高齢者等を中心に多発し、実被害も確認されているため、還付金電話に効果のあるナンバーディスプレイ機能や録音機能のついた電話機器の購入に係る費用を支援する。	533	478	383	383	383
		414	478	—	—	—

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な内部評価）	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①高齢により活動継続が困難となった方が4人 ②特殊詐欺等被害防止機器設置助成金の周知に努め、3月末時点で122件と目標を上回る設置助成件数を達成した。
			【今後の取組の方向性】 ①通学路等見守り活動ボランティアの登録者数の増加を目標に、防犯パトロールや広報・啓発活動に努め、児童生徒が安全・安心に登下校できるまちづくりに取り組む。 ②引き続き啓発活動を継続し周知を徹底することで、詐欺被害等の防止に努める。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

令和6年度施策内容 の進捗状況 （総合的な外部評価）	区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A	8.7%	
		B	91.3%	
		C	0.0%	
		D	0.0%	
		-	0.0%	